



E-mail 連動機能対応 音声メールユニット 取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステム
α NX typeS/typeM 音声メールユニットをお
買い求めいただきまして、まことにありがとう
ございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお
読みのうえ、内容を理解してからお使いくだ
さい。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどい
つも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ご利用にあたってのお願い

- 本商品は、ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeMに接続してお使いください。
- 本商品は、ネットコミュニティシステム αNX標準電話機18回線ボタンタイプを例として記載しており、本文中では、特に断りがない限り「内線電話機」という表現を用いております。
- ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeMのオプション装置として用意しているアナログコードレス電話機からは、ご利用できません。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを取扱説明書の消去方法にしたがって消去する必要があります。(●P9)
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 電話機操作について操作早見表をご使用の際は、必ず本書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本書とともに、必ずご使用になっているネットコミュニティシステム αNX取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

Microsoft、Windows、およびWindows Mediaは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

なお、本文中にはTM、®マークは明記していません。

警告

- リチウムコイン電池を火の中に入れたり、ショートさせたりしないでください。また、リチウムコイン電池を分解・改造しないでください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
- リチウムコイン電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- リチウムコイン電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- リチウムコイン電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがあります。直ちにきれいな水で洗い流してください。

設置について

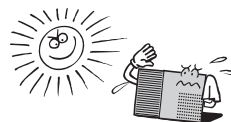
警告

- 主装置（本商品を含む）、電話機、モジュージャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置、電話機、モジュージャックや電話配線に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置（本商品を含む）、電話機やモジュージャックは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



- 主装置（本商品を含む）の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

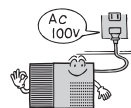
- ・ 主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- ・ 主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- ・ 主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
- ・ 主装置にテーブルクロスなどをかける。
- ・ 主装置の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

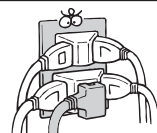
警告

- 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置（本商品を含む）の誤動作の原因となることもあります。



- お客様による主装置（本商品を含む）の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。主装置（本商品を含む）の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

- 万一、主装置（本商品を含む）内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置（本商品を含む）の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一、主装置（本商品を含む）を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 主装置（本商品を含む）や電話機から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

警告

- お客様による主装置の電源コードおよび電話機までの配線の移動、取り外し、また、電話機を取り外しなどは、火災・感電の原因となることがあります。必ず当社のサービス取扱所にご依頼ください。

- 主装置（本商品を含む）、電話機、モジュージャックや電話配線に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置（本商品を含む）の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 万一、主装置（本商品を含む）内部、電話機、モジュージャックや電話配線に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 主装置（本商品を含む）や電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置（本商品を含む）や電話機は修理に応じられない場合があります）。



- 主装置（本商品を含む）のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。



- 主装置（本商品を含む）の電源コードおよび電話機までの配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 主装置（本商品を含む）の電源コードおよび電話機までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、主装置（本商品を含む）の電源スイッチを切って、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

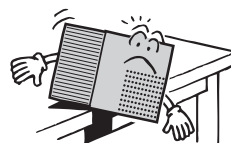
- 主装置（本商品を含む）や電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- お客様が用意された機器を主装置（本商品を含む）および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

設置について

注意

- 主装置（本商品を含む）や電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- ・振動、衝撃の多い場所。



- 主装置（本商品を含む）や電話機を床面設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

- 屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

注意

- 主装置（本商品を含む）や電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

- 主装置（本商品を含む）や電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

- 主装置（本商品を含む）を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 主装置（本商品を含む）は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けになることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

- 電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

- 受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

STOP お願い

- 主装置（本商品を含む）や電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。



- 電話機は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置（本商品を含む）や電話機などの寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

- 主装置（本商品を含む）や電話機などをぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



- 停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。

- ・他の内線電話機は使えません。
- ・ドアホンは使えません。
- ・発信電話番号表示機能は使えません。
- ・音声メール機能は使えません。

- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

- 受話器は逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。

- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

- 電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

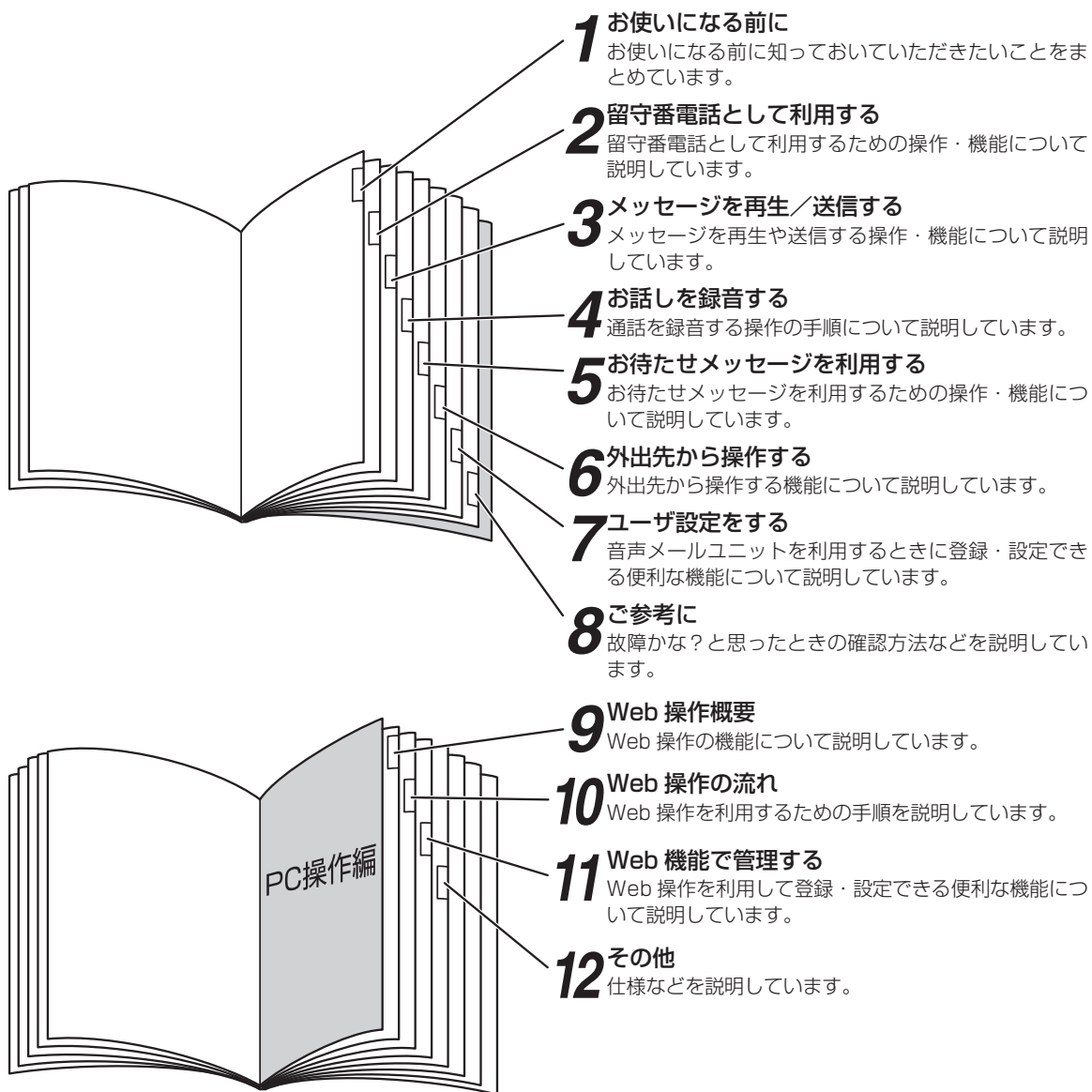
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持された情報を下表に従って消去する必要があります。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
通話録音	P8-3を参照し、メモリ全初期化の操作を行ってください。
通話録音のコメント	
メッセージ録音	
留守番電話の録音	
応答メッセージ録音	
着信通知先の電話番号	P2-9を参照し、着信通知先の電話番号を消去してください。
Web設定データ	P11-21を参照し、Web設定データの初期化の操作を行ってください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成

この取扱説明書は、音声メールユニットを搭載した場合で利用になれる音声メール機能について説明しています。その他の機能や登録・設定については、ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeMの取扱説明書をご覧ください。



操作説明ページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。

見出しの枠を次のように区別しています。

 : お買い求めいただいですぐにご利用になれる機能

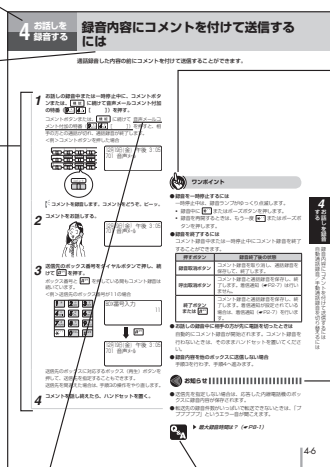
 : 「システム設定」することによりご利用になれる機能

ガイダンス

(例)

 ダイヤリングサービスを行います。…
音声メールのガイダンスを示しています。

＜サンプル＞



ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。次の3種類のマークで項目を区別しています。

- : お買い求めいただいですぐにご利用いただける機能の補足説明
-  : 「システム設定」することによりご利用いただける機能の補足説明
- : その他の補足説明

お願い／お知らせ ＜お願い＞

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

＜お知らせ＞

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



「8 ご参考に」にQ&A形式で詳しく説明している事項を示しています。

特番（～用の特番）

、 などのあとに押して、各種機能を利用できるようにする番号です。特番は、「システム設定」で変更することもできます。

この取扱説明書では、特番について次のように表しています。

＜例＞

音声メールコメント付加の特番 (       ) を押す。

お買い求め時の
番号

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

セットを確認してください

■ 音声メールユニット（1枚）

■ 付属品

取扱説明書（1部）

操作早見表（2部）

表示シール（電話機30台分）

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	2
この取扱説明書の見かた	10

1 お使いになる前に

特 長	1-1
音声メール操作ボタンとランプ表示	1-3
暗証番号を設定するには	1-9

2 留守番電話として利用する

留守番電話について	2-1
留守番電話を利用するには	2-2
留守番電話の対象となる回線を設定するには	2-4
留守番電話をセットするには	2-5
留守番電話をセット／解除する	2-5
相手の方を確かめてから電話に出るには (居留守応答)	2-6
留守番電話にメッセージが録音されたことを 携帯電話などにお知らせするには	2-7
着信通知先の電話番号を登録する	2-9
着信通知を設定する	2-10
留守番電話にメッセージが録音されたことを 電子メールでお知らせするには	2-11
録音可能時間を電子メールでお知らせするには	2-13
システムモード(昼／夜／休憩／休日)に応じて 自動的にシステム留守番電話を利用するには	2-15

3 メッセージを再生／送信する

録音内容を再生するには	3-1
ボックス番号を指定して録音内容を再生するには	3-3
録音内容を消去するには	3-5
録音内容を転送するには	3-6
他の人にメッセージを送信するには	3-7

4 お話を録音する

自動で通話を録音するには	4-1
手動で通話を録音するには	4-3
自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには	4-5
録音内容にコメントを付けて送信するには	4-6

5 お待たせメッセージを利用する

お待たせメッセージとは	5-1
お待たせメッセージで応答するには	5-3

6 外出先から操作する

外出先からの操作について	6-1
外出先などから録音内容を再生するには	6-3
内線電話機を直接呼び出すには	6-5
外出先などから電話をかけて 別の外線に発信するには	6-6
リモート設定を行うには	6-7
ワンタッチコールバックを利用するには	6-9
ワンタッチコールバック発信する	6-10
ワンタッチコールバック再生する	6-11

7 ユーザ設定をする

ユーザ設定によりご利用になれる機能	7-1
留守番電話の応答メッセージを設定するには	7-3
応答メッセージを録音する	7-3
お待たせメッセージを設定するには	7-5
お待たせメッセージを録音する	7-5
FAX／電話切替メッセージを設定するには	7-7
切替メッセージを録音する	7-7
システム留守番電話の応答メッセージを 設定するには	7-9
応答メッセージを録音する	7-9
留守番電話の応答時間を設定するには (留守／転送開始タイマ)	7-11
留守番電話を応答専用設定するには	7-13
システム留守番電話を応答専用設定するには	7-14
メッセージの再生について設定するには	7-15
再生順序と再生対象について	7-15
メッセージの再生順序を設定する	7-17
新しいメッセージを優先するかどうかを 設定する	7-18

8 ご参考に

Q&A	8-1
お買い求め時の設定に戻すには	8-3
停電になったときは	8-4
故障かな?と思ったら	8-5
お客様データ一覧	8-7
音声メール操作ボタンサービスの設定を 変更するには	8-9

PC操作編

9 Web操作概要

Web機能を利用するには	9-1
パソコン接続	9-2
お客様にご用意いただくもの	9-2
動作環境について	9-2
Webブラウザの設定	9-3

10 Web操作の流れ

ログインするには	10-1
----------------	------

11 Web機能で管理する

パソコンを使って登録・設定するには	
(Web設定)	11-1
Web設定一覧	11-1
BOX毎データ項目を登録・設定する	11-2
システム共通データ項目を登録・設定する	11-6
保守データ項目を登録・設定する	11-13
録音内容を管理するには	11-15
録音内容を一覧表示する	11-15
録音内容を保存する	
(録音メッセージダウンロード)	11-17
録音内容を消去する	11-18
録音内容を一括管理するには	
(音声メールアップロード)	11-19
Web設定データを初期化するには	11-21
Web設定データを保存するには	
(Web設定データバックアップ)	11-22
Web設定データをアップロードする	
(PC→VMU)	11-22
Web設定データをダウンロードする	
(VMU→PC)	11-24
ログを表示するには	11-26
音声メールソフトウェアを更新するには	11-27
最新ソフトウェアを手動でダウンロードする ..	11-27
パソコン上のソフトウェアに更新する	11-29

12 その他

索引	12-1
仕様	12-4
保守サービスのご案内	12-5

音声ガイドで簡単操作

操作の内容は、音声ガイドが案内します。ガイドに従って操作が簡単に行えます。



お話しを録音する（通話録音）

お話ししている内容を録音できます。お話しを始めると同時に自動的に録音したり（自動通話録音）、録音したいときに操作して録音したりすること（手動通話録音）ができます。



暗証番号を自由に設定

暗証番号を自由に設定できます。暗証番号を知っている人だけが、録音されたメッセージの再生などの操作ができます。



他の人にメッセージを残す（メッセージ録音）

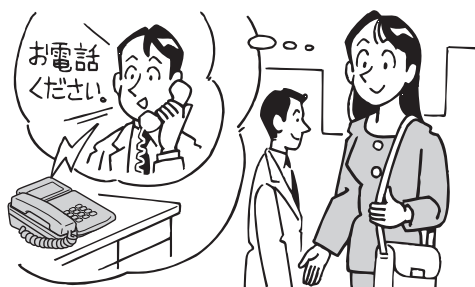
他の方のボックスへメッセージを残すことができます。

また、録音したメッセージを転送したり、一度に複数の人に送ることもできます。



留守番電話を利用する（留守番電話）

不在時などにかかってきた電話に対して自動的に応答メッセージを流し、用件（メッセージ）を録音できます。ご用意している応答メッセージの他にも、お客様がご自由に応答メッセージを録音することができます。



すぐに出られないときにお待たせメッセージを流す（お待たせメッセージ）

外からの電話にすぐに出られないときに、お待たせメッセージを流して、出られるようになるまで待ってもらったり、電話をかけ直してもらうように伝えることができます。



外の電話機から操作する（ダイヤリングサービス）

外出先から音声メールへ電話をかけて、内線電話機を直接呼び出したり、録音されているメッセージを聞いたりすることができます。



メッセージが録音されたことを通知する（着信通知）

ボックスにメッセージが録音されたときに、通知先として登録した携帯電話などを呼び出して、メッセージが録音されたことをお知らせすることができます。



メッセージが録音されたことを電子メールで通知する（E-mail連動機能）

ボックスにメッセージが録音されたときに、スマートフォンなどに電子メールによりメッセージが録音されたことをお知らせすることができます。さらに、電子メールに記載されている発信URLや再生URLをクリックすることにより、通話およびメッセージ再生することもできます。



ボックス 10 に録音されました。
:
発信 URL : http://
再生 URL : http://

メッセージや通話録音された内容をパソコンで管理する

音声メール（ユニット）とパソコンとをLAN接続することにより、パソコンのWebブラウザを使って音声メールユニット上のメッセージなどを管理できます。

お願い

- 相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に、自動通話録音に設定されている電話機で、相手の方の了解を得られない場合は、通話中に録音取消ボタンを押して通話録音を中止してください。



お知らせ

- 外出先などから音声メールにアクセスする場合は、携帯電話、スマートフォンまたはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でもプッシュ信号を送る機能があれば音声メールを利用することができます。
- 音声メールを同時に利用できるのは4通話までです。
- 音声メールに接続可能なパソコンは、同時に1台までです。
- ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeMの機能には、お客様が登録・設定できる機能のほか、システム設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておく機能が多数あります。「システム設定」を行いたいときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

音声メール操作作用ボタンとランプ表示

お使いになっている電話機やコンソールに音声メール操作作用ボタン（サービスボタンおよびボックス（再生）ボタン）を設定すると、操作が簡単になります。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

<標準電話機（18回線ボタンタイプ）>



音声メール操作作用ボタン

未使用の回線ボタンに次の10種類のボタンを設定することができます。

音声メール操作作用サービスボタン

- 録音…………… 手動通話録音を開始する
- 呼出取消…………… 録音を終了する（録音を保存し、着信通知しない）
- ポーズ…………… 録音を一時停止／一時停止を解除する
- 終了…………… 録音を終了する（録音を保存し、着信通知する）
- 録音取消…………… 録音を終了する（録音を保存せず、着信通知しない）
- コメント…………… 通話録音を終了し（録音を保存し、着信通知する）、コメント録音を開始する
- 録音モード…………… 自動通話録音／手動通話録音のモードを切り替える
- お待たせ…………… お待たせサービスを起動する
- 留守…………… 留守番電話をセット／解除する
留守番電話対象回線の設定を行う

ボックス（再生）ボタン

録音内容を再生する

お買い求め時には、下記の回線ボタンに「ボックス（再生）」、「録音」が設定されています。

標準電話機18回線ボタンタイプ …… 回線ボタン17：ボックス（再生）
回線ボタン18：録音

標準電話機24回線ボタンタイプ …… 回線ボタン23：ボックス（再生）
回線ボタン24：録音

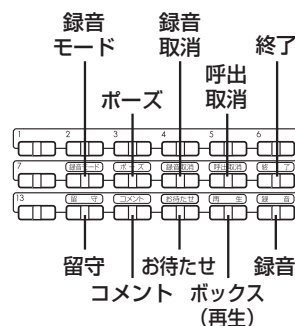


ワンポイント

音声メール操作作用ボタンの設定例

この取扱説明書では、右図のように、音声メール操作作用ボタンが回線ボタンに設定されているものとして説明しています。

標準電話機（18回線ボタンタイプ）の設定例（回線ボタン8～18）



<コンソール【オプション】>

※イラストは、標準電話機（18回線ボタンタイプ）とコンソールの組み合わせを例としたものです。



音声メール操作ボタン

未使用のワンタッチボタンに次の10種類のボタンを設定することができます。

音声メール操作サービスボタン

- 録音……………手動通話録音を開始する
- 呼出取消……………録音を終了する（録音を保存し、着信通知しない）
- ポーズ……………録音を一時停止／一時停止を解除する
- 終了……………録音を終了する（録音を保存し、着信通知する）
- 録音取消……………録音を終了する（録音を保存せず、着信通知しない）
- コメント……………通話録音を終了し（録音を保存し、着信通知する）、コメント録音を開始する
- 録音モード……………自動通話録音／手動通話録音のモードを切り替える
- お待たせ……………お待たせサービスを起動する
- 留守……………留守番電話をセット／解除する
留守番電話対象回線の設定を行う

ボックス（再生）ボタン

録音内容を再生する



ワンポイント

○音声メール操作サービスボタン名の表記

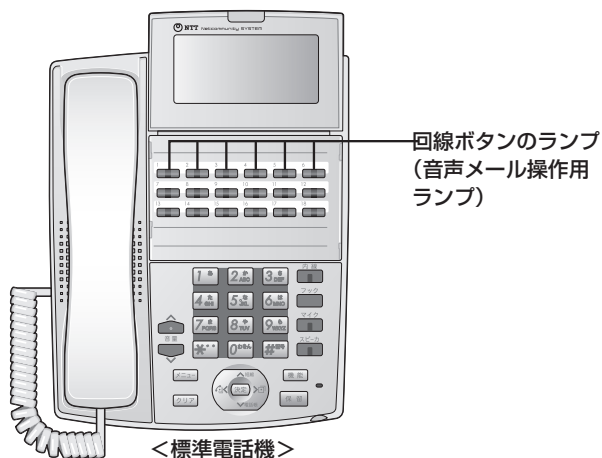
この取扱説明書では、各音声メール操作サービスボタンの名称を「録音ボタン」（録音の機能を設定したサービスボタンの場合）のように記載しています。

なお、ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeMの取扱説明書では、同様のボタンの名称を「サービスボタン（録音）」のように記載しています。

音声メール操作ボタンとランプ表示

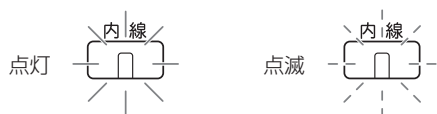
【ランプ表示】

回線ボタンに音声メール操作ボタンを設定すると、各ボタンのランプが表示されます。音声メール操作ランプの種類は、「ランプの表記について」(P1-6)を参照してください。



■ ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。



ランプの種類	ランプのつきかた（色）	電話機の状態	
録音ランプ	点灯（赤）または（緑）	通話録音中／コメント録音中	送信先ボックスを設定していないときは（赤） 送信先ボックスを設定しているときは（緑）
	遅い点滅（約0.5秒周期） （赤）または（緑）	通話録音一時停止中／コメント録音一時停止中／通話録音保留中	
	点滅（赤）または（緑）	録音時間をオーバーしたとき	
録音モードランプ	点灯（赤）	自動通話録音モードのとき	
ボックス（再生）ランプ	遅い点滅（約1秒周期） （緑）	対応のボックスにメッセージが届いたとき	
お待たせランプ	点灯（赤）	電話がかかってきたときにお待たせボタンを押した状態（外線ボタンを押して、お待たせメッセージを流すまで）	
留守ランプ	点灯中、周期的に2回消える （赤）	留守番電話をセットしているとき	
外線ランプ	点灯中、周期的に2回消える （赤）	留守ボタンを押して、留守番電話をセットしているとき	
	周期的に2回点灯（緑）	留守番電話応答中	
	遅い点滅（約0.5秒周期） （緑）	留守番電話が応答・録音中に相手の方の声をモニタしているとき	



ワンポイント

☑ ボックス (再生) ランプの消灯の設定

ボックス (再生) ランプのランプが消えるのを「メッセージを全て消去したとき」「メッセージを全て再生したとき」のいずれかに「システム設定」により設定することができます。お買い求め時は「メッセージを全て再生したとき」に設定されています。

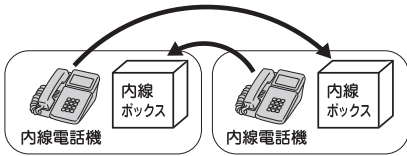
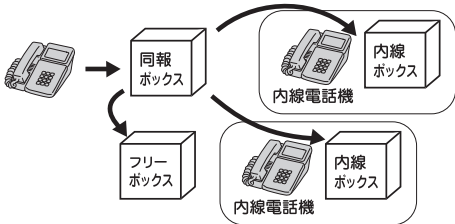
音声メール操作ボタンとランプ表示

【ボックスの種類について】

留守番電話のメッセージや、通話録音した内容は「ボックス」に保存されます。「ボックス」の録音内容を再生するには、「ボックス（再生）ボタン」または「ボックス番号」を使用します。留守番電話のメッセージや通話録音した内容が録音されると、対応するボックス（再生）ボタンのランプが緑でゆっくり点滅してお知らせします。

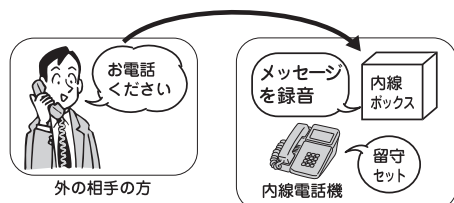
「ボックス（再生）ボタン」と「ボックス番号」は、通話録音やメッセージ転送などの宛先の指定として使用することもできます。

<例> 電話機毎設定の機能を設定する場合

ボックスの種類	ボックス番号	使用方法
内線ボックス	内線番号と同じ番号 	内線電話機ごとに割り当てられるボックスです。ボックス（再生）ボタンを押して、そのボックスに録音された内容を再生することができます。他の人に再生されないように暗証番号を設定することができます。
フリーボックス	770 ～ 789（20ボックス） （ボックス番号は、「システム設定」で変更することもできます） 	共通で使用するボックスです。ボックス（再生）ボタンを押して、そのボックスに録音された内容を再生することができます。暗証番号を設定することはできません。
同報ボックス （同報グループ）	681 ～ 686（6ボックス） （ボックス番号は、「システム設定」で変更することもできます） 	一度に複数の相手の方に同じメッセージを送るときに使います。

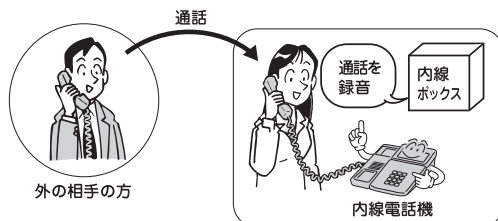
■メッセージが録音されるボックス

<留守番電話>



留守番電話をセットした内線電話機の内線ボックスにメッセージが録音される
 • 「システム設定」で、録音されるボックスを変更することができます。

<通話録音>



通話録音をしている内線電話機の内線ボックスに通話が録音される

<メッセージ録音>



指定（ダイヤル）したボックス番号の内線ボックスにメッセージが録音される

<メッセージ転送>



指定（ダイヤル）したボックス番号の内線ボックスにメッセージが転送される



- ▶ 最大録音時間は？ (P8-1)
- ▶ 最大録音件数は？ (P8-1)

暗証番号を設定するには

留守番電話のメッセージの再生や、通話録音の再生、リモート設定などに使用する暗証番号（1～4桁の数字）を、内線電話機ごとに設定することができます。お買い求め時は「0000」が設定されています。

- 1** ハンドセットを置いたまま、**メニュー**を押す。
メインメニューが表示されます。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

- 2** **決定**を押す。
または **1**を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

- 3** 上下ボタンで「9: その他」を選択し、**決定**を押す。
または **9**を押します。



1: ダイヤル押下音設定
2: 暗証番号設定
3: 主装置IPアドレス表示
4: 通話録音モード設定

- 4** 上下ボタンで「2: 暗証番号設定」を選択し、**決定**を押す。
または **2**を押します。

暗証番号設定
旧暗証番号?

- 5** 現在の暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押す。
お買い求め後、はじめて暗証番号を設定するときは「0000」を入力します。



暗証番号設定
旧暗証番号?

入力した暗証番号は「*」で表示されます。
間違えたときは **クリア** を押して消去し、入力し直します。

- 6** **決定**を押す。

暗証番号設定
新暗証番号?

- 7** 新しい暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押す。

暗証番号設定
新暗証番号?

間違えたときは **クリア** を押して消去し、入力し直します。

- 8** **決定**を押す。

暗証番号設定
もう一度新暗証番号?

- 9** もう一度新しい暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押す。

暗証番号設定
もう一度新暗証番号?

間違えたときは **クリア** を押して消去し、入力し直します。

- 10** **決定**を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、暗証番号が設定されます。
クリア を長く押して、待機画面に戻ります。



ワンポイント

●設定を中止するには

待機画面が表示されるまで **クリア** を繰り返し押します。

●暗証番号を間違えたときは

「暗証番号が違います」と表示されます。**クリア** を押して、手順5からもう一度操作をやり直してください。

●設定中に電話がかかってきたときは

着信音は鳴らず、ランプ表示で着信をお知らせします。
設定を中止して応答するときは、ハンドセットを取りあげてから外線ボタンを押します。

●入力した暗証番号を一度に消去するには

クリア を長く押します。

●特番で暗証番号を設定するには

次の手順で暗証番号を設定することもできます。

①内線ボタンを押す

② **決定** を押す

③暗証番号設定の特番 (**1** **2** [**abc**]) を押す

④現在の暗証番号 (1 ～ 4桁の数字) をダイヤルボタンで押し、**決定** を押す

⑤新しい暗証番号 (1 ～ 4桁の数字) をダイヤルボタンで押し、**決定** を押す

⑥もう一度新しい暗証番号 (1 ～ 4桁の数字) をダイヤルボタンで押し、**決定** を押す

⑦スピーカボタンを押す

○メッセージ再生時の暗証番号入力を省くには

ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeM主装置のWeb設定により、メッセージ再生時に暗証番号を利用しないように設定することができます。詳しくは、ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeMの取扱説明書を参照してください。



お知らせ

●暗証番号は別にメモをとるなどして忘れないようにしてください。

●暗証番号には、*、#は登録できません。

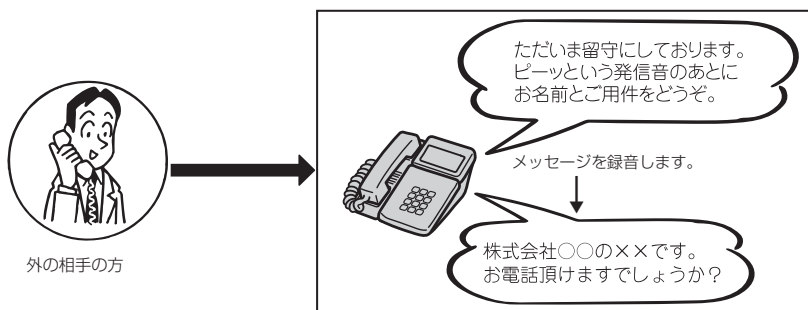
●メニュー設定中、約2分間何もボタンを押さないと、メニュー設定が終了します。

留守番電話について

留守番電話をセットすると、外の相手の方からの電話に音声メールが代わって応答し（自動的に応答メッセージを流し）、用件（メッセージ）を録音することができます。また、応答専用のメッセージを流して自動的に電話を切ることもできます。

■ 録音用

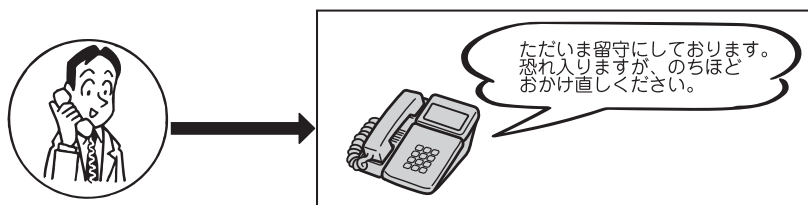
応答メッセージで答えるとともに、メッセージの録音を行う場合の使いかたです。



留守番電話の応答メッセージを設定するには (➡P7-3)

■ 応答専用

応答専用の応答メッセージで答えます。メッセージの録音を行う必要のない場合の使いかたです。



※メッセージ録音はできません。

留守番電話の応答メッセージを設定するには (➡P7-3)

留守番電話を応答専用を設定するには (➡P7-13)



ワンポイント

- メッセージが録音されたことを携帯電話などにお知らせするには (➡P2-7)
- メッセージが録音されたことを携帯電話やスマートフォンなどに電子メールでお知らせするには (➡P2-11)



- ▶ 最大録音時間は？ (➡P8-1)
- ▶ 最大録音件数は？ (➡P8-1)
- ▶ 録音メモリがいっぱいのときは？ (➡P8-1)
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (➡P8-1)
- ▶ 高音質での用件（メッセージ）録音や通話録音はできますか？ (➡P8-2)

留守番電話を利用するには

留守番電話の利用のしかたは以下のとおりです。

ご利用の前に、電話がかかってきたときに留守番電話で応答する回線をあらかじめ設定しておいてください。(☛P2-4)

外出するとき



留守番電話をセットします

留守ボタンを押して、留守番電話をセットします。また、外出先などから留守番電話をセットすることもできます。

■留守番電話をセットする

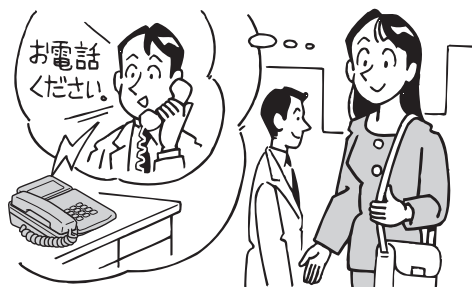
留守番電話をセットするには (☛P2-5)

外出先などから留守番電話をセットするには (☛P6-7)

■利用できる応答メッセージ

応答メッセージの種類は (☛P2-1)

外出中



メッセージが録音されます

留守中でも自動的に電話がつながり、メッセージが録音されます。外出先へメッセージが録音されたことを通知することもできます。(☛P2-7)

■相手の方のメッセージ録音

呼出音が聞こえます。

自動的に電話がつながり、「ただいま留守にしております。…」などの応答メッセージが流れます。

「ピーッ」という音のあとに、相手の方がお話したメッセージが録音されます。

電話を切ると、録音されたメッセージが自動的に内線ボックスに保存されます。

留守番電話を利用するには

外出先からの操作



外出先から操作ができます

外出先からメッセージを再生することができます。また、留守番電話のセットを忘れて外出したときは、リモート設定で留守番電話をセットすることができます。

■外出先からの操作

外出先などから録音内容を再生するには (☛P6-3)

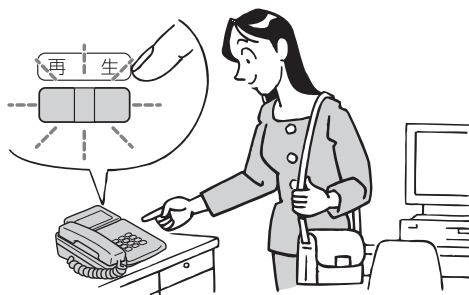
外出先などから留守番電話をセットするには (☛P6-7)

■スマートホンなどからの操作

ワンタッチコールバック発信するには (☛P6-10)

ワンタッチコールバック再生するには (☛P6-11)

帰社したら



メッセージを再生します

外出中にメッセージが録音されていると、自分の内線電話機のボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅します。ボックス（再生）ボタンを押して録音されたメッセージを再生します。また、他の内線電話機から、メッセージを再生することもできます。

■留守を解除する

留守番電話を解除するには (☛P2-5)

■メッセージを聞き直す

録音内容を再生するには (☛P3-1)

外出先などから録音内容を再生するには (☛P6-3)



電話がかかってきたときに留守番電話で応答する回線を設定します。お買い求め時は設定されていません。

1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。



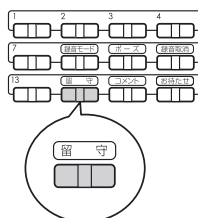
12月19日(金) 午後 3:05
内線

2 決定を押す。

「ツツツ…」という音を確認してください。



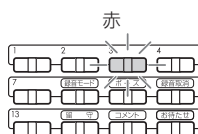
3 留守ボタンを押す。



留守番電話回線設定

4 留守番電話の対象とする外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯します。設定を解除するときは、もう一度外線ボタンを押して外線ランプを消灯させます。複数の回線を設定するときは、続けて外線ボタンを押します。



5 決定を押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、留守番電話対象回線が設定されます。

6 スピーカボタンを押す。



12月19日(金) 午後 3:05
10



ワンポイント

- 留守番電話で応答する回線を確認するには
留守番電話をセットすると、応答する回線ランプが赤く点灯し、周期的に2回消えます。



お知らせ

- 留守番電話がセットされているときは、留守番電話の対象となる回線を設定できません。留守番電話を解除してから設定してください。
- 手順4で、すでに転送電話の対象回線に設定されている外線ボタンを押しても無効となります。

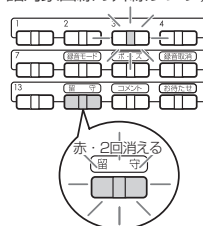
留守番電話をセットするには

留守番電話をセット／解除する

1 留守ボタンを押す。

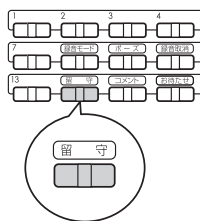
留守番電話がセットされます。

赤・2回消える (例：留守番電話対象回線の外線ランプ)



12月19日(金) 午後 3:05
10
留守設定中

2 留守番電話を解除するときは、もう一度留守ボタンを押す。



12月19日(金) 午後 3:05
10



ワンポイント

● 録音されたメッセージを再生するには

留守番電話をセットした電話機の内線ボックスを指定して再生します。「システム設定」で録音先のボックスを変更することもできます。

録音内容を再生するには (☛P3-1)

ボックス番号を指定して録音内容を再生するには (☛P3-3)

● 録音中に最大録音時間をオーバーすると

録音は自動的に終了し、

「メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。」

というガイダンスのあと電話が切れます。

● 外出先などから録音内容を再生するには (☛P6-3)

● 外出先などから留守番電話をセットするには (☛P6-7)

● 電話がかかってきてから留守番電話が応答するまでの時間は

0～255秒の間に設定できます。(☛P7-11) お買い求め時は、「5秒」に設定されています。

● 留守番電話の対象となる回線を設定するには (☛P2-4)



お知らせ

● 留守番電話の対象となる回線に着信しているときに留守ボタンを押すと、留守番電話が応答します。

● ダイヤルイン着信などの電話機ごとの個別着信を留守番電話で応答させるには、「システム設定」が必要です。



▶ 最大録音時間は？ (☛P8-1)

▶ 最大録音件数は？ (☛P8-1)

▶ 録音メモリがいっぱいのときは？ (☛P8-1)

▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (☛P8-1)

相手の方を確かめてから電話に出るには (居留守応答)

留守番電話が応答、録音しているときに相手の方の声を聞き、確認してから電話に出る（居留守応答）ことができます。

- 1 留守番電話をセットしているときに電話がかかってくると留守番電話が応答する。



12月19日(金) 午後 3:05
10
留守設定中

- 2 ランプが緑色で周期的に2回点灯している外線ボタンを押す。

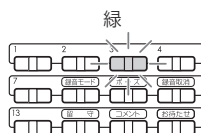


留守番電話応答中
留守設定中

- 3 ハンドセットを取り上げる。
相手の方が留守番電話に録音している声が聞こえます。



- 4 電話に出るときは、もう一度外線ボタンを押す。
メッセージの録音は終了し、相手の方とお話できるようになります。



12月19日(金) 午後 3:05
0-20
PB
留守設定中

- 5 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

☎ 電話をかけてきた相手の方の声をスピーカで聞くには「システム設定」により、自動的にスピーカで聞こえるように設定することもできます。
電話に出るときは、手順4から操作します。



お知らせ

● お買い求め時は、電話に出るまでに録音された内容は消去されるように設定されています。「システム設定」で、電話に出るまでに録音された内容を保存するように設定することもできます。

留守番電話にメッセージが録音されたことを携帯電話などにお知らせするには

留守番電話にメッセージが録音されたときに、通知先として登録した携帯電話などを呼び出して、メッセージが録音されたことをお知らせすることができます（着信通知）。着信通知を利用するときは、以下の設定を行います。

設定項目	内 容	参照ページ
着信通知先の電話番号を登録する	着信通知を行うときの、通知先の携帯電話などの電話番号を登録します。「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。	➡P2-9
着信通知を設定する	着信通知を「する」または「しない」の設定をします。	➡P2-10

1 留守番電話にメッセージが録音されると、通知先の携帯電話などが呼び出される。

2 通知先の携帯電話などで電話に出る。



<暗証番号を利用しているときは>

☞ メッセージを受け付けました。暗証番号と#をどうぞ。

<暗証番号を利用していないときは>

☞ メッセージを受け付けました。メッセージの再生は1を押してください。

3 ガイダンスに従って操作する。

STOP お願い

- 通知先から操作するときは、ダイヤルボタンをゆっくりと確実に押してください。
- 携帯電話などでガイダンスやメッセージが聞こえている間に操作した場合は正常に動作しないことがありますので、ガイダンスやメッセージが終了してから操作してください。
- ガイダンスやメッセージが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、ガイダンスやメッセージが確実に止まるように、少し長めに押してください（電話機によってはできない場合があります）。



ワンポイント

●電子メールでお知らせする (E-mail連動機能)

スマートホンなどをご利用の場合は、留守番電話にメッセージが録音されたことをお知らせする方法として、電子メールでお知らせすることも可能です。(☛P2-11)

●暗証番号を間違えたときは

「暗証番号が違います。もう一度暗証番号と#をどうぞ。」というガイダンスが聞こえます。もう一度、暗証番号と「#」を押してください。3回間違えると、自動的に電話が切れます。

●着信通知を受けることができる電話機は

携帯電話、スマートホンまたはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば、メッセージを再生することができます。

●他のメッセージが録音されたときは

「録音内容を転送するには」(☛P3-6)、「他の人にメッセージを送信するには」(☛P3-7)、「録音内容を他のボックスに送信するには」(☛P4-2、P4-4)、「録音内容にコメントを付けて送信するには」(☛P4-6)などでメッセージが録音されたときも、通知先として登録した外出先の携帯電話などを呼び出して、メッセージが録音されたことをお知らせします。



お知らせ

- 通知先が応答しないときや通話中の場合は、約3分ごとに最初の発信を含め3回までかけ直します。
- 通知先の携帯電話などで電話に出たあと、ガイダンスの再生が終了してから約7秒何も操作しないと、再度ガイダンスが再生されます。3回目のガイダンスの再生が終了してから約7秒何も操作をしなかった場合は、自動的に電話が切れます。



▶「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは？(☛P8-2)

着信通知先の電話番号を登録する

着信通知を行うときの、通知先の携帯電話などの電話番号を登録します。

電話番号の登録は、「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。



12月19日(金) 午後 3:05
内線

2 決定を押す。

「ツツツ…」という音を確認してください。



3 音声メール着信通知先設定の特番 (9 WXYZ 3 DEF) を押す。

1 あ	2 か	3 き
4 た	5 な	6 は
7 ま	8 や	9 ら
* * *	0 わん	# 記号

着信通知先設定
内線番号

4 設定する内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

<例>内線番号10をダイヤルボタンで押した場合

着信通知先設定
内線番号 10

5 決定を押す。

着信通知先設定 : 10

6 着信通知先の電話番号 (最大32桁) をダイヤルボタンで押す。

着信通知先設定 : 10
090XXXX1111

間違えたときは **クリア** を押して消去し、入力し直します。

7 決定を押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、着信通知先電話番号が登録されます。

8 スピーカボタンを押す。



12月19日(金) 午後 3:05
10



ワンポイント

- 着信通知先の電話番号を消去するには
手順6で **クリア** を長く押して着信通知先の電話番号を消去し、手順7へ進みます。
- PBX/CES回線を使用して着信通知をするときは
着信通知先の電話番号の前に、外線発信番号 (0 WXYZ) [] を付けて登録してください。
- 着信通知先に携帯電話番号を登録するときは
着信通知先が携帯電話番号の場合で固定電話発着携帯電話着通話サービスを利用する場合は、事業者識別番号を携帯電話番号の前に登録してください。

着信通知を設定する

1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。



12月19日(金) 午後 3:05
内線

2 決定を押す。

「ツツツ…」という音を確認してください。



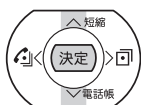
3 音声メール着信通知起動設定の特番 (9 ら WXYZ 4 た GH) [] を押す。



着信通知設定
0: 設定しない
1: 設定する

4 上下ボタンで着信通知を設定するときは「1: 設定する」、解除するときは「0: 設定しない」を選択し、決定を押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、着信通知起動設定が設定されます。



5 スピーカボタンを押す。



12月19日(金) 午後 3:05
10

留守番電話にメッセージが録音されたことを電子メールでお知らせするには

留守番電話にメッセージが録音されたときに、通知先として登録した電子メールアドレス宛に、メッセージが録音されたことをお知らせする電子メールを送信することができます（E-mail連動機能）。

電子メールでの通知内容は、BOX毎に設定することができます。（▶P11-3）

- ・ 件名
- ・ 相手電話番号の表示の有無
- ・ ワンタッチコールバック発信用URL
- ・ ワンタッチコールバック再生用URL など

■E-mail連動機能を利用可能な機器

- ・ スマートホン
- ・ スマートホン（spモード）
- ・ 携帯電話（iモード）
- ・ パソコン



お知らせ

- 内線ボックス、フリーボックス毎に、お知らせ先（電子メール通知先）を1件登録可能です。
- 同報ボックスは、本機能に対応していません。

録音メッセージ通知機能を利用するときは、以下の設定を行います。

設定	内容	参照ページ
電子メール通知の設定 (BOX毎)	電子メール送信有無、電子メール件名、電子メール本文、電子メールアドレスなどを設定します。	➡P11-3
電子メール通知の設定 (システム共通)	ユーザID (VMメールアドレス)、敬称、送信件名、サーバ設定、WEBアドレス帳URLなどを設定します。	➡P11-6

1 留守番電話にメッセージが録音されると、通知先メールアドレスに電子メールが送信される。

2 電子メールの内容を確認する。



ボックス 10 に録音されました。
録音種別：通話録音
録音日時：2012/03/19 15:00
相手番号：0312345678
ネーム：株式会社〇〇〇様
発信 URL：http://〇〇〇〇〇〇〇〇/2reg/calling//:△△△△
再生 URL：http://×××××××/2reg/playing//:△△△△
WEB アドレス帳：https://XXX.XXX.XXX.XXX/telbook/m.html

※この画面はイメージです。

3 ワンタッチコールバック発信、またはワンタッチコールバック再生する。
「ワンタッチコールバック発信する」(➡P6-10)
「ワンタッチコールバック再生する」(➡P6-11)



お知らせ

- 内線ボックス、フリーボックス毎に、お知らせ先(電子メール通知先)を1件登録できます。
- 同報ボックスは、本機能に対応していません。
- 本機能の利用には、ブロードバンドルータユニットの接続と設定が必要です。
- 電子メールの接続状況などにより、電子メール通知に失敗する場合があります。このときは、約10分後に1回のみ同じ通知先メールアドレスへ電子メールの再送信を行います。この約10分間に新しいメッセージが録音された場合は、電子メールの再送信の後に電子メール通知を行います。

録音可能時間を電子メールでお知らせするには

録音メモリがいっぱいになると、留守番電話やシステム留守番電話による録音、および通話録音できなくなります。

1分毎に録音メモリの録音可能時間を監視し、録音可能時間が録音可能通知時間（☛P11-13）を下回ったことを通知先として登録した電子メールアドレス（最大3個）宛に、お知らせする電子メールを送信することができます。

<例> 電子メールでのお知らせ内容

From Web設定のユーザID（VMメールアドレス）
To 管理者メールアドレス
通知タイトル 「録音可能時間通知」
通知内容 XX月XX日XX時XX分の
録音可能時間を通知します。

全録音時間 : XX時間XX分
録音可能時間: XX時間XX分
登録メッセージ数: XXXX件

項目	内容
全録音時間	録音されているメッセージの総録音時間
録音可能時間	録音可能な時間（空き容量）
登録メッセージ数	全ボックスに録音されているメッセージの件数

録音可能時間を電子メールでお知らせするには、以下の設定を行います。

設定項目	内容	参照ページ
録音可能時間通知の設定	録音可能通知時間、送信先の電子メールアドレスを設定します。	☛P11-13



ワンポイント

●録音可能時間を増やすには

留守番電話のメッセージや通話録音した内容を消去します。

- 内線電話機からのメッセージ消去 「録音内容を消去するには」(➡P3-5)
- 外出先からのメッセージ消去 「外出先などから録音内容を再生するには」(➡P6-3)
- パソコンからのメッセージ消去 「録音内容を消去する」(➡P11-18)



お知らせ |||||

- 一度お知らせの電子メールを送信した場合は、1分毎の監視が来ても通知はされません。メッセージ消去等で録音可能時間が増えたのち、「録音可能通知時間」を上回り、再度「録音可能通知時間」を下回った場合に再度電子メールで通知します。
- 本機能の利用には、音声メールユニットおよびブロードバンドルータユニットの接続と設定が必要です。

システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じて自動的にシステム留守番電話を利用するには

システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じて、システム留守番電話を利用することができます。サービスのご利用には「システム設定」が必要です。

システム留守番電話をセットすると、外の相手の方からの電話に音声メールが代わって応答し（自動的に応答メッセージを流し）、用件（メッセージ）を録音することができます。また、応答専用のメッセージを流して自動的に電話を切ることもできます。

■録音用

応答メッセージで答えるとともに、メッセージの録音を行う場合の使いかたです。



外の相手の方



システムモードの種類	録音用の応答メッセージ
昼／休憩モード	ただいま席を外しております。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。
夜モード	本日の業務は終了しました。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。
休日モード	本日は定休日です。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。

システム留守番電話の応答メッセージを設定するには (P7-9)

■応答専用

応答専用の応答メッセージで答えます。メッセージの録音を行う必要のない場合の使いかたです。



外の相手の方



※メッセージ録音はできません。

システムモードの種類	録音用の応答メッセージ
昼／休憩モード	ただいま席を外しております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
夜モード	本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。
休日モード	本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。

システム留守番電話の応答メッセージを設定するには (P7-9)



ワンポイント

●録音されたメッセージを再生するには

「システム設定」でシステム留守番電話の録音先に設定されたボックスを指定して再生します。

録音内容を再生するには（☞P3-1）

ボックス番号を指定して録音内容を再生するには（☞P3-3）

●録音中に最大録音時間をオーバーすると

録音は自動的に終了し、

「メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。」

というガイダンスのあと電話が切れます。

●外出先などから録音内容を再生するには（☞P6-3）

●システム留守番電話の応答メッセージを設定するには（☞P7-9）

●システム留守番電話を応答専用を設定するには（☞P7-14）



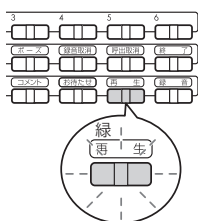
- ▶ 最大録音時間は？（☞P8-1）
- ▶ 最大録音件数は？（☞P8-1）
- ▶ 録音メモリがいっぱいのときは？（☞P8-1）
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？（☞P8-1）

録音内容を再生するには

自分の内線ボックスに留守番電話のメッセージや通話録音した内容が録音されると、自分の内線電話機のボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅し（受信通知）、ディスプレイに「メッセージ有り」と表示されます。録音内容をワンタッチ操作で再生することができます。

- 1 ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅しているときに、ボックス（再生）ボタンを押してハンドセットを取りあげる。

＜例＞暗証番号を利用している場合



暗証番号入力

＜暗証番号を利用しているときは＞

暗証番号と#をどうぞ。

手順2へ進みます。

＜暗証番号を利用していないときは＞

新しいメッセージが××件あります。

手順3へ進みます。

- 2 暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、続けて「#」を押す。

お買い求め時は「0000」が設定されています。



暗証番号入力

新しいメッセージが××件あります。

- 3 メッセージの内容が聞こえる。

メッセージが順番に再生されます。



12月18日 13:40 1/2
0312345678
1: 前へ 2: 繰返 3: 次へ
4: 消去 5: 転送 6: 保護

メッセージ再生中にできる操作は（☛P3-2）

すべてのメッセージの再生が終了すると、

メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。

- 4 ハンドセットを置く。



お知らせ

- 録音件数は2桁で表示されます。録音件数が100件を超える場合でも「99」と表示されます。
- 着信通知を行うように設定しているときも、受信通知は行われます。
- 「システム設定」でタイムスタンプ自動再生が設定されている場合は、手順3のメッセージ再生後にタイムスタンプ（録音日時）が再生されます。
××月××日××時××分のメッセージです。
というガイダンスが聞こえます。
- メッセージ再生中に早送り／巻き戻しを行ったときは、4秒区切りで早送り／巻き戻しを行い、早送り／巻き戻し後、区切りの先頭から再生します。早送り／巻き戻しをする区切りの時間は「システム設定」により設定できます。
- メッセージ再生時、ディスプレイに相手先が表示されない場合があります。
- 新しいメッセージや保存メッセージが255件を超える場合でも、ガイダンスのメッセージ件数は「255件」です。



▶ 「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは？（☛P8-2）



ワンポイント

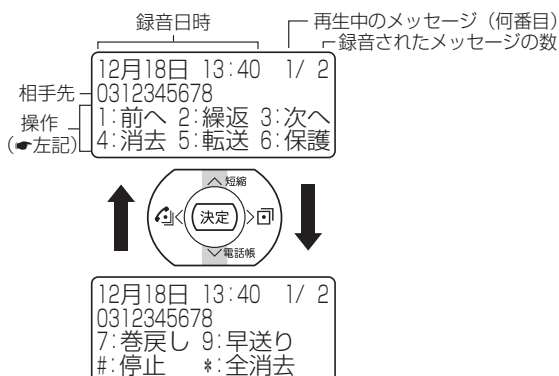
●メッセージ再生中にできる操作

次のボタン操作が行えます。

操 作	押すボタン	操作後の動作
前へ	1 前	1つ前のメッセージを再生する
繰返	2 繰	再生中のメッセージを最初から再生する
次へ	3 次	次のメッセージを再生する
消去	4 消	再生中のメッセージを消去する
転送	5 転	再生中のメッセージを他のボックスに転送する
保護	6 保	再生中のメッセージを保護（自動消去禁止・全消去禁止）に設定する
巻戻し	7 巻	メッセージを巻き戻しする
早送り	9 早	メッセージを早送りする
停止	#	再生を停止し、下記のガイダンスが聞こえる - 新しいメッセージがある場合 - メッセージの再生を終了しました。新しいメッセージの再生は1を押してください。 - 新しいメッセージがない場合 - メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。
全消去	*	ボックス内のメッセージをすべて消去する（保護されたメッセージは消去されません）

●操作用のボタンを確認するには

上下ボタンを押すと、メッセージ再生中に使用するボタンを確認できます。



●保存メッセージを再生するには

お買い求め時は、新しいメッセージの再生終了後、再度操作をすることにより保存メッセージ（再生済み）を再生するように設定されています。新しいメッセージと保存メッセージを合わせて再生するには、新規メッセージ優先設定を「優先しない」に設定します。（☛P7-18）このとき、メッセージの件数をお知らせするガイダンスは、次のようになります。

新しいメッセージが××件、保存メッセージが××件あります。

また、メッセージの再生終了後のガイダンスは、次のようになります。

メッセージの再生を終了しました。メッセージの再生は1を押してください。

●メッセージの再生順序を変更するには

お買い求め時は、古い順に再生するように設定されています。メッセージを新しい順に再生することもできます。（☛P7-17）

ボックス番号を指定して録音内容を再生するには

自分の内線電話機からボックス番号（内線番号）を指定して、ボックスに録音された留守番電話のメッセージや通話録音した内容を再生することができます。

- 1 内線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という音を確認してください。



緑・2回消える内線
12月19日(金) 午後 3:05
内線

- 2 音声メール用のアクセス番号（7 7 PGRS 0 ゼロ 1 あ）を押す。



12月19日(金) 午後 3:05
701 音声メ-ル

録音は1、再生は2を押してください。

- 3 2 を押す。

BOX番号入力

ボックス番号と#をどうぞ。

- 4 確認したいボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて # を押す。

＜例＞ボックス番号が11の場合

BOX番号入力 11



暗証番号入力

＜暗証番号を利用しているときは＞

暗証番号と#をどうぞ。

手順5へ進みます。

＜暗証番号を利用していないときは＞

新しいメッセージがある場合：

新しいメッセージが××件あります。

新しいメッセージがない場合：

保存メッセージが××件あります。

手順6へ進みます。

メッセージがない場合：

メッセージはございません。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

- 5 暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、続けて # を押す。

暗証番号入力 ****

新しいメッセージがある場合：

新しいメッセージが××件あります。

新しいメッセージがない場合：

保存メッセージが××件あります。

メッセージがない場合：

メッセージはございません。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

6 メッセージの内容が聞こえる。 メッセージが順番に再生されます。



12月18日 13:40 1 / 2
0312345678
1: 前へ 2: 繰返 3: 次へ
4: 消去 5: 転送 6: 保護

メッセージ再生中にできる操作は (P3-2)

すべてのメッセージの再生が終了すると、

メッセージの再生を終了しました。保存メッセージ
の再生は1を押してください。

7 ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 外出先などから録音内容を再生するには (P6-3)
- 保存メッセージを再生するには (P3-2)
- メッセージの再生順序を変更するには (P3-2)



お知らせ

- 「システム設定」でタイムスタンプ自動再生が設定されている場合は、手順6のメッセージ再生後にタイムスタンプ(録音日時)が再生されます。
「××月××日××時××分」のメッセージです。
というガイダンスが聞こえます。
- 他の人のボックスに録音されたメッセージを再生する場合は、そのボックスに設定されている暗証番号の入力が必要になります。
- メッセージ再生中に早送り／巻き戻しを行ったときは、4秒区切りで早送り／巻き戻しを行い、早送り／巻き戻し後、区切りの先頭から再生します。早送り／巻き戻しをする区切りの時間は「システム設定」により設定できます。
- 新しいメッセージや保存メッセージが255件を超える場合でも、ガイダンスのメッセージ件数は「255件」です。



▶ 「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは? (P8-2)

録音内容を消去するには

自分の内線ボックスに録音された留守番電話のメッセージや通話録音した内容を消去することができます。

1 「録音内容を再生するには」の手順1～2を行う。
(☛P3-1)

2 メッセージの再生中に、「次へ」(3^{次へ})、「前へ」(1^{前へ})を押して、消去したいメッセージを選択する。

12月18日 13:40 1/ 2
0312345678
1: 前へ 2: 繰返 3: 次へ
4: 消去 5: 転送 6: 保護

メッセージ再生中にできる操作は (☛P3-2)

3 消去したいメッセージの再生中に、「消去」(4^{消去})を押す。

12月18日 15:05 2/ 2
0451234567
1: 前へ 2: 繰返 3: 次へ
4: 消去 5: 転送 6: 保護

☛メッセージを消去しました。

次のメッセージが再生されます。

続けて他のメッセージを消去する場合は、手順2、3を繰り返します。

4 ハンドセットを置く。



ワンポイント

●他のボックスに録音されたメッセージを消去するには

①「ボックス番号を指定して録音内容を再生するには」の手順1～5を行う (☛P3-3)

②手順2～4を行う

●メッセージをすべて消去するには

新規メッセージ優先設定 (☛P7-18) が「優先する」に設定されている場合 (お買い求め時の設定)

<新しいメッセージをすべて消去する>

①新しいメッセージの再生中に、全消去 (✖)を押す
☛すべてのメッセージを消去します。決定は1、中止は0をどうぞ。

②1^{前へ}を押す

●まだ聞いていないメッセージも消去されます。

●すでに聞いたメッセージ (保存メッセージ) は消去されません。

<メッセージをすべて消去する>

①新しいメッセージをすべて再生する

②すでに聞いたメッセージ (保存メッセージ) の再生中に、全消去 (✖)を押す

☛すべてのメッセージを消去します。決定は1、中止は0をどうぞ。

③1^{前へ}を押す

●すべてのメッセージが消去されます。

新規メッセージ優先設定 (☛P7-18) が「優先しない」に設定されている場合

①メッセージの再生中に、全消去 (✖)を押す

☛すべてのメッセージを消去します。決定は1、中止は0をどうぞ。

②1^{前へ}を押す

●まだ聞いていないメッセージも消去されます。

●保護されているメッセージを消去しようとする

☛このメッセージは保護されています。強制消去は1、中止は0をどうぞ。

というガイダンスが聞こえます。1^{前へ}を押すと消去することができます。



お知らせ

- 「システム設定」の自動消去日数設定により、一定日数 (1～30日) 経過すると録音されたメッセージが自動的に消去されます。ただし、保護されているメッセージは消去されません。
- 「全消去」を行っても、保護されているメッセージは消去されません。

録音内容を転送するには

自分の内線ボックスに録音されたメッセージや通話録音した内容を、他のボックスへ転送することができます。

1 「録音内容を再生するには」の手順1～2を行う。
(☛P3-1)

2 メッセージの再生中に、「次へ」(3^次DEF)、 「前へ」(1^前) を押して、転送したいメッセージを選択する。

12月18日 13:40 1/ 2
0312345678
1:前へ 2:繰返 3:次へ
4:消去 5:転送 6:保護

メッセージ再生中にできる操作は (☛P3-2)

3 転送したいメッセージの再生中に、「転送」(5^転JKL) を押す。

BOX番号入力

☛ 転送先ボックス番号と#をどうぞ。

4 転送先のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて #^{記号} を押す。

<例>転送先のボックス番号が11の場合

1 あ	2 か ABC	3 き DEF
4 こ GHI	5 け JKL	6 け MNO
7 ま PQRS	8 や TUV	9 ら WXYZ
* * *	0 わをん	# 記号

BOX番号入力 11



12月18日 15:05 2/ 2
0451234567
1:前へ 2:繰返 3:次へ
4:消去 5:転送 6:保護

☛ ボックス番号11にメッセージを転送しました。

次のメッセージが再生されます。

続けて他のメッセージを転送する場合は、手順2～4を繰り返します。

転送先のボックス (再生) ボタンを押して、転送先を指定することもできます。

5 ハンドセットを置く。

3 メッセージを再生/送信する

録音内容を転送するには
録音内容を消去するには



ワンポイント

●他のボックスに録音されたメッセージを転送するには

- ①「ボックス番号を指定して録音内容を再生するには」の手順1～5を行う (☛P3-3)
- ②手順2～5を行う



お知らせ

- メッセージを転送しても自分のボックスのメッセージは消去されません。
- 転送先の録音件数がいっぱいときは、
☛ ボックス番号XXはメッセージがいっぱいで転送できません。転送を中止しました。
というガイダンスが聞こえます。

他の人にメッセージを送信するには

他の方のボックスへメッセージを送信することができます。
内線電話機からでも外出先の携帯電話などからでも行えます。

- 1 内線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という音を確認してください。



12月19日(金) 午後 3:05
内線

- 2 音声メール用のアクセス番号 (7 ま PQRS 0 ろん 1 あ []) を押す。



12月19日(金) 午後 3:05
701 音声メール

録音は1、再生は2を押してください。

- 3 1 あ を押す。

BOX番号入力

送信先ボックス番号と#をどうぞ。

- 4 相手の方のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて # を押す。

<例>送信先のボックス番号が11の場合

BOX番号入力

11



12月19日(金) 午後 3:05
701 音声メール

ボックス番号11にメッセージを録音します。メッセージをどうぞ。ピーッ。

送信先のボックスに対応するボックス（再生）ボタンを押して、送信先を指定することもできます。

- 5 メッセージをお話する。



- 6 メッセージを話し終わったら # を押す。

12月19日(金) 午後 3:05
701 音声メール

メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。

- 7 ハンドセットを置く。



ワンポイント

●外出先などからメッセージを送信するには

- ①音声メール用の電話番号に電話をかける

☞ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

- ②**4** Grid を押す

- ③手順3～6を行う

●外出先などからメッセージを送信することができる電話機は

携帯電話、スマートホンまたはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば、メッセージを送信することができます。

●録音を一時停止するには

- 録音中に **✳** またはポーズボタンを押します。

☞録音を中断します。

- 録音を再開するときは、もう一度 **✳** またはポーズボタンを押します。

☞録音を再開します。

●録音を終了するには

録音中または一時停止中に録音を終了することができます。

押すボタン	録音終了後の状態
録音取消ボタン	録音内容を取り消します。
呼出取消ボタン	録音を保存し、終了します。着信通知(☛P2-7)を行いません。
終了ボタン または # END	録音を保存し、終了します。着信通知が設定されている場合は、着信通知(☛P2-7)を行います。

●録音中に最大録音時間をオーバーすると

録音は自動的に終了し、

☞メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

●複数の相手の方に同じメッセージを送信するには

同報ボックスにメッセージを送信すると、一度に複数の相手の方にメッセージを送信することができます(同報メール)。

- ①手順1～3を行う

- ②送信先の同報ボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて **#** END を押す

- ③メッセージをお話する

- ④メッセージを話し終えたら **#** END を押す

- ⑤ハンドセットを置く



お知らせ

- メッセージを送信する相手先の録音件数がいっぱいのはときは、

☞ボックス番号XXはメッセージがいっぱいで録音できません。もう一度送信先ボックス番号と#をどうぞ。というガイダンスが聞こえます。

- 録音メモリがいっぱいのはときは、

☞メモリがいっぱいでメッセージを録音できません。メッセージの録音を中止しました。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

お願い

- 外出先から操作するときは、ダイヤルボタンをゆっくりと確実に押してください。

- 携帯電話などでガイダンスが聞こえている間に操作した場合は正常に動作しないことがありますので、ガイダンスが終了してから操作してください。

- ガイダンスが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、ガイダンスが確実に止まるように、少し長めに押してください(電話機によってはできない場合があります)。



▶ 最大録音時間は? (☛P8-1)

▶ 最大録音件数は? (☛P8-1)

▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは? (☛P8-1)

自動で通話を録音するには

外の相手の方とのお話しの内容を自動的に録音することができます（自動通話録音）。
ただし、内線どうしでのお話しは自動で録音されません。
通話録音モードが自動に設定されている必要があります。（☛P4-5）

1 着信音が鳴ったら、応答操作を行い、ハンドセットを取りあげる。

2 相手の方とお話しする。
録音ランプが赤く点灯し、お話しの内容が録音されます。



12月19日(金) 午後 3:05
0-06

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

録音が終了し、録音ランプが消えます。
ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅し、ディスプレイに「メッセージ有り」と表示して、メッセージが録音されたことをお知らせします。

12月19日(金) 午後 3:05
10
メッセージ有り

STOP お願い

- 相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に、自動通話録音に設定されている電話機で、相手の方の了解を得られない場合は、通話中に録音取消ボタンを押して通話録音を中止してください。



お知らせ

- 他の内線電話機から転送されてきた場合に、「システム設定」で通話録音ができるように設定できます。
- 発信時、自動通話録音はできません。手動通話録音（☛P4-3）はできます。
- 内線着信は、自動通話録音できません。手動通話録音（☛P4-3）はできます。
- 「一定時間後に自動的に消去する」に設定されている場合は、保存操作をしないで録音を終了したときに一定時間内保存しているメッセージも、ボックスあたりの録音件数に含まれます。
- 通話録音中に通話を保留にすると、通話録音は一時停止されます。通話を保留した電話機で、保留に応答すると通話録音が再開します。通話を保留した電話機以外で、保留に応答すると通話録音は終了します。
- 通話録音中に相手の方が先に電話を切ると、自動的にコメントの録音を開始されます。
録音内容にコメントを付けて送信するには（☛P4-6）
コメント録音が不要な場合は、そのまま電話をお切りください。



- ▶ 最大録音時間は？（☛P8-1）
- ▶ 最大録音件数は？（☛P8-1）
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？（☛P8-1）
- ▶ 通話録音中に使用できない機能、操作は？（☛P8-2）
- ▶ 高音質での用件（メッセージ）録音や通話録音はできますか？（☛P8-2）



ワンポイント

●自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには(➡P4-5)

●録音を一時停止するには

一時停止中は、録音ランプがゆっくり点滅します。

- 録音中に **[✖]** またはポーズボタンを押します。
- 録音を再開するときは、もう一度 **[✖]** またはポーズボタンを押します。

●録音を終了するには

録音中または一時停止中に録音を終了することができます。

押すボタン	録音終了後の状態
録音取消ボタン	録音内容を取り消します。
呼出取消ボタン	録音を保存し、終了します。着信通知(➡P2-7)を行いません。
終了ボタン または [#]	録音を保存し、終了します。着信通知が設定されている場合は、着信通知(➡P2-7)を行います。
コメントボタン または [機能] に 続けて [9 0 0 0] [4 0 0 0]	録音を終了し、録音内容にコメントを付けて送信します。(➡P4-6) 通話が終了します。

●録音内容を他のボックスに送信するには

①手順1～2を行う

②ダイヤルボタンで送信先のボックス番号を押したあと **[#]** を押す

録音ランプが赤から緑に変わります。

送信先のボックスに対応するボックス(再生)ボタンを押して、送信先を指定することもできます。

送信先を間違えた場合は、手順②の操作をやり直します。

送信先の録音件数がいっぱいでは送信できないときは「ブブブブ」というエラー音が聞こえます。

③ハンドセットを置く

●録音中に最大録音時間をオーバーすると

「ブブブブ」というエラー音が聞こえ、録音ランプが点滅します。それまでの録音内容は他のボックスに送信することもできます。

- 他のボックスに送信する場合
送信先のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて **[#]** を押し、終了ボタンまたは **[#]** を押して録音を終了してください。
- 他のボックスに送信しない場合
終了ボタンまたは **[#]** を押して録音を終了してください。

<録音を再開するときは>

録音ボタンまたは、**[機能]** に続けて音声メール手動通話録音の特番 (**[9 0 0 0]** **[7 0 0 0]** []) を押して手動通話録音を開始してください。

●録音内容を再生するには

メッセージの再生と同様の操作を行います。

録音内容を再生するには (➡P3-1)

ボックス番号を指定して録音内容を再生するには (➡P3-3)

■保存操作をしないで録音を終了したときは

保存操作(終了ボタンなどで録音を終了する／送信先を指定する／コメントを録音する)をしないで録音を終了した場合の動作は、下記のいずれかに設定することができます。

- 削除(録音内容を取り消す)
- 一定時間後に自動的に削除する
- 応答した内線電話機のボックスに保存する

お買い求め時は「応答した内線電話機のボックスに保存する」に設定されています。

保存操作をしないで録音を終了した場合でも、相手の方が先に電話を切るとコメント録音が始まるため、録音内容が保存される場合があります。

○保存操作をしないで録音を終了したときに録音内容を保存するには(「一定時間後に自動的に消去する」に設定されている場合に限り)

録音を終了しても、一定時間内(5～45分：お買い求め時は5分に設定されています)であれば、下記の保存操作を行うことで録音を保存できます。

保存操作を行う前に停電になり、主装置がバックアップ電池による動作ができなくなったときは、録音を保存できません。

①内線ボタンを押す

②**[決定]** を押す

③通話録音内容保持設定特番 (**[8 0 0 0]** **[0 0 0 0]** []) を押す

④**[1 0]** を押す

⑤スピーカボタンを押す

●お話しの録音中に相手の方が先に電話を切ったときは

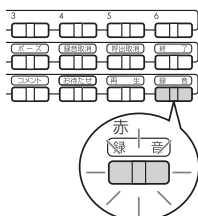
自動的にコメント録音が始まります。コメント録音を行わないときは、そのままハンドセットを置いてください。

手動で通話を録音するには

相手の方とお話し中に録音開始の操作をすると、お話しを録音することができます（手動通話録音）。内線どうしのお話しも録音することができます。

- 1 相手の方とお話し中に、録音ボタンまたは、機能に続けて音声メール手動通話録音の特番（9⁵ WXYZ 7⁸ PQRS []）を押す。

お話しの内容が録音されます。



12月19日(金) 午後 3:05
0-20

- 2 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

録音が終了し、録音ランプが消えます。

ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅し、ディスプレイに「メッセージ有り」と表示して、メッセージが録音されたことをお知らせします。

12月19日(金) 午後 3:05
10
メッセージ有り

STOP お願い

- 相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に、自動通話録音に設定されている電話機で、相手の方の了解を得られない場合は、通話中に録音取消ボタンを押して通話録音を中止してください。

お知らせ

- 送信先を指定しない場合は、応答した内線電話機のボックスに録音内容が保存されます。
- 録音は録音ボタンを押したところから開始されます。
- 通話録音中に通話を保留にすると、通話録音は一時停止されます。通話を保留した電話機で、保留に応答すると通話録音が再開します。通話を保留した電話機以外で、保留に応答すると通話録音は終了します。
- 内線通話録音中に、相手の方が保留すると通話録音は一時停止されます。相手の方が保留に応答すると、通話録音が再開します。
- 通話録音中に相手の方が先に電話を切ると、自動的にコメントの録音を開始されます。
録音内容にコメントを付けて送信するには（☛P4-6）
コメント録音が不要な場合は、そのまま電話をお切りください。



- ▶ 最大録音時間は？（☛P8-1）
- ▶ 最大録音件数は？（☛P8-1）
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？（☛P8-1）
- ▶ 通話録音中に使用できない機能、操作は？（☛P8-2）
- ▶ 高音質での用件（メッセージ）録音や通話録音はできますか？（☛P8-2）



ワンポイント

- お話し中に録音ボタンを押すと
録音ランプが赤く点灯します。送信先のボックスを指定すると、ランプの色が赤から緑に変わります。
- 自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには(➡P4-5)
- 録音を一時停止するには
一時停止中は、録音ランプがゆっくり点滅します。
 - ・録音中に **[✳]** またはポーズボタンを押します。
 - ・録音を再開するときは、もう一度 **[✳]** またはポーズボタンを押します。
- 録音を終了するには
録音中または一時停止中に録音を終了することができます。

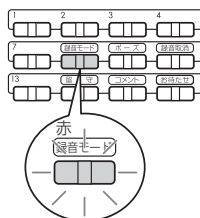
押すボタン	録音終了後の状態
録音取消ボタン	録音内容を取り消します。
呼出取消ボタン	録音を保存し、終了します。着信通知(➡P2-7)を行いません。
終了ボタン または [#]	録音を保存し、終了します。着信通知が設定されている場合は、着信通知(➡P2-7)を行います。
コメントボタンまたは [機能] に続けて [9 WXYZ] [4 GH]	録音を終了し、録音内容にコメントを付けて送信します。(➡P4-6) 通話が終了します。

- 録音内容を他のボックスに送信するには
 - ①相手の方とお話し中に、録音ボタンを押す
 - ②ダイヤルボタンで送信先のボックス番号を押したあと **[#]** を押す
録音ランプが赤から緑に変わります。
送信先のボックスに対応するボックス(再生)ボタンを押して、送信先を指定することもできます。
送信先を間違えた場合は、手順②の操作をやり直します。
送信先の録音件数がいっぱいでは送信できないときは「ブブブブ」 というエラー音が聞こえます。
 - ③ハンドセットを置く
 - 録音中に最大録音時間をオーバーすると
「ブブブブ」 というエラー音が聞こえ、録音ランプが点滅します。それまでの録音内容は他のボックスに送信することもできます。
 - ・他のボックスに送信する場合
送信先のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて **[#]** を押し、終了ボタンまたは **[#]** を押して録音を終了してください。
 - ・他のボックスに送信しない場合
終了ボタンまたは **[#]** を押して録音を終了してください。
- ＜録音を再開するときは＞
録音ボタンまたは、 **[機能]** に続けて音声メール手動通話録音の特番 (**[9 WXYZ]** **[7 PQRS]** []) を押して手動通話録音を開始してください。
- 録音内容を再生するには
メッセージの再生と同様の操作を行います。
録音内容を再生するには (➡P3-1)
ボックス番号を指定して録音内容を再生するには (➡P3-3)

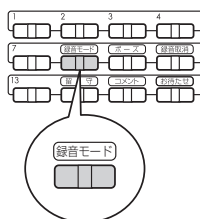
待機中に録音モードボタンを押すことで、自動通話録音と手動通話録音を切り替えることができます。

<例>手動通話録音モード→自動通話録音モード→手動通話録音モードに切り替える場合

- 1** 待機中に録音モードボタンを押す。
手動通話録音モードから自動通話録音モードに切り替わり、録音モードランプが点灯します。



- 2** 再度、待機中に録音モードボタンを押す。
自動通話録音モードから手動通話録音モードに切り替わり、録音モードランプが消灯します。



ワンポイント

●メニュー操作で自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには

- ① ハンドセットを置いたまま、**メニュー** を押す
- ② **決定** を押す
または **1** を押します。
- ③ 上下ボタンで「9：その他」を選択し、**決定** を押す
または **9** を押します。
- ④ 上下ボタンで「4：通話録音モード設定」を選択し、**決定** を押す
または **4** を押します。
- ⑤ 手動通話録音にするときは **0**、自動通話録音にするときは **1** を押す

●特番で自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには

- ① 内線ボタンを押す
- ② **決定** を押す
- ③ 通話録音モード設定の特番 (**9** **2** []) を押す
- ④ 手動通話録音にするときは **0**、自動通話録音にするときは **1** を押す
- ⑤ スピーカボタンを押す

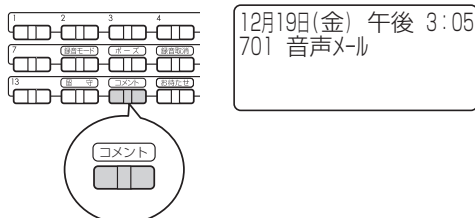
録音内容にコメントを付けて送信するには

通話録音した内容の前にコメントを付けて送信することができます。

- 1 お話しの録音中または一時停止中に、コメントボタンまたは、**機能** に続けて音声メールコメント付加の特番（**9** **4** **GH** **1**）を押す。

コメントボタンまたは、**機能** に続けて 音声メールコメント付加の特番（**9** **4** **GH** **1**）を押すと、相手の方との通話が切れ、通話録音が終了します。

＜例＞コメントボタンを押した場合



コメントを録音します。コメントをどうぞ。ピーッ。

- 2 コメントをお話する。

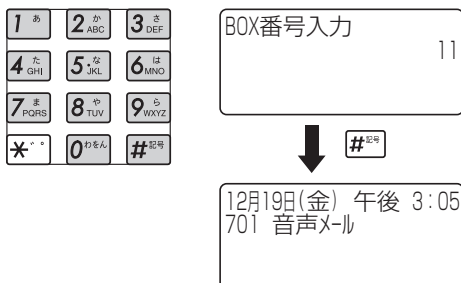


12月19日(金) 午後 3:05
701 音声メール

- 3 送信先のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて **#** を押す。

ボックス番号と **#** を押している間もコメント録音は続いています。

＜例＞送信先のボックス番号が11の場合



送信先のボックスに対応するボックス（再生）ボタンを押して、送信先を指定することもできます。

送信先を間違えた場合は、手順3の操作をやり直します。

- 4 コメントを話し終えたら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 録音を一時停止するには

一時停止中は、録音ランプがゆっくり点滅します。

- ・ 録音中に **※** またはポーズボタンを押します。
- ・ 録音を再開するときは、もう一度 **※** またはポーズボタンを押します。

- 録音を終了するには

コメント録音中または一時停止中にコメント録音を終了することができます。

押すボタン	録音終了後の状態
録音取消ボタン	コメント録音を取り消し、通話録音を保存して、終了します。
呼出取消ボタン	コメント録音と通話録音を保存し、終了します。着信通知（P2-7）は行いません。
終了ボタンまたは #	コメント録音と通話録音を保存し、終了します。着信通知が設定されている場合は、着信通知（P2-7）を行います。

- お話しの録音中に相手の方が先に電話を切ったときは

自動的にコメント録音が始まります。コメント録音を行わないときは、そのままハンドセットを置いてください。

- 録音内容を他のボックスに送信しない場合

手順3を行わず、手順4へ進みます。



お知らせ

- 送信先を指定しない場合は、応答した内線電話機のボックスに録音内容が保存されます。
- 転送先の録音件数がいっぱい転送できないときは、「ブブブブ」というエラー音が聞こえます。



▶ 最大録音時間は？（P8-1）

録音内容にコメントを付けて送信するには
自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには

お待たせメッセージとは

外からの電話にすぐに出られないときなどに、音声メールからお待たせメッセージを流して出られるようになるまで待つことができます。

■手動お待たせメッセージ

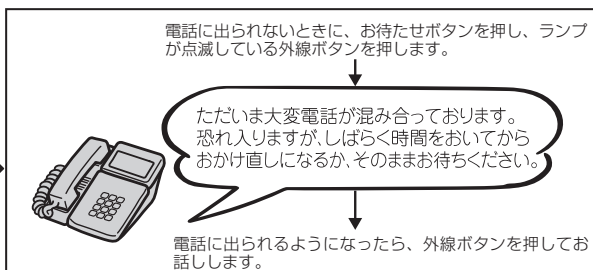
外の相手の方から電話がかかってきたときに、お待たせボタンを押してお待たせメッセージを流すことができます。(●P5-3)

相手の方には、下記のお待たせメッセージが流れます。お待たせメッセージは録音することができます。(●P7-5)

手動お待たせメッセージを利用する場合は、「システム設定」が必要です。



外の相手の方



お知らせ

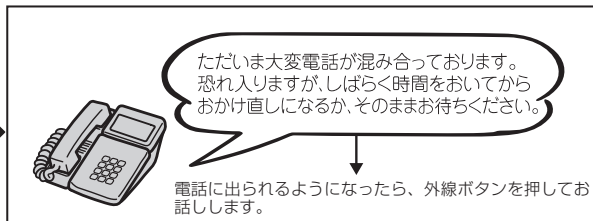
- お買い求め時は、外線ボタンを押して電話に出るまで、または相手の方が電話を切るまで、相手の方にお待たせメッセージが流れるように設定されています。「システム設定」で設定した時間が経つと自動的に「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」という切断メッセージを流して電話を切るようにすることもできます。切断メッセージは録音することもできます。(●P7-5)

■ 自動お待たせメッセージ

外の相手の方から電話がかかってきたときに、自動的にお待たせメッセージを流すことができます。相手の方には、下記のお待たせメッセージが流れます。お待たせメッセージは録音することができます。(●P7-5) 自動お待たせメッセージを利用する場合は、「システム設定」が必要です。



外の相手の方



お知らせ

- お買い求め時は、外線ボタンを押して電話に出るまで、または相手の方が電話を切るまで、相手の方にお待たせメッセージが流れるように設定されています。「システム設定」で設定した時間が経つと自動的に「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」という切断メッセージを流して電話を切るようにすることもできます。切断メッセージは録音することもできます。(●P7-5)

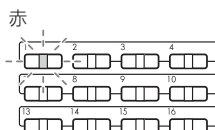


▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (●P8-1)

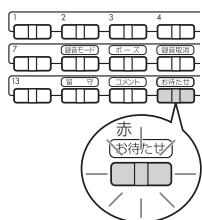
お待たせメッセージで応答するには

外の相手の方から電話がかかってきたときに、お待たせボタンを押してお待たせメッセージを流すことができます。

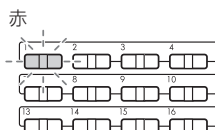
1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。



2 お待たせボタンを押す。

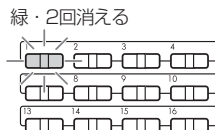


3 6秒以内にランプが点滅している外線ボタンを押す。 外の相手の方にはお待たせメッセージが流れます。



着信音が変わり、外の相手の方をお待たせしていることがわかります。

4 電話に出られるようになったら、外線ボタンを押す。



5 ハンドセットを取りあげる。

外の相手の方とお話できるようになります。



6 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを赤く点滅してお知らせするランプです。

●お待たせメッセージの内容

お買い求め時は、次のメッセージが流れます。

<お待たせメッセージ>

「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、しばらく時間を置いてからおかけ直しになるか、そのままお待ちください。

自分の声でメッセージを録音することもできます。
 (P7-5)

☒ お待たせメッセージを流している間の着信音を変えるには
 お待たせメッセージを流している間は、着信音が変わります。通常とは異なる着信音を流すことで、相手の方をお待たせしていることを忘れないようにすることができます。

ただし、お待たせメッセージを流している間に新しい着信があっても変更後の着信音のままで、通常の着信音には戻りません。

お待たせメッセージを流している間の着信音は、「システム設定」により変更できます。



お知らせ

- 手順3の操作は、手順2でお待たせボタンを押したあと、6秒以内に行ってください。
- 「システム設定」により、電話がかかってきたときに、自動的にお待たせメッセージを流すことができます（自動お待たせメッセージ）。
- 「システム設定」により、お待たせメッセージが流れる時間を設定し、設定した時間が経つと自動的に切断メッセージを流して電話を切ることもできます。
- 「システム設定」で、外の相手の方をお待たせしているときの着信音を鳴らさないように設定できます。このとき、電話機から小さな「ブツブツ」という音が聞こえることがあります。
- 構内放送用のスピーカから流れる着信音は、着信音を変更している場合でも変わりません。
- 通常の着信音を、お待たせメッセージが流れている間の着信音と同じにした場合、お待たせメッセージが起動していることがわからなくなりますのでご注意ください。
- 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは、お待たせメッセージを流す操作（手順2、3）をしてもお待たせメッセージは動作せず、着信音を変更している場合でも着信音は変わりません。

外出先からの操作について

外出先から、または外のお客様などが音声メールへ電話をかけて、録音されている内容を聞いたり、内線電話機を直接呼び出したり、さまざまな操作を行うことができます。

1 外出先などから音声メールへ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

1～4のいずれかのサービス番号を押します。

2 ガイダンスに従って操作を行う。

3 操作が終わったら、電話を切る。

STOP お願い

- 外出先から操作するときは、ダイヤルボタンをゆっくりと確実に押してください。
- 携帯電話などでガイダンスやメッセージが聞こえている間に操作した場合は正常に動作しないことがありますので、ガイダンスやメッセージが終了してから操作してください。
- ガイダンスやメッセージが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、ガイダンスやメッセージが確実に止まるように、少し長めに押してください（電話機によってはできない場合があります）。



ワンポイント

●音声メールへ電話をかけるときは

携帯電話またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でもプッシュ信号を送る機能があれば音声メールを利用することができます。

●サービス番号を押してできる操作は

サービス番号を押してできる操作は次のとおりです。

サービス 番号	操 作	操作概要	参照 ページ
① ⁹	内線呼出	外から内線電話機を直接呼び出す	➡P6-5
② ^{8,9}	外線発信	外から電話をかけて別の外線に発信する	➡P6-6
③ ^{7,8}	リモート 設定	外から各種リモート設定を行う（留守番電話のセット／解除、転送電話のセット／解除など）	➡P6-7
④ ^{6,7}	音声メール サービス	外から録音内容を聞いたり、伝言を残したりする	➡P6-3



お知らせ

- サービス番号を押してできる操作を「ダイヤリングサービス」と音声案内しています。

外出先などから録音内容を再生するには

外出先の電話機からリモコン操作で録音内容を再生することができます。続けて、録音内容を消去したりすることができます。

1 外出先などから音声メールへ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

2 4 を押す。

録音は1、再生は2を押してください。

3 2 を押す。

ボックス番号と#をどうぞ。

4 録音内容を再生するボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて # を押す。



<暗証番号を利用しているときは>

暗証番号と#をどうぞ。

手順5へ進みます。

<暗証番号を利用していないときは>

新しいメッセージがある場合：

新しいメッセージが××件あります。

新しいメッセージがない場合：

保存メッセージが××件あります。

手順6へ進みます。

メッセージがない場合：

メッセージはございません。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

5 暗証番号(1～4桁の数字)をダイヤルボタンで押し、続けて # を押す。

新しいメッセージがある場合：

新しいメッセージが××件あります。

新しいメッセージがない場合：

保存メッセージが××件あります。

メッセージがない場合：

メッセージはございません。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

6 メッセージの内容が聞こえる。

メッセージが順番に再生されます。



すべてのメッセージの再生が終了すると、

メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。

7 操作が終わったら、電話を切る。



ワンポイント

●暗証番号を間違えたときは

「暗証番号が違います。もう一度暗証番号と#をどうぞ。」というガイダンスが聞こえます。もう一度、暗証番号と「#」を押してください。3回間違えると、自動的に電話が切れます。

●メッセージ再生中にできる操作

操 作	押すボタン	操作後の動作
前へ	1	1つ前のメッセージを再生する
繰返	2	再生中のメッセージを最初から再生する
次へ	3	次のメッセージを再生する
消去	4	再生中のメッセージを消去する
転送	5	再生中のメッセージを他のボックスに転送する
保護	6	再生中のメッセージを保護（自動消去禁止・全消去禁止）に設定する
巻戻し	7	メッセージを巻き戻しする
早送り	9	メッセージを早送りする
停止	#	再生を停止し、下記のガイダンスが聞こえる - 新しいメッセージがある場合 「メッセージの再生を終了しました。新しいメッセージの再生は1を押してください。」 - 新しいメッセージがない場合 「メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。」
全消去	*	ボックス内のメッセージをすべて消去する（保護されたメッセージは消去されません）



お知らせ

●手順1でガイダンスが終了したあと、7秒以内に手順2の操作を行わなかった場合は、

「内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。」

というガイダンスが2回繰り返され、それでも手順2の操作を行わない場合は、自動的に電話が切れます。

●手順6のメッセージ再生後にタイムスタンプ（録音日時）が再生されます。

「××月××日××時××分のメッセージです。」というガイダンスが聞こえます。

●メッセージ再生中に早送り／巻き戻しを行ったときは、4秒区切りで早送り／巻き戻しを行い、早送り／巻き戻し後、区切りの先頭から再生します。早送り／巻き戻しをする区切りの時間は「システム設定」により設定できます。

●メッセージの再生順序と再生対象は、「再生順序と再生対象について」（P7-15）の「パターン1」固定です。

●新しいメッセージや保存メッセージが255件を超える場合でも、ガイダンスのメッセージ件数は「255件」です。



▶ 「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは？（P8-2）

内線電話機を直接呼び出すには

外出先などから音声メールへ電話をかけて、直接内線電話機を呼び出すことができます（ダイヤリン）。

1 外出先などから音声メールへ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

2 1* を押す。

内線番号をどうぞ。

3 相手の方の内線番号をダイヤルボタンで押す。

呼出音が聞こえます。



4 相手の方が出たら、お話しする。



5 お話しが終わったら、電話を切る。



ワンポイント

●呼び出し先の内線電話機が一定時間応答しないときやお話し中のときにメッセージを録音できるようにするには「システム管理者」に設定されている内線電話機から設定します。

①内線ボタンを押す

②[決定] を押す

③話中／不応答時音声メール動作設定の特番 ([7* 7*] [7* 7*]) を押す

④録音できるように設定するときは [1*] を押す
お買い求め時は切断 ([0*]) するように設定されています。

⑤スピーカボタンを押す



お知らせ

●手順1でガイダンスが終了したあと、7秒以内に手順2の操作を行わなかった場合は、

内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

というガイダンスが2回繰り返され、それでも手順2の操作を行わない場合は、自動的に電話が切れます。

●手順3で、登録されていない内線番号を押した場合は、

内線番号××はございません。もう一度内線番号をどうぞ。

というガイダンスのあと2回未登録の内線番号を入力した場合は、

操作方法をお確かめのうえ、のちほどおかけ直してください。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

●手順4で、呼び出している内線電話機が一定時間（※）応答しない場合や、お話し中などで呼び出せなかったときは、

内線番号XXは、ただいま席を外しております。
恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。

というガイダンスのあと電話が切れます。

※この時間は「システム設定」で変更できます。

●ステップコール（自グループ内の他の電話機を呼び出す）はできません。

●「システム設定」により、手順1で外出先などから音声メールへ電話をかけると、

内線番号をどうぞ。

というガイダンスが聞こえ、手順3から操作することができます。

外出先などから電話をかけて 別の外線に発信するには

外出先などから音声メールへ電話をかけて、別の外線に発信することができます。

1 外出先などから音声メールへ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号を
どうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定
は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

2 2を押す。

内線番号と暗証番号と#をどうぞ。

3 内線番号と暗証番号をダイヤルボタンで押し、続けて#を押す。

外線発信番号をどうぞ。



4 外線発信番号 (011) [] を押して、「ツー」という外線発信音を確認してから、相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押す。

呼出音が聞こえます。

5 相手の方が出たら、お話しする。



6 お話しが終わったら、電話を切る。



お知らせ

- 手順1でガイダンスが終了したあと、7秒以内に手順2の操作を行わなかった場合は、
内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。
というガイダンスが2回繰り返され、それでも手順2の操作を行わない場合は、自動的に電話が切れます。
- 外出先で使用する携帯電話などの番号を共通電話帳に登録し、共通電話帳グループの着信先を自動応答サービスに設定している場合は、手順3の操作を省略することができます。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- 「システム設定」で「自動応答サービス外線発信用暗証番号」を設定している場合は、手順3で、内線番号と暗証番号の代わりに自動応答サービス外線発信用暗証番号を使用することができます。
- 手順5で、呼び出している相手の方が一定時間（※）応答しない場合や、お話し中などで呼び出せなかったときは、「プープー…」という話中音が聞こえます。
※ この時間は「システム設定」で変更できます。

外出先などから電話をかけて別の外線に発信するには
内線電話機を直接呼び出すには

6 外出先から
操作する

リモート設定を行うには

外出先などから音声メールへ電話をかけて、各種機能を設定することができます。

1 外出先などから音声メールへ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

2 3 を押す。

リモート設定を行います。内線番号と暗証番号と#をどうぞ。

3 内線番号と暗証番号をダイヤルボタンで押し、続けて#を押す。

リモート設定アクセス番号をどうぞ。



4 リモート設定アクセス番号をダイヤルボタンで押す。 ガイダンスに従って操作します。リモート設定アクセス番号については「リモート設定一覧」(P6-8)を参照してください。

5 リモート設定が終わったら、電話を切る。



お知らせ

- 手順1でガイダンスが終了したあと、7秒以内に手順2の操作を行わなかった場合は、
内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。
というガイダンスが2回繰り返され、それでも手順2の操作を行わない場合は、自動的に電話が切れます。
- 外出先で使用する携帯電話などの番号を共通電話帳に登録し、共通電話帳グループの着信先を自動応答サービスに設定している場合は、手順3の操作を省略することができます。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

リモート設定一覧

リモート設定について、詳しくはネットコミュニティシステム αNX typeS/typeMの取扱説明書を参照してください。

操 作		使用する特番操作例とガイダンス
留守番電話／転送 電話の操作	留守番電話のセット (※1)	6 ^{内線} 7 ^{特番} 0 ^{留守} [] 留守番電話を設定しました。
	転送電話のセット(※1)	6 ^{内線} 7 ^{特番} 1 ^{転送} [] 転送電話を設定しました。
	留守番電話と転送電話の 解除(※1)(※3)	6 ^{内線} 7 ^{特番} 2 ^{解除} [] 留守番電話または転送電話を解除しました。
	電話機起動転送先リスト の登録(※1)	6 ^{内線} 7 ^{特番} 3 ^{登録} [] + 1 ^{内線} ~ 3 ^{内線} # + 転送先電話番号 # X番目の転送先に電話番号XXXX…を登録しました。
	電話機起動転送先リスト の削除(※1)	6 ^{内線} 7 ^{特番} 4 ^{削除} [] + 1 ^{内線} ~ 3 ^{内線} # X番目の転送先を削除しました。
	留守番電話の応答メッ セージの選択(※1)	6 ^{内線} 7 ^{特番} 5 ^{選択} [] + 0 ^{応答} または 1 ^{録音} # (0：応答専用、1：録音用) 留守番電話の応答メッセージをXに選択しました。
	システム共通の転送先リ ストの登録(※2)	6 ^{内線} 7 ^{特番} 6 ^{登録} [] + 0 ^{内線} 1 ^{内線} ~ 2 ^{内線} 0 ^{内線} # + 1 ^{内線} ~ 3 ^{内線} # + 転送先電話番号 # リスト番号XXのX番目を電話番号XXXX…で登録しました。
	システム共通の転送先リ ストの削除(※2)	6 ^{内線} 7 ^{特番} 7 ^{削除} [] + 0 ^{内線} 1 ^{内線} ~ 2 ^{内線} 0 ^{内線} # + 1 ^{内線} ~ 3 ^{内線} # リスト番号XXのX番目を削除しました。
	圏外時サービス設定	6 ^{内線} 7 ^{特番} 8 ^{設定} [] + 0 ^{解除} # (解除) / 1 ^{転送} # (転送電話) / 2 ^{留守} # (留守番電話) 圏外時サービス設定を行います。サービス番号とシャープをどうぞ。
システムモードの 切り替え(※2)	システムモードの解除 (自動モードへの切り替 え)	9 ^{システム} 4 ^{モード} 0 ^{解除} [] システムモードの設定を解除しました。
	昼モードへの切り替え	9 ^{システム} 4 ^{モード} 1 ^昼 [] システムモードを昼モードに設定しました。
	夜モードへの切り替え	9 ^{システム} 4 ^{モード} 2 ^夜 [] システムモードを夜モードに設定しました。
	休憩モードへの切り替え	9 ^{システム} 4 ^{モード} 3 ^{休憩} [] システムモードを休憩モードに設定しました。
	休日モードへの切り替え	9 ^{システム} 4 ^{モード} 4 ^{休日} [] システムモードを休日モードに設定しました。
セキュリティサー ビス	起動	6 ^{内線} 7 ^{特番} 9 ^{起動} [] + 1 ^{内線} # セキュリティサービスを起動または解除します。サービス番号とシャープ をどうぞ。→セキュリティサービスを起動しました。
	解除	6 ^{内線} 7 ^{特番} 9 ^{解除} [] + 0 ^{内線} # + セキュリティ暗証番号 + # セキュリティサービスを起動または解除します。サービス番号とシャープ をどうぞ。→セキュリティサービスを解除しました。

※1 内線番号と暗証番号が必要です。

※2 「システム管理者」に設定された内線電話機の内線番号と暗証番号をダイヤルしたときのみ操作を行えます。

※3 留守番電話と転送電話の両方をセットしている場合は、どちらも解除されます。

ワンタッチコールバックを利用するには

E-mail連動機能の電子メールからコールバック機能を利用してメッセージを録音した方に発信する機能です。

ワンタッチコールバックを利用するには、「システム設定」が必要です。

■ワンタッチコールバックを利用可能な機器

- ・スマートフォン
- ・スマートフォン（spモード）
- ・携帯電話（iモード）
- ・パソコン

メニュー項目	機能	参照
ワンタッチコールバック発信の設定（BOX毎）	電子メール通知で通知するワンタッチコールバック発信／再生の発信先電話番号を設定します。	➡P11-5
ワンタッチコールバックの設定（システム共通）	電子メール通知で通知するワンタッチコールバック発信／再生のURLとポート番号を設定します。	➡P11-9



ワンポイント

●コールバック（中継発信）とは

あらかじめ登録している電話番号に対し、システムが自動的に折り返し電話をかける機能（コールバック）です。外出先からでも、事業所（システム設置所）の料金負担で通話することができます。

●E-mail連動機能の電子メールを送信するには

「留守番電話にメッセージが録音されたことを電子メールでお知らせするには」（➡P2-11）を参照してください。



お知らせ

- 本機能の利用には、ブロードバンドルータユニットの接続と設定が必要です。

ワンタッチコールバック発信する

外出先のスマートホンなどからE-mail連動機能の電子メールに記載されている発信URLをクリックすることによりメッセージを録音した方と通話することができます。

- 1** E-mail連動機能の電子メール（☛P2-11）の発信URLをクリックする。



- 2** 音声メールからコールバックの電話がかかってきたら応答操作する。

着信に応答すると、呼び出し音が聞こえ、メッセージを録音した方を呼び出します。
相手の方が電話に出るまでお待ちください。



- 3** 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

○URL有効期限

URLの有効期限は、音声メールが保存されている間です。音声メールが消去されるとそのURLは無効となります。無効になったURLにアクセスした場合、ワンタッチコールバック発信／再生機能を利用することはできません。

●表示メッセージ

手順1で、次のメッセージが表示されます。

「ワンタッチコールバック発信

しばらく待っても着信がない場合は

時間を置いてから再度お試しください」

発信できない場合、次のようなメッセージが表示されることがあります。

- 「ワンタッチコールバック発信
しばらく待っても着信がない場合は
時間を置いてから再度お試しください」
- 「音声メールが既に消去されています
ご利用ありがとうございました」
- 「ボイスメールシステム利用中です
時間を置いてから再度お試しください」



お知らせ

- お話中、発信規制、空いている回線がないなどで相手先に発信できない場合は、電話が切れます。

ワンタッチコールバック再生する

外出先のスマートホンなどからE-mail連動機能の電子メールに記載されている再生URLをクリックすることにより、録音内容（メッセージ）を再生することができます。

- 1 E-mail連動機能の電子メール（▶P2-11）の再生URLをクリックする。



- 2 音声メールからコールバックの電話がかかってきたら応答操作する。

「メッセージの再生を行います。」というガイダンスが聞こえ、メッセージが1件再生されます。



メッセージの再生が終了すると、下記のガイダンスが聞こえます。

- 新しいメッセージがある場合
「メッセージの再生を終了しました。新しいメッセージの再生は1を押してください。」
- 新しいメッセージがない場合
「メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。」

- 3 ガイダンスに従って操作する。



ワンポイント

- 手順2でメッセージ再生中にできる操作
次のメッセージ操作が行えます。

操 作	押すボタン	操作後の動作
—	1	—
繰返	2	再生中のメッセージを最初から再生する
—	3	—
消去	4	再生中のメッセージを消去する
転送	5	再生中のメッセージを他のボックスに転送する
保護	6	再生中のメッセージを保護（自動消去禁止・全消去禁止）に設定する
巻戻し	7	メッセージを巻き戻しする
発信	8 「ププ…」という発信音を確認し、1	メッセージを録音された方に発信する
早送り	9	メッセージを早送りする
停止	#	再生を停止し、下記のガイダンスが聞こえる • 新しいメッセージがある場合 「メッセージの再生を終了しました。新しいメッセージの再生は1を押してください。」 • 新しいメッセージがない場合 「メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。」

※メッセージ再生中に1か3をダイヤルした場合

「その操作は実行できません。繰返し再生は2、消去は4、転送は5、保護は6をどうぞ。」というガイダンスが聞こえます。

- 表示メッセージ

手順1で、次のメッセージが表示されます。

「ワンタッチコールバック再生

しばらく待っても着信がない場合は
時間を置いてから再度お試しください」

発信できない場合、次のようなメッセージが表示されることがあります。

- 「ワンタッチコールバック再生
しばらく待っても着信がない場合は
時間を置いてから再度お試しください」
- 「音声メールが既に消去されています
ご利用ありがとうございました」
- 「ボイスメールシステム利用中です
時間を置いてから再度お試しください」



ワンポイント

●保存メッセージを再生するには

お買い求め時は、新しいメッセージの再生終了後、再度操作をすることにより保存メッセージ（再生済み）を再生するように設定されています。新しいメッセージと保存メッセージを合わせて再生するには、新規メッセージ優先設定を「優先しない」に設定します。（☛P7-18）

このとき、メッセージの件数をお知らせするガイダンスは、次のようになります。

「新しいメッセージが××件、保存メッセージが××件あります。」

また、メッセージの再生終了後のガイダンスは、次のようになります。

「メッセージの再生を終了しました。メッセージの再生は1を押してください。」

●メッセージの再生順序を変更するには

お買い求め時は、古い順に再生するように設定されています。メッセージを新しい順に再生することもできます。（☛P7-17）

●手順3でメッセージ再生中にできる操作

操 作	押すボタン	操作後の動作
前へ	1	1つ前のメッセージを再生する
繰返	2	再生中のメッセージを最初から再生する
次へ	3	次のメッセージを再生する
消去	4	再生中のメッセージを消去する
転送	5	再生中のメッセージを他のボックスに転送する
保護	6	再生中のメッセージを保護（自動消去禁止・全消去禁止）に設定する
巻戻し	7	メッセージを巻戻しする
発信	8 「プププ…」 という発信音 を確認し、 1	メッセージを録音された方に発信する
早送り	9	メッセージを早送りする
停止	#	再生を停止し、下記のガイダンスが聞こえる - 新しいメッセージがある場合 「新しいメッセージの再生を終了しました。新しいメッセージの再生は1を押してください。」 - 新しいメッセージがない場合 「新しいメッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。」
全消去	*	ボックス内のメッセージをすべて消去する（保護されたメッセージは消去されません）

STOP お願い

- ガイダンスが聞こえている間にスマートホンなどを操作した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してから操作してください。
- ガイダンスやメッセージが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、ガイダンスやメッセージが確実に止まるように、少し長めに押してください（電話機によってはできない場合があります）。



お知らせ

- 「システム設定」でタイムスタンプ自動再生が設定されている場合は、メッセージ再生後にタイムスタンプ（録音日時）が再生されます。
「××月××日××時××分のメッセージです。」というガイダンスが聞こえます。
- メッセージ再生中に早送り／巻戻しを行ったときは、4秒区切りで早送り／巻戻しを行い、早送り／巻戻し後、区切りの先頭から再生します。早送り／巻戻しをする区切りの時間は「システム設定」により設定できます。

ユーザ設定によりご利用になれる機能

音声メールには、お客様が登録・設定できるさまざまな機能があります。

登録・設定できる機能は次のとおりです。

特番設定は、内線ボタンを押して、**(決定)** を押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

メニュー設定または機能番号により設定する項目

ユーザ設定の項目	機能番号（参照ページ）		内 容
	メニュー設定時	特番設定時	
留守番電話の応答メッセージを設定する	1 あ 4 た 2 か (☛P7-3)	7 ま 0 ぴえん [] (☛P7-4)	留守番電話 (☛P2-1) の応答メッセージを録音／確認／選択します。
留守番電話を応答専用を設定する	1 あ 4 た 3 せ (☛P7-13)	7 ま 6 は [] (☛P7-13)	留守番電話 (☛P2-1) で、メッセージを録音しないで応答メッセージだけを流すように設定します。
メッセージの再生順序を設定する	1 あ 4 た 5 な (☛P7-17)	—	メッセージの再生順序を新しい順／古い順のどちらにするか設定します。
新しいメッセージを優先して再生する	1 あ 4 た 6 は (☛P7-18)	—	新しいメッセージと保存メッセージの両方がある場合の再生対象を設定します。新しいメッセージのみ先に再生する／保存メッセージも再生するのどちらかに設定できます。
暗証番号を設定する	1 あ 9 ら 2 か (☛P1-9)	1 あ 2 か [] (☛P1-10)	電話機ごとの暗証番号を設定します。
自動通話録音／手動通話録音を切り替える	1 あ 9 ら 4 た (☛P4-5)	9 ら 2 か [] (☛P4-5)	通話録音の開始を自動／手動のどちらにするか設定します。
FAX／電話切替メッセージを設定する	2 か 6 は 8 や (☛P7-7)	7 ま 4 た [] (☛P7-8)	FAX／電話切替（ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeM取扱説明書参照）のときに使用するメッセージを録音／確認／選択します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
留守番電話の応答時間を設定する	2 か 8 や 2 か (☛P7-11)	3 せ 0 ぴえん [] (☛P7-12)	電話がかかってきたとき、留守番電話が応答するまでの時間を設定します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
システム留守番電話の応答メッセージを設定する	2 か 8 や 6 は (☛P7-9)	7 ま 1 あ [] (☛P7-10)	システム留守番電話 (☛P2-15) の応答メッセージを録音／確認／選択します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
システム留守番電話を応答専用を設定する	2 か 8 や 7 ま (☛P7-14)	7 ま 8 や [] (☛P7-14)	システム留守番電話 (☛P2-15) で、メッセージを録音しないで応答メッセージだけを流すように設定します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
お待たせメッセージの応答メッセージを設定する	2 か 8 や 8 や (☛P7-5)	7 ま 3 せ [] (☛P7-6)	お待たせメッセージ (☛P5-1) の応答メッセージを録音／確認／選択します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
お買い求め時の状態に戻す (録音した内容や応答メッセージをすべて消去する)	—	0 ぴえん 4 た [] (☛P8-3)	応答メッセージや録音した内容を消去して、お買い求め時の状態に戻します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

ユーザ設定の項目	機能番号（参照ページ）		内 容
	メニュー設定時	特番設定時	
外出先からの操作の内線呼び出しで、内線電話機がお話中のときや応答しなかったときに、メッセージを録音するように設定する	—	  [] (●P6-5)	外出先からの操作の内線呼び出しで、内線電話機がお話中のときや応答しなかったときに、メッセージを録音するように設定します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
自動通話録音で保存操作をしなかったときの録音内容を保存する	—	  [] (●P4-2)	自動通話録音（●P4-1）で保存操作をしなかったとき、録音内容を保存することができます。
着信通知先の電話番号を登録する	—	  [] (●P2-9)	ボックスにメッセージが録音されたことを外出先の電話機にお知らせするときの電話番号を登録します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
着信通知するかどうかを設定する	—	  [] (●P2-10)	ボックスにメッセージが録音されたことを外出先の電話機にお知らせするかどうかを設定します。



お知らせ

- デジタルシステムコードレス電話機をご利用になる場合は、特番設定でのみ登録・設定できます。

留守番電話の応答メッセージを設定するには

留守番電話（☎P2-1）で使用する応答メッセージを選択したり、録音したりできます。

応答メッセージを録音する

- 1** ハンドセットを置いたまま、**メニュー** を押す。
メインメニューが表示されます。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

- 2** **決定** を押す。
または **1** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

- 3** 上下ボタンで「4: 留守/転送」を選択し、**決定** を押す。
または **4** を押します。



1: 転送先以外登録
2: 留守メッセージ設定
3: 留守番電話応答動作
4: 圏外時サービス設定

- 4** 上下ボタンで「2: 留守メッセージ設定」を選択し、**決定** を押す。
または **2** を押します。

留守メッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認

- 5** 上下ボタンで「1: 録音」を選択し、**決定** を押す。
または **1** を押します。

留守メッセージ録音
0: 応答専用
1: 録音用

- 6** 上下ボタンで応答専用を録音するときは「0: 応答専用」、録音用を録音するときは「1: 録音用」を選択し、**決定** を押す。
または **0** か **1** を押します。

留守メッセージ録音
オフフックしてダイヤル#で
録音を開始します

- 7** ハンドセットを取りあげる。



- 8** **#** を押し、「ピー」音が終了したあとに応答メッセージをお話する。



- 9** 応答メッセージを話し終えたら **#** を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

録音終了
オフフックしてください

- 10** ハンドセットを置く。

留守メッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認

クリア を長く押して、待機画面に戻ります。



ワンポイント

● 応答メッセージを選択するには

- ① 手順1～4を行う
- ② 上下ボタンで「0：選択」を選択し、**[決定]**を押す
または **[0^{呼び出し}]**を押します。
- ③ 上下ボタンで応答専用を選択するときは「0：応答専用」、録音用を選択するときは「1：録音用」を選択し、**[決定]**を押す
または **[0^{呼び出し}]** か **[1^あ]**を押します。
- ④ 上下ボタンでお買い求め時の応答メッセージにするときは「0：出荷時設定」、録音した応答メッセージにするときは「1：録音メッセージ」を選択し、**[決定]**を押す
または **[0^{呼び出し}]** か **[1^あ]**を押します。

● 選択されている応答メッセージを確認するには

- ① 手順1～4を行う
- ② 上下ボタンで「2：確認」を選択し、**[決定]**を押す
または **[2^{ABC}]**を押します。
- ③ 上下ボタンで応答専用を確認するときは「0：応答専用」、録音用を確認するときは「1：録音用」を選択し、**[決定]**を押す
または **[0^{呼び出し}]** か **[1^あ]**を押します。
選択されている応答メッセージが再生されます。

● 録音した応答メッセージを消去するには

応答メッセージを初期化します。(☛P8-3)

● 特番で留守番電話の応答メッセージを設定するには

次の手順で応答メッセージの選択／録音／確認を行うことができます。

- ① 内線ボタンを押す
- ② **[決定]**を押す
- ③ 留守番電話の応答メッセージ設定の特番 (**[7² PORS]** **[0^{呼び出し}]** **[]**)を押す
- ④ 応答メッセージ選択／録音／確認の操作を行う



お知らせ

- 新たに応答メッセージを録音すると、前に録音していた応答メッセージは消去されます。
- 応答メッセージの最大録音時間は約3分です。
- 録音中に最大録音時間をオーバーすると、録音は自動的に終了します。



- ▶ 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？(☛P8-1)
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？(☛P8-1)

お待たせメッセージを設定するには

お待たせメッセージ（☛P5-1）を選択したり、録音したりできます。お待たせメッセージの設定は、「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

お待たせメッセージを録音する

- 1** ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]** を押す。
メインメニューが表示されます。



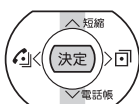
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

- 2** 下ボタンで「2: システム一括設定」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[2]** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 保留

- 3** 上下ボタンで「8: 留守/転送」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[8]** を押します。



1: 転送先リスト登録
2: 留守/転送開始タイマ
3: 外線転送先呼出タイマ
4: 外線転送方式設定

- 4** 上下ボタンで「8: お待たせメッセージ設定」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[8]** を押します。

お待たせメッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認

- 5** 上下ボタンで「1: 録音」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[1]** を押します。

お待たせメッセージ録音
1: お待たせメッセージ
2: 切断メッセージ

- 6** 上下ボタンでお待たせメッセージを録音するときは「1: お待たせメッセージ」、切断メッセージを録音するときは「2: 切断メッセージ」を選択し、**[決定]** を押す。

または **[1]** か **[2]** を押します。

お待たせメッセージ録音
オフックしてダイヤル#で
録音を開始します

- 7** ハンドセットを取りあげる。



- 8** **[#]** を押し、「ピー」音が終了したあとにお待たせメッセージをお話します。



- 9** お待たせメッセージを話し終わったら **[#]** を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

録音終了
オフックしてください

- 10** ハンドセットを置く。

お待たせメッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認

[クリア] を長く押して、待機画面に戻ります。



ワンポイント

●お待たせメッセージを選択するには

- ①手順1～4を行う
- ②上下ボタンで「0：選択」を選択し、**[決定]**を押す
または **[0^{PREL}]**を押します。
- ③上下ボタンでお待たせメッセージを選択するときは
「1：お待たせメッセージ」、切断メッセージを選択するときは「2：切断メッセージ」を選択し、**[決定]**を押す
または **[1^a]** か **[2^{かABC}]**を押します。
- ④上下ボタンでお買い求め時のお待たせメッセージにするときは「0：出荷時設定」、録音したお待たせメッセージにするときは「1：録音メッセージ」を選択し、**[決定]**を押す
または **[0^{PREL}]** か **[1^a]**を押します。

●選択されているお待たせメッセージを確認するには

- ①手順1～4を行う
- ②上下ボタンで「2：確認」を選択し、**[決定]**を押す
または **[2^{かABC}]**を押します。
- ③上下ボタンでお待たせメッセージを確認するときは
「1：お待たせメッセージ」、切断メッセージを確認するときは「2：切断メッセージ」を選択し、**[決定]**を押す
または **[1^a]** か **[2^{かABC}]**を押します。
選択されている応答メッセージが再生されます。

●録音したお待たせメッセージを消去するには

応答メッセージを初期化します。(➡P8-3)

●特番でお待たせメッセージを設定するには

次の手順でお待たせメッセージの選択／録音／確認を行うことができます。「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

- ①内線ボタンを押す
- ②**[決定]**を押す
- ③お待たせメッセージ設定の特番 (**[7^{かABC}]** **[3^{かDEF}]** [])を押す
- ④お待たせメッセージ選択／録音／確認の操作を行う



お知らせ

- 新たにお待たせメッセージを録音すると、前に録音していたお待たせメッセージは消去されます。
- お待たせメッセージの最大録音時間は約3分です。
- 録音中に最大録音時間をオーバーすると、録音は自動的に終了します。
- 手順6で選択する「切断メッセージ」とは、「システム設定」でお待たせメッセージが流れる時間を設定した場合に、設定した時間が経つと自動的に流れる切断メッセージのことです。
お買い求め時は、次のメッセージが流れます。
「**㊦** ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」



- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (➡P8-1)

FAX／電話切替メッセージを設定するには

FAX／電話切替（ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeM取扱説明書参照）のときに使用するメッセージを録音します。FAX／電話切替メッセージの録音は、「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

切替メッセージを録音する

- 1** ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]** を押す。
メインメニューが表示されます。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

- 2** 下ボタンで「2: システム一括設定」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[2 かな]** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 保留

- 3** 上下ボタンで「6: 機能登録／設定」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[6 MNO]** を押します。



1: システム設定
2: プリント読出タイマ
3: 長時間通話警報タイマ
4: ISDN料金表示設定

- 4** 上下ボタンで「8: F/T切替メッセージ設定」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[8 TUV]** を押します。

F/T切替メッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認

- 5** 上下ボタンで「1: 録音」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[1 a]** を押します。

F/T切替メッセージ録音
オフフックしてダイヤル#で
録音を開始します

- 6** ハンドセットを取り上げる。



- 7** **[# 24]** を押し、「ピー」音が終了したあとに切替メッセージをお話する。



- 8** 切替メッセージを話し終えたら **[# 24]** を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

録音終了
オフフックしてください

- 9** ハンドセットを置く。

F/T切替メッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認

[クリア] を長く押して、待機画面に戻ります。



ワンポイント

●切替メッセージを選択するには

- ①手順1～4を行う
- ②上下ボタンで「0：選択」を選択し、**[決定]**を押す
または **[0^{PRG}]**を押します。
- ③上下ボタンでお買い求め時の切替メッセージを選択するときは「0：出荷時設定」、録音した切替メッセージを選択するときは「1：録音メッセージ」を選択し、**[決定]**を押す
または **[0^{PRG}]** か **[1^あ]**を押します。

●選択されている切替メッセージを確認するには

- ①手順1～4を行う
- ②上下ボタンで「2：確認」を選択し、**[決定]**を押す
または **[2^{ACC}]**を押します。
選択されている切替メッセージが再生されます。

●録音した切替メッセージを消去するには

応答メッセージを初期化します。(➡P8-3)

●特番でFAX / 電話切替メッセージを設定するには

次の手順でお待たせメッセージの選択／録音／確認を行うことができます。

「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

- ①内線ボタンを押す
- ②**[決定]**を押す
- ③FAX / 電話切替メッセージ設定の特番 (**[7^{PRG}]** **[4^あ]** **[]**)を押す
- ④切替メッセージ選択／録音／確認の操作を行う



お知らせ

- 新たに切替メッセージを録音すると、前に録音していた切替メッセージは消去されます。
- FAX / 電話切替メッセージの最大録音時間は約3分です。
- 録音中に最大録音時間をオーバーすると、録音は自動的に終了します。



▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (➡P8-1)

システム留守番電話の応答メッセージを 設定するには

システム留守番電話（☎P2-15）の応答メッセージを選択したり、録音したりできます。
応答メッセージの設定は、「システム管理者」に設定されてる内線電話機からのみ行えます。

応答メッセージを録音する

- 1** ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]** を押す。
メインメニューが表示されます。



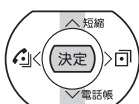
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

- 2** 下ボタンで「2: システム一括設定」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[2]** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 保留

- 3** 上下ボタンで「8: 留守/転送」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[8]** を押します。



1: 転送先リスト登録
2: 留守/転送開始タイマ
3: 外線転送先呼出タイマ
4: 外線転送方式設定

- 4** 上下ボタンで「6: システム留守メッセージ設定」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[6]** を押します。

システム留守メッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認

- 5** 上下ボタンで「1: 録音」を選択し、**[決定]** を押す。
または **[1]** を押します。

システム留守メッセージ録音
1: 昼
2: 夜
3: 休憩

- 6** 上下ボタンで録音したいシステムモードが昼モードのときは「1: 昼」、夜モードのときは「2: 夜」、休憩モードのときは「3: 休憩」、休日モードのときは「4: 休日」を選択し、**[決定]** を押す。

または **[1]** ~ **[4]** を押します。

システム留守メッセージ録音
0: 応答専用
1: 録音用

- 7** 上下ボタンで応答専用を録音するときは「0: 応答専用」、録音用を録音するときは「1: 録音用」を選択し、**[決定]** を押す。

または **[0]** か **[1]** を押します。

システム留守メッセージ録音
オフフックしてダイヤル#で
録音を開始します

- 8** ハンドセットを取りあげる。



- 9** **[#]** を押し、「ピー」音が終了したあとに応答メッセージをお話する。



- 10** 応答メッセージを話し終えたら **[#]** を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

録音終了
オフフックしてください

- 11** ハンドセットを置く。

システム留守メッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認

[クリア] を長く押して、待機画面に戻ります。



ワンポイント

● 応答メッセージを選択するには

- ① 手順1～4を行う
- ② 上下ボタンで「0：選択」を選択し、**決定**を押す
または **0^{PRG}** を押します。
- ③ 上下ボタンで選択したいシステムモードが昼モードのときは「1：昼」、夜モードのときは「2：夜」、休憩モードのときは「3：休憩」、休日モードのときは「4：休日」を選択し、**決定**を押す
または **1^あ** ～ **4^お** を押します。
- ④ 上下ボタンで応答専用を選択するときは「0：応答専用」、録音用を選択するときは「1：録音用」を選択し、**決定**を押す
または **0^{PRG}** か **1^あ** を押します。
- ⑤ 上下ボタンでお買い求め時の応答メッセージにするとときは「0：出荷時設定」、録音した応答メッセージにするときは「1：録音メッセージ」を選択し、**決定**を押す
または **0^{PRG}** か **1^あ** を押します。

● 選択されている応答メッセージを確認するには

- ① 手順1～4を行う
 - ② 上下ボタンで「2：確認」を選択し、**決定**を押す
または **2^{ABC}** を押します。
 - ③ 上下ボタンで確認したいシステムモードが昼モードのときは「1：昼」、夜モードのときは「2：夜」、休憩モードのときは「3：休憩」、休日モードのときは「4：休日」を選択し、**決定**を押す
または **1^あ** ～ **4^お** を押します。
 - ④ 上下ボタンで応答専用を確認するときは「0：応答専用」、録音用を確認するときは「1：録音用」を選択し、**決定**を押す
または **0^{PRG}** か **1^あ** を押します。
- 選択されている応答メッセージが再生されます。

● 録音した応答メッセージを消去するには

応答メッセージを初期化します。(☛P8-3)

● 特番でシステム留守番電話の応答メッセージを設定するには

次の手順で応答メッセージの選択／録音／確認を行うことができます。
「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

- ① 内線ボタンを押す
- ② **決定**を押す
- ③ システム留守メッセージ設定の特番 (**7^お** **1^あ**) [])
を押す
- ④ 応答メッセージ選択／録音／確認の操作を行う



お知らせ

- 新たに応答メッセージを録音すると、前に録音していた応答メッセージは消去されます。
- 応答メッセージの最大録音時間は約3分です。
- 録音中に最大録音時間をオーバーすると、録音は自動的に終了します。



- ▶ 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？ (☛P8-1)
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (☛P8-1)

留守番電話の応答時間を設定するには (留守／転送開始タイマ)

電話がかかってきたときに、留守番電話が応答するまでの時間を設定します。留守／転送開始タイマの設定は「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

- 1** ハンドセットを置いたまま、**メニュー** を押す。
メインメニューが表示されます。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

- 2** 下ボタンで「2: システム一括設定」を選択し、**決定** を押す。
または **2** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 保留

- 3** 上下ボタンで「8: 留守／転送」を選択し、**決定** を押す。
または **8** を押します。

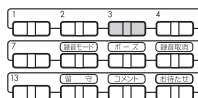


1: 転送先以外登録
2: 留守／転送開始タイマ
3: 外線転送先呼出タイマ
4: 外線転送方式設定

- 4** 上下ボタンで「2: 留守／転送開始タイマ」を選択し、**決定** を押す。
または **2** を押します。

留守／転送開始タイマ
外線転送先呼出タイマを押下してください

- 5** 留守番電話対象の外線ボタンを押す。



留守／転送開始タイマ
タイマ(0-255)秒?
0: 即時転送/即時応答

- 6** 留守／転送開始タイマ (0 ~ 255秒) をダイヤルボタンで押す。

XXXには、設定した時間 (秒) が表示されます。



留守／転送開始タイマ
タイマ(0-255)秒?
0: 即時転送/即時応答

- 7** **決定** を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、留守番電話の応答時間が設定されます。
複数の回線を設定するときは、手順5 ~ 7を繰り返します。



クリア を長く押して、待機画面に戻ります。



ワンポイント

●特番で留守／転送開始タイムを設定するには

次の手順で留守／転送開始タイムを設定することができます。

「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

- ①内線ボタンを押す
- ②**決定**を押す
- ③留守／転送開始タイムの特番（**3**^{DEF} **0**^{ワホン} []）を押す
- ④留守番電話対象の外線ボタンを押す
- ⑤留守／転送開始タイム（0～255秒）をダイヤルボタンで押す
- ⑥**決定**を押す
複数の回線を設定するときは、手順④～⑥を繰り返します。
- ⑦スピーカボタンを押す



お知らせ

- 留守／転送開始タイムに「0」を指定すると、着信音を鳴らさずにすぐに留守応答します。お買い求め時は「5」に設定されています。

留守番電話を応答専用を設定するには

留守番電話をセットしたとき、メッセージを録音しないで応答メッセージだけを流すように設定することができます。

お買い求め時は「録音用」（メッセージを録音する）に設定されています。

- 1 ハンドセットを置いたまま、**メニュー**を押す。

メインメニューが表示されます。



1:電話機毎設定
2:システム一括設定

- 2 (決定) を押す。

または **1**^あ を押します。



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

- 3** 上下ボタンで「4：留守／転送」を選択し、**決定**を押す。

または **4** た GHJ を押します。



- 1:転送先リスト登録
- 2:留守メッセージ設定
- 3:留守番電話応答動作
- 4:圏外時サービス設定

- 4 上下ボタンで「3：留守番電話応答動作」を選択し、**決定**を押す。

または **3**_{DEF} を押します。

留守番電話応答動作
0: 応答専用
1: 録音用

- F** 上下ボタンで「0:応答専用」を選択し、**決定**を押す。

または **0^{わをん}** を押します。

「録音用」（メッセージを録音する）に設定する場合は、
上下ボタンで「1：録音用」を選択して **決定** を押すか、
1 を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、留守番電話応答動作設定が変更されます。

クリア を長く押して、待機画面に戻ります。



ワンポイント

- 特番で留守番電話を応答専用を設定するには

- ① 内線ボタンを押す
- ② **決定** を押す
- ③ 留守番電話応答動作設定の特番 (**7** FOR **6** は MNO [])
を押す
- ④ **0** DEA を押す
- ⑤ スピーカボタンを押す



▶ 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？ (●P8-1)

システム留守番電話を応答専用を設定するには

システム留守番電話をセットしたとき、メッセージを録音しないで応答メッセージだけを流すように設定することができます。

「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

お買い求め時は「録音用」（メッセージ録音する）に設定されています。

1 ハンドセットを置いたまま、**メニュー**を押す。

メインメニューが表示されます。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 下ボタンで「2: システム一括設定」を選択し、**決定**を押す。

または **2** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 保留

3 上下ボタンで「8: 留守/転送」を選択し、**決定**を押す。

または **8** を押します。



1: 転送先以外登録
2: 留守/転送開始タイマ
3: 外線転送先呼出タイマ
4: 外線転送方式設定

4 上下ボタンで「7: システム留守応答動作」を選択し、**決定**を押す。

または **7** を押します。

システム留守応答動作
0: 応答専用
1: 録音用

5 上下ボタンで「0: 応答専用」を選択し、**決定**を押す。

または **0** を押します。

「録音用」（メッセージ録音する）に設定する場合は、上下ボタンで「1: 録音用」を選択して **決定** を押すか、**1** を押します。

「ビッピッ」という確認音が聞こえ、システム留守応答動作設定が変更されます。

クリア を長く押して、待機画面に戻ります。



ワンポイント

● 特番でシステム留守番電話を応答専用を設定するには

お買い求め時は、「録音用」（メッセージ録音する）に設定されています。「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

① 内線ボタンを押す

② **決定** を押す

③ システム留守番電話応答動作設定の特番 (**7** **8**)
[] を押す

④ **0** を押す

⑤ スピーカボタンを押す



▶ 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？ (P8-1)

システム留守番電話を応答専用を設定するには
留守番電話を応答専用を設定するには

7 ユーザ設定を
する

メッセージの再生について設定するには

再生順序と再生対象について

内線電話機の操作でメッセージを聞くときの再生方法を、使いかたに合わせて変更できます。

「メッセージ再生順設定」では、録音順に再生するか、最新のメッセージから順に再生するかのどちらかを選択できます。

「新規メッセージ優先設定」では、新しいメッセージ（未再生）と保存メッセージ（再生済み）の両方があったときに、新しいメッセージの再生を優先させるかどうかを設定できます。

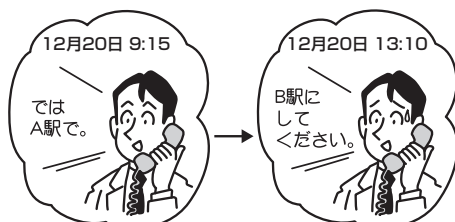
2つの設定によって、メッセージの再生方法は次の4通りのいずれかになります。

パターン1 (お買い求め時の状態)

メッセージ再生順設定 : 「古いメッセージ」

新規メッセージ優先設定 : 「優先する」

未再生、再生済みの両方があるときは**未再生のメッセージを、古→新の順に**



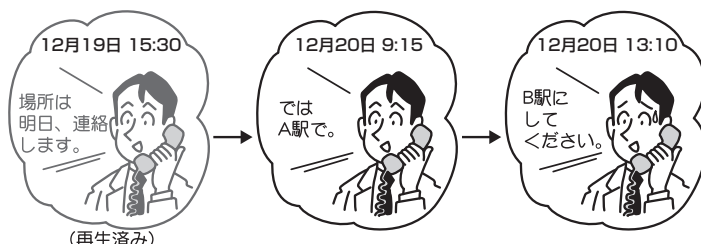
- 新しいメッセージ（未再生）しかないとき
: 未再生のメッセージを、古→新の順に
- 保存メッセージ（再生済み）しかないとき
: 再生済みのメッセージを、古→新の順に

パターン2

メッセージ再生順設定 : 「古いメッセージ」

新規メッセージ優先設定 : 「優先しない」

未再生、再生済みの両方があるときは**すべてのメッセージを、古→新の順に**



- 新しいメッセージ（未再生）しかないとき
: 未再生のメッセージを、古→新の順に
- 保存メッセージ（再生済み）しかないとき
: 再生済みのメッセージを、古→新の順に

パターン3

メッセージ再生順設定 : 「新しいメッセージ」
新規メッセージ優先設定 : 「優先する」

未再生、再生済みの両方があるときは**未再生のメッセージを、新→古の順に**

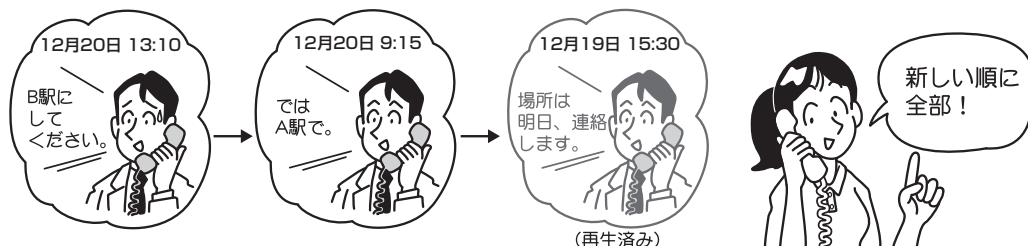


- 新しいメッセージ（未再生）しかないとき
: 未再生のメッセージを、新→古の順に
- 保存メッセージ（再生済み）しかないとき
: 再生済みのメッセージを、新→古の順に

パターン4

メッセージ再生順設定 : 「新しいメッセージ」
新規メッセージ優先設定 : 「優先しない」

未再生、再生済みの両方があるときは**すべてのメッセージを、新→古の順に**



- 新しいメッセージ（未再生）しかないとき
: 未再生のメッセージを、新→古の順に
- 保存メッセージ（再生済み）しかないとき
: 再生済みのメッセージを、新→古の順に



ワンポイント

- 新規メッセージ優先時に保存メッセージを聞くには
新規メッセージ優先設定を「優先する」に設定している場合も、新しいメッセージの再生が終了したあと [1] を押すことにより、保存メッセージを再生することができます。
新しいメッセージの再生が終了すると、下記のガイダンスが聞こえます。
「メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。」
- メッセージ再生中にできる操作は
どのパターンで再生する場合でも、再生中のボタン操作により、1つ前や次のメッセージを再生したり、巻き戻し、早送りなどの操作をすることができます。(P3-2)

メッセージの再生順序を設定する

最新のメッセージから順に（新→古の順）再生するよう
に設定することができます。

お買い求め時は、「古いメッセージ順」（古→新の順）
に設定されています。

- 1** ハンドセットを置いたまま、**メニュー** を押す。
メインメニューが表示されます。



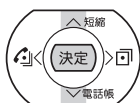
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

- 2** **決定** を押す。
または **1** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

- 3** 上下ボタンで「4: 留守/転送」を選択し、**決定** を押す。
または **4** を押します。



1: 転送先リスト登録
2: 留守メッセージ設定
3: 留守番電話応答動作
4: 圏外時サービス設定

- 4** 上下ボタンで「5: メッセージ再生順設定」を選択し、**決定** を押す。
または **5** を押します。

メッセージ再生順設定
0: 古いメッセージ順
1: 新しいメッセージ順

- 5** 上下ボタンで「1: 新しいメッセージ順」を選択し、**決定** を押す。
または **1** を押します。

「古いメッセージ順」（古→新の順）に設定する場合は、上下ボタンで「0: 古いメッセージ順」を選択して
決定 を押すか、**0** を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、メッセージ再生順
設定が変更されます。

クリア を長く押して、待機画面に戻ります。

新しいメッセージを優先するかどうかを設定する

新しいメッセージと保存メッセージの両方がある場合に、新しいメッセージのみ先に再生する／保存メッセージも再生するのどちらかに設定できます。

お買い求め時は、「優先する」（新しいメッセージのみ先に再生）に設定されています。

- 1** ハンドセットを置いたまま、**メニュー** を押す。
メインメニューが表示されます。



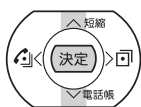
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

- 2** **決定** を押す。
または **1** を押します。



1: 電話帳
2: 外線発信
3: 外線着信
4: 留守/転送

- 3** 上下ボタンで「4: 留守/転送」を選択し、**決定** を押す。
または **4** を押します。



1: 転送先以外登録
2: 留守メッセージ設定
3: 留守番電話応答動作
4: 圏外時サビ入設定

- 4** 上下ボタンで「6: 新規メッセージ優先設定」を選択し、**決定** を押す。
または **6** を押します。

新規メッセージ優先設定
0: 優先しない
1: 優先する

- 5** 上下ボタンで「0: 優先しない」を選択し、**決定** を押す。

または **0** を押します。

「優先する」（新しいメッセージのみ先に再生）に設定する場合は、上下ボタンで「1: 優先する」を選択して **決定** を押すか、**1** を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、新規メッセージ優先設定が変更されます。

クリア を長く押して、待機画面に戻ります。

「こんなことがしたい」などといった場合にお役にたつ便利な操作や、操作中の注意点などをテーマ別に質問形式でまとめています。

Q 最大録音時間は？

A 最大録音時間は「システム設定」で1分～180分に設定できます。
お買い求め時は「18分」に設定されています。

Q 最大録音件数は？

A 最大録音件数は「システム設定」で1～255件または無制限に設定できます。
お買い求め時は「30件」に設定されています。

Q 録音メモリがいっぱいのときは？

A 録音メモリがいっぱいのときは、録音できなくなります。
留守番電話およびシステム留守番電話は応答専用になり、応答専用のメッセージに切り替わります。

Q 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？

A

- 留守番電話の場合は、録音・再生回路が空くまで、留守応答しません。
- 内線電話機から録音（伝言を残す）や再生を行う場合は、音声メールへ電話をかけたときに「ブー…」という話中音が聞こえます。
- 通話録音の場合は、エラー音が鳴り、録音できません。
- 応答メッセージ録音やFAX／電話切替メッセージ録音の場合は、録音できません。
- 手動お待たせ／自動お待たせとも動作せず、着信音が変わりません。

Q 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？

A 留守番電話の応答メッセージの設定は、留守番電話またはシステム留守番電話の応答動作設定とメッセージ選択をすることにより有効となります。利用しているのが留守番電話かシステム留守番電話かをご確認のうえ、下記の設定を確認してください。

<留守番電話の場合>

「留守番電話の応答メッセージを設定するには」（●P7-3）と、「留守番電話を応答専用を設定するには」（●P7-13）の使用するメッセージの選択が一致しているかを確認してください。

<システム留守番電話の場合>

「システム留守番電話の応答メッセージを設定するには」（●P7-9）と、「システム留守番電話を応答専用を設定するには」（●P7-14）の使用するメッセージの選択が一致しているかを確認してください。

例）留守番電話を「応答専用」として、自分で録音したメッセージが流れるようにします。

- ①留守番電話を「応答専用」に設定する
「留守番電話を応答専用を設定するには」（●P7-13）で「0：応答専用」を選択します。
- ②応答専用のメッセージを自分で録音する
「応答メッセージを録音する」（●P7-3）で「1：録音」→「0：応答専用」→メッセージを録音します。
- ③自分で録音した応答専用のメッセージを選択する
「応答メッセージを選択するには」（●P7-4）で「0：選択」→「0：応答専用」→「1：録音メッセージ」を選択します。

Q 通話録音中に使用できない機能、操作は？**A**

- 会議通話はできません。内線通話の場合は、相手の方が通話録音しているときも会議通話はできません。
- 通話モニタはできません。
- メニュー**を押す操作は無効となります。
- ダイヤルボタンを押す操作は、「録音内容を他のボックスに送信するには」(P4-2、P4-4)の操作になり、PB信号やキーパッドは送出されません。

Q 「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは？**A**

1つのボックスは、同時に複数の電話機から再生することができません（着信通知による再生を含む）。すでに再生中のボックスを再生しようとしたときは、下記のガイダンスが流れますので、少し待ってからやり直してください。

「< ボックス番号XXはただいま使用中です。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」

Q 高音質での用件（メッセージ）録音や通話録音はできますか？**A**

できません。通常音質での用件（メッセージ）録音や通話録音となります。

高音質通話については、ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeMの取扱説明書を参照してください。

お買い求め時の設定に戻すには

登録・設定した内容や、録音された内容を消去して、お買い求め時の設定に戻すことができます。
「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。



12月19日(金) 午後 3:05
内線

7 スピーカボタンを押す。



12月19日(金) 午後 3:05
10

2 (決定) を押す。

「ツツツ…」という音を確認してください。



3 音声メール機能初期化の特番 (0 [4] []) を押す。



VMUメール初期化
0: 応答メッセージ初期化
1: メモリ全初期化

4 上下ボタンで応答メッセージを初期化するときは「0: 応答メッセージ初期化」、メモリを全初期化するときは「1: メモリ全初期化」を選択し、(決定) を押す。

または 0 [4] か 1 [4] を押します。

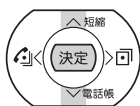
<「0: 応答メッセージ初期化」を選択した場合>

応答メッセージが消去され、応答メッセージがお買い求め時の設定に戻ります。

お買い求め時の設定に戻る応答メッセージは (●右記)

<「1: メモリ全初期化」を選択した場合>

応答メッセージを含むすべての録音内容 (留守番電話、通話録音などの各ボックスの録音内容) が消去され、お買い求め時の設定に戻ります。



VMUメール初期化
消去しない
消去する

5 上下ボタンで「消去する」を選択し、(決定) を押す。

VMUメール初期化
決定*で消去します

6 (決定) を押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、消去されます。



ワンポイント

●お買い求め時の設定に戻る応答メッセージは

手順4で応答メッセージを初期化する選択をしたときは、下記の応答メッセージが消去され、お買い求め時の設定の応答メッセージになります。

- ・留守番電話の応答メッセージ
- ・システム留守番電話の応答メッセージ
- ・FAX / 電話切替メッセージ
- ・お待たせメッセージ



お知らせ

- 本操作を行っても、「システム設定」および「Web設定」は、お買い求め時の設定には戻りません。
- 他の電話機で録音・再生中など、音声メールの機能を使用している場合は、本操作を行うことができません。

また、それまでに録音終了していた内容などは音声メールのメモリ保持電池によって保持されます。

主装置がバックアップ電池による動作中	すべての内線電話機でそのまま録音・再生できますが、できるだけ早く録音・再生を終了させてください。
主装置がバックアップ電池による動作ができなくなったとき	音声メールの機能は使用できません。



- 停電になったときは
お買い求め時の設定に戻すには

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
音声メールに電話がつかない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	—
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	—
	停電中	停電が復旧するまで使えません	☛P8-4
	電話回線が混み合っている	しばらく待ってからかけ直してください	—
	音声メールの録音・再生回路に空きがない	しばらく待ってから操作してください	—
留守番電話が録音できない／システム留守番電話が録音できない／メッセージを録音できない	「システム設定」で設定したボックスあたりの最大メッセージ数を超えている	不要なメッセージを消去してください	☛P3-5、P6-3、P11-18
	音声メール内のメッセージがいっぱいになっている	不要なメッセージを消去してください	☛P3-5、P6-3、P11-18
		「システム設定」で、自動消去の保存日数を短く設定してください	☛P3-5
通話録音ができない	「システム設定」で設定したボックスあたりの最大メッセージ数を超えている	不要なメッセージを消去してください	☛P3-5、P6-3、P11-18
	音声メール内のメッセージがいっぱいになっている	不要なメッセージを消去してください	☛P3-5、P6-3、P11-18
		「システム設定」で、自動消去の保存日数を短く設定してください	☛P3-5
	音声メールの録音・再生回路に空きがない	しばらく待ってから操作してください	—
	会議回路などに空きがない		
通話録音中に「プププププ」という音が聞こえる	「システム設定」で設定された最大録音時間を超えた	「システム設定」で最大録音時間を長く設定してください	—
録音されたメッセージを再生できない	「システム設定」で設定された自動消去の保存日数を過ぎている	メッセージは消去されています（故障ではありません） 自動的に消去されないようにするには、メッセージを保護してください	☛P3-2、P3-5
	録音終了前に停電になった	録音中に主装置のバックアップ電池による動作ができなくなった場合でも、それまでのメッセージは保持されます 復旧してから、再度録音してください	—
	他の人が同じボックスのメッセージを再生中	しばらく待ってから操作してください	—
	再生しようとしているボックスが着信通知中	しばらく待ってから操作してください	—
留守番電話をセットしても留守番電話が応答しない／システム留守番電話が応答しない	留守番電話の対象となる回線を設定していない	留守番電話の対象となる回線を設定してください	☛P2-4
	音声メールの録音・再生回路に空きがない	故障ではありません 音声メールの録音・再生回路や会議回路などに空きができれば、留守番電話／システム留守番電話が応答します	—
	会議回路などに空きがない		

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
お待たせメッセージで応答しない (着信音が変わらない)	お待たせボタンを押したあと、6秒以上たってからランプが点滅している外線ボタンを押している	お待たせボタンを押したあと、6秒以内にランプが点滅している外線ボタンを押してください	➡P5-4
	音声メールの録音・再生回路に空きがない	しばらく待ってから操作してください	—
外出先から音声メールを操作できない	ダイヤル回線の電話機を使っている	ブッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください ダイヤル回線に接続されている電話機でもブッシュ信号を送る機能があれば音声メールを利用することができます	—
ブッシュホンサービスが使えない	通話録音中にダイヤルボタンの操作を行った	ダイヤルボタンを押してPB信号を送るブッシュホンサービスは、通話録音中には利用できません 録音終了後に操作を行ってください	➡P8-2
ボックスにアクセスできない	暗証番号をダイヤルしていない	暗証番号を確認してダイヤルしてください (暗証番号を忘れるとアクセスできません。別にメモをとるなどして忘れないようにしてください)	—
「ブツブツ」と小さな音がする	お待たせメッセージをご利用時、着信音を鳴動しない設定にしている場合に「ブツブツ」と小さな音がすることがある	故障ではありませんが、気になる場合は音量を小さくするか、着信音が鳴るように設定してください	—

このページはコピーしてご利用ください。

[illegible]

■ 同報グループ設定表

同報グループの設定内容を記入して活用してください。同報メールを送信するときに使用します。
このページはコピーしてご利用ください。

No	グループ番号	所属グループ名	備 考
1			
2			
3			
4			
5			
6			

音声メール操作サービスボタンの設定を変更するには

設定済みの音声メール操作サービスボタンの設定を変更することができます。

■ サービスボタンの設定を変更する

- ① ハンドセットを置いたまま、**メニュー**を押す
- ② **決定**を押す
または **1**を押します。
- ③ 上下ボタンで「5：ワンタッチ」を選択し、**決定**を押す
または **5**を押します。
- ④ 上下ボタンで「2：ワンタッチ機能ボタン登録」を選択し、**決定**を押す
または **2**を押します。
- ⑤ 設定を変更するサービスボタンを押す
- ⑥ 上下ボタンを押して設定する機能を選択し、**決定**を押す
続けて登録するときは、手順⑤、⑥を繰り返します。
- ⑦ **クリア**を長く押す

選択できる機能	本書でのサービスボタンの表記
留守番電話ボタン	留守
お待たせボタン	お待たせ
VM通話録音モード切替	録音モード
VM手動録音	録音
VM終了	終了
VMポーズ	ポーズ
VMコメント	コメント
VM録音取消	録音取消
VM呼出取消	呼出取消

PC操作編

Web機能を利用するには

Web操作

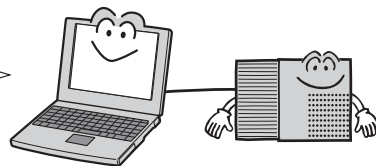
音声メール（主装置に接続されているユニット）にLAN接続したパソコンでWebブラウザを起動し、パソコンの画面を見ながら音声メールを管理できます。

Web操作を行うには、一般ユーザまたはシステム管理者でログインします。

○一般ユーザの利用メニュー



○システム管理者の利用メニュー



ログ表示（システム管理者のみ）

システムのログを表示・クリアすることができます。

録音メッセージダウンロード、消去

メールボックスに保存されている音声メールをパソコンにダウンロードしたり、消去することができます。

ファームウェア更新（システム管理者のみ）

音声メールユニットのファームウェアを最新版に更新することができます。

Web設定データバックアップ（システム管理者のみ）

Web設定データを音声メールユニットからパソコンにダウンロードしたり、パソコンから音声メールユニットにアップロードすることができます。

音声メールアップロード（システム管理者のみ）

メールボックスに保存されている音声メールを自動的に社内LAN上のサーバやクラウド上のサーバにアップロードすることができます。

パソコン接続

パソコンと主装置に接続されている音声メールユニットを接続するには、パソコンとLANケーブルが必要です。

音声メールユニットのLANポートに接続しているHUBとパソコンのLANポートを、LANケーブルで接続してください。

お客様にご用意いただくもの

●パソコン

10BASE-Tまたは100BASE-T / 100BASE-TXに対応したLANポートを備えていることをご確認ください。



●LANケーブル

市販のLAN ケーブルをご用意ください。



動作環境について

主装置に接続された音声メールユニットにLAN接続したパソコンでWebブラウザを起動し、パソコンの画面で音声メールのアップロード／ダウンロードや、音声メールユニットが保持しているWeb設定データの管理が行えます。

Web操作を行うには、次の動作環境が必要です。

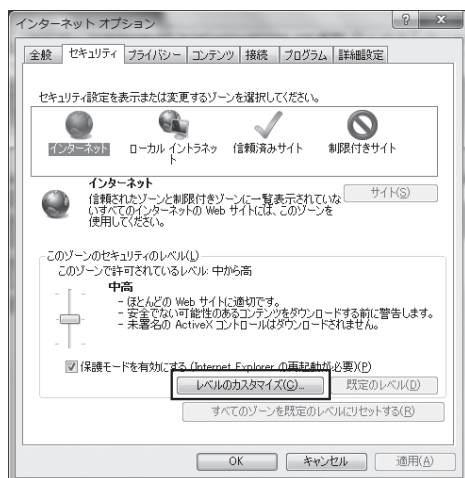
項目	条件	
同時接続台数	1台	
OS・推奨ブラウザ	Windows XP Home Edition、Professional (SP3)	Internet Explorer7、8
	Windows Vista Business、Home Premium、Home Basic、Ultimate、Enterprise (SP2) ※	Internet Explorer7、8、9
	Windows 7 Home Premium、Professional、Starter、Enterprise、Ultimate (SP1) ※	Internet Explorer7、8、9
解像度	SVGA (800×600ドット) 以上 XGA (1024×768ドット) 以上推奨	
文字サイズ	「中」以下	
文字コード	Shift-JIS	

※64bit版は動作保証外

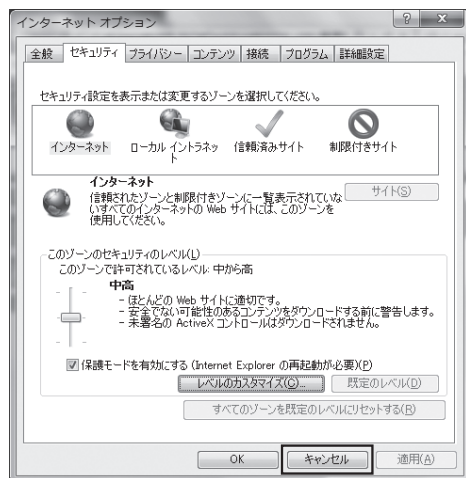
Webブラウザの設定

本商品の設定は、パソコンのWebブラウザで行います。
お使いのWebブラウザでJavaScriptが利用可能になっていることを確認してください。
以下は、Internet Explorer9.0で確認する方法を説明しています。

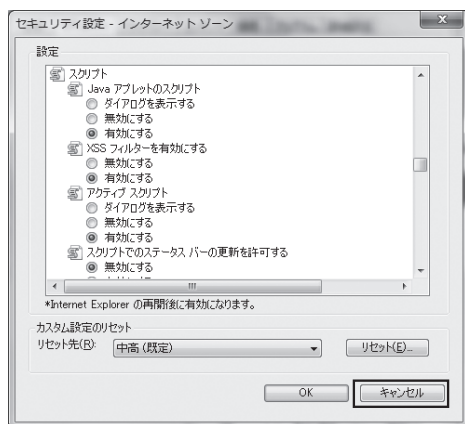
- 1 Internet Explorerを起動する。
- 2 「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックする。
- 3 「セキュリティ」タブをクリックし、「レベルのカスタマイズ」をクリックする。



- 5 「インターネットオプション」画面の「キャンセル」をクリックする。



- 4 「スクリプト」の項目で、「アクティブスクリプト」の設定が「有効にする」になっていることを確認し、「キャンセル」をクリックする。





ワンポイント

●ポップアップをタブで表示する設定にしている場合は

Internet Explorer9.0をご利用の場合、ポップアップを新しいタブで表示する設定に変更していると、操作しにくい場合があります。次のように操作して、設定を変更してください。

- ①手順1～2の操作をする
- ②「全般」タブの「タブ」にある「設定」をクリックする
- ③「ポップアップの発生時」で「常に新しいウィンドウでポップアップを開く」を選択し、「OK」をクリックする
- ④「インターネットオプション」画面の「OK」をクリックする

●音声メールのアップロード（☛P11-11、P11-19）を行う場合は

手順4で次の設定も確認してください。

- ・「その他」の項目で、「サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める」の設定が「有効にする」になっていること



お知らせ

- アクティブスクリプトの設定が「有効にする」になっていないと、ログイン（☛P10-1）しようとしたときにエラーメッセージが表示されて、ログインできません。
- 「サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める」の設定が「無効にする」になっていると、ファイルをアップロードできません。
- Web設定画面での操作は、画面内に配置されているボタン等で行ってください。
Webブラウザのボタンやキーボードでのショートカットを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- 本商品の設定終了後、必要に応じてWebブラウザの設定を変更前の設定に戻してください。

ログインするには

パソコンでWebブラウザを起動し、ログインID（ボックス番号）と暗証番号を入力してログインします。

「システム管理者」に設定されているボックス番号と暗証番号を入力すると、全ボックスについてのWeb機能を利用することができます。

1 パソコンでWebブラウザを起動する。

- 2 [アドレス] ボックスに音声メールユニットのIPアドレスを入力し []、[Enter] キーを押す。
音声メールユニットのIPアドレスは「192.168.1.30」（初期値）です。
ログイン画面が表示されます。

ログインID:

暗証番号:

Copyright(C) 東日本電信電話株式会社 西日本電信電話株式会社
2012 All rights reserved.

3 ログインID（ボックス番号）を入力する。

- 一般ユーザのログインID（ボックス番号）を入力してログインした場合
BOX毎の設定項目のみが表示されます。
- システム管理者用のログインID（ボックス番号）を入力してログインした場合
BOX毎、システム共通、システムログ、ファームウェア更新、保守の設定項目が表示されます。

4 暗証番号を入力する。

お買い求め時の暗証番号は、「0000」です。

なお、フリーボックスのボックス番号をログインIDに入力したときは、暗証番号は必要ありません。

5 [ログイン] ボタンをクリックする。

画面の上側に設定項目のタブ（Web機能タブメニュー）が表示されます。

<システム管理者>



Web機能タブメニュー

<一般ユーザ>



Web機能タブメニュー

一般ユーザのログインIDでログインした場合は「BOX 毎」タブのみが表示される

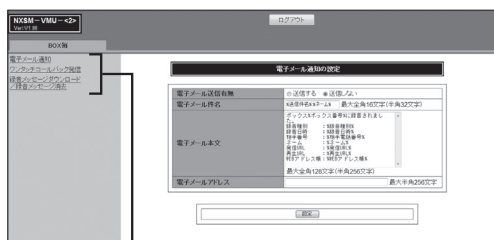
- 6** Web機能タブメニューから設定項目のタブをクリックする。
クリックしたタブの設定メニューが表示されます。

<システム管理者>



設定メニュー

<一般ユーザ>



設定メニュー

- 7** 設定メニューから、目的の項目をクリックする。
クリックした項目の設定画面が表示されます。

- 8** 設定を行う。
設定操作については、各項目のページ（「11章 Web機能で管理する」（P11-1））を参照してください。



ワンポイント

- 暗証番号を変更するには
「暗証番号を設定するには」（P1-9、P1-10）
- 接続タイムアウトとは
ログイン後、接続タイムアウト時間（10分間）の間操作がない場合は、自動的にログアウトとなります。なお、ログアウトせずにWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで、他パソコンからのログインはできません。
- データの編集が終了したら
[設定] ボタンをクリックします。この操作を行うことにより、設定内容が音声メールユニットに保存されます。この操作の前に次の操作を行った場合は、編集操作が反映されません。
 - ・ログアウト
 - ・他のページへ移動
 - ・Webブラウザを終了
- 設定操作開始時の状態に戻すには
[設定] ボタンをクリックせず、「ログアウト」ボタンをクリックします。この操作を行うと、編集前の設定状態に戻ります。

●Web設定を終了するには（ログアウト）

Web設定を終了するときは、「ログアウト」ボタンをクリックします。「ログアウト」ボタンをクリックしないでWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間（10分間）が経過するまで、他パソコンからのログインはできません。



お知らせ

- Web設定画面での操作は、画面内に配置されているボタン等で行ってください。
Webブラウザのボタンやキーボードでのショートカットを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 手順2の [] は、音声メールユニットのIPアドレスを「システム設定」で変更した場合のIPアドレスを記入してください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。

Web設定一覧

タブ	メニュー項目	一般ユーザ	システム管理者	参照ページ
BOX毎	電子メール通知	○※ ¹	○※ ²	☛P11-3
	ワンタッチコールバック発信	○※ ¹	○※ ²	☛P11-5
	録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去	○※ ¹	○※ ²	☛P11-17、P11-18
システム共通	電子メール通知	×	○	☛P11-6
	ワンタッチコールバック	×	○	☛P11-9
	音声メールアップロード	×	○	☛P11-11
システムログ	システムログ表示	×	○	☛P11-26
ファームウェア更新	手動ファームウェア更新	×	○	☛P11-27
	ローカルファームウェア更新	×	○	☛P11-29
	再起動	×	○	☛P11-28
保守	初期化	×	○	☛P11-21
	Web設定データアップロード (PC→VMU)	×	○	☛P11-22
	Web設定データダウンロード (VMU→PC)	×	○	☛P11-24
	録音可能時間通知	×	○	☛P11-13

※¹ ログインIDとして入力したボックス番号のボックスのみ設定できます。※² 全てのボックスについて設定できます。

BOX毎データ項目を登録・設定する

BOX毎設定メニューの操作は、一般ユーザログインIDまたはシステム管理者用ログインIDでログイン（➡P10-1）したパソコンから行えます。

■BOX毎の設定画面を表示する

<システム管理者>

- 1 Web機能タブメニューから【BOX毎】タブをクリックする。
BOX番号選択画面が表示されます。

Web機能タブメニュー

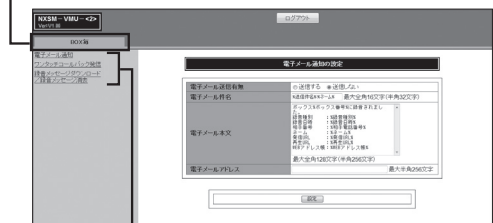


BOX番号選択画面

<一般ユーザ>

- 1 ログインIDとして入力したボックス番号が対象となり、【BOX毎】タブのクリックとBOX選択は省略されます。手順3に進んでください。

Web機能タブメニュー



BOX毎設定メニュー

- 2 BOXを選択する。
BOX毎設定メニューが表示されます。

<システム管理者>



BOX毎設定メニュー

- 3 BOX毎設定メニューから目的のメニュー項目を選択する。

メニュー項目	機能	参照
電子メール通知	電子メール送信有無、電子メール件名、電子メール本文、電子メールアドレスを設定します。	➡P11-3
ワンタッチコールバック発信	電子メール通知で通知するワンタッチコールバック発信／再生の発信先電話番号を設定します。	➡P11-5
録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去	ボックスに保存されている音声メッセージをパソコンにダウンロードしたり、消去したりします。	➡P11-17、P11-18

■ 電子メール通知を設定する (BOX毎)

BOX毎設定メニューから「電子メール通知」をクリックすると、電子メール通知の設定 (BOX毎) 画面が表示されます。ここでは、システム管理者用ログインIDでログインした場合を例として説明しています。

<システム管理者>

BOX毎設定メニュー

電子メール通知の設定 (BOX毎)
画面

1 「電子メール送信有無」を選択する。

E-mail連動機能として電子メール送信を行うかどうかを設定します。

- 初期値：送信しない

2 「電子メール件名」を入力する。

通知する電子メールの件名を設定します。

- 入力文字数は最大全角16文字 (半角32文字) です。
- 入力文字にはエスケープコードが入力可能です。「エスケープコード一覧」(●P11-4)を参照してください。
- 初期値：%送信件名%:%ネーム%

3 「電子メール本文」を入力する。

通知する電子メール本文のスタイルを設定します。

- 入力文字数は最大全角128文字 (半角256文字) です。
- 入力文字にはエスケープコードが入力可能です。「エスケープコード一覧」(●P11-4)を参照してください。
- 初期値：

ボックス%ボックス番号%に録音されました。

録音種別	：%録音種別%
録音日時	：%録音日時%
相手番号	：%相手電話番号%
ネーム	：%ネーム%
発信URL	：%発信URL%
再生URL	：%再生URL%
WEBアドレス帳	：%WEBアドレス帳%

4 「電子メールアドレス」を入力する。

電子メール通知に使用する送信先のメールアドレスを設定します。

- 入力文字数は最大半角256文字です。
- 入力文字は半角英数字（大文字・小文字）、半角記号（! # \$ % & ' * + - / = ? ^ _ ` { | } ~ @）です。ただし、「.」は、先頭と末尾以外で使用できますが、2個以上の連続使用はできません。「@」は、ドメインの区切りとして、1個のみ使用できます。

5 「設定」ボタンをクリックする。

「データが設定されました。」と表示されます。

6 「戻る」ボタンをクリックする。

電子メール通知の設定（BOX毎）画面に戻ります。



ワンポイント

● エスケープコード一覧

- %は半角文字
- エスケープコードは、半角2文字としてカウント

入力エスケープコード	表示内容
%送信件名%	送信件名（➡P11-7）を表示します。
%ボックス番号%	録音されたボックス番号に置き換える。
%相手電話番号%	相手電話番号または非通知理由を表示します。 例 03123456789 非通知
%ネーム%	相手名称（電話帳名称、ネームディスプレイ等）を表示します。 • 相手名称なしの場合は、空欄にします。 • 電話番号が内線の場合は、「内線XX」（XXは内線番号）と表示します。 例 ○○商事様 内線11
%録音日時%	タイムスタンプ（年、月、日、時、分）を表示します。
%録音種別%	メッセージの録音種別を表示します。「通話録音」、「留守録その他」、「転送」等
%発信URL%	発信URLに置き換えられます。
%再生URL%	再生URLに置き換えられます。
%WEBアドレス帳%	WEBアドレス帳のURL（➡P11-8）を表示します。
%%	%文字自身を表示します。

● データの編集が終了したら

「設定」ボタンをクリックします。この操作を行うことにより、設定内容が音声メールユニットに保存されます。この操作の前に次の操作を行った場合は、編集操作が反映されません。

- ログアウト
- 他のページへ移動
- Webブラウザを終了

● 設定操作開始時の状態に戻すには

「設定」ボタンをクリックせず、「ログアウト」ボタンをクリックします。この操作を行うと、編集前の設定状態に戻ります。

● Web設定を終了するには（ログアウト）

Web設定を終了するときは、「ログアウト」ボタンをクリックします。「ログアウト」ボタンをクリックしないでWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間（10分間）が経過するまで、他パソコンからのログインはできません。

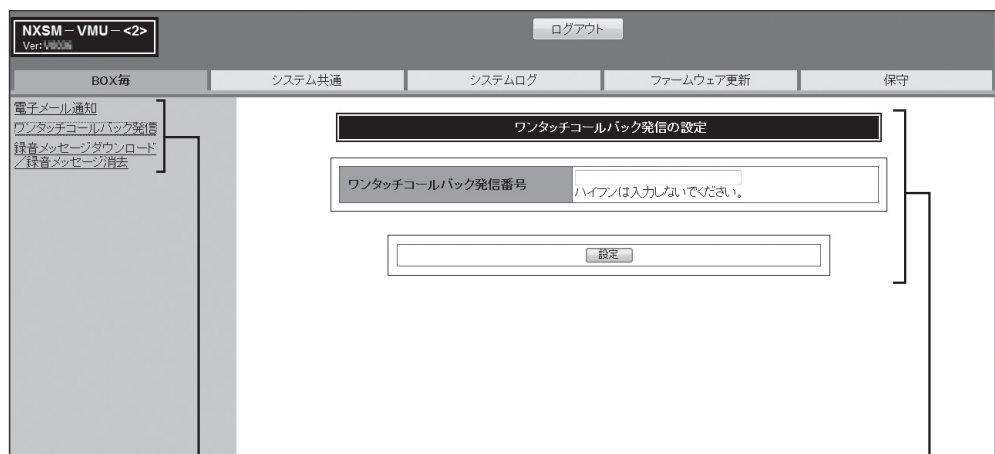
● 接続タイムアウトとは（➡P10-2）

■ ワンタッチコールバック発信を設定する

BOX毎設定メニューから「ワンタッチコールバック発信」をクリックすると、ワンタッチコールバック発信の設定画面が表示されます。

ここでは、システム管理者用ログインIDでログインした場合を例として説明しています。

<システム管理者>



BOX毎設定メニュー

ワンタッチコールバック
発信の設定画面

1 「ワンタッチコールバック発信番号」を入力する。

ワンタッチコールバックの発信電話番号を設定します。

- 最大入力桁は32桁です。
- 入力文字は半角数字です。
- - (ハイフン) は省略。
- 内線番号は登録できません。

2 「設定」ボタンをクリックする。

「データが設定されました。」と表示されます。

3 「戻る」ボタンをクリックする。

ワンタッチコールバック発信の設定画面に戻ります。



ワンポイント

●データの編集が終了したら

「設定」ボタンをクリックします。この操作を行うことにより、設定内容が音声メールユニットに保存されます。この操作の前に次の操作を行った場合は、編集操作が反映されません。

- ログアウト
- 他のページへ移動
- Webブラウザを終了

●設定操作開始時の状態に戻すには

「設定」ボタンをクリックせず、「ログアウト」ボタンをクリックします。この操作を行うと、編集前の設定状態に戻ります。

●Web設定を終了するには (ログアウト)

Web設定を終了するときは、「ログアウト」ボタンをクリックします。「ログアウト」ボタンをクリックしないでWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間(10分間)が経過するまで、他パソコンからのログインはできません。

●接続タイムアウトとは (P10-2)

システム共通データ項目を登録・設定する

システム共通メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン (P10-1) したパソコンからのみ行えます。

メニュー項目	機能	参照ページ
電子メール通知	ユーザID (VMメールアドレス)、敬称、送信件名、サーバ設定、WEBアドレス帳URLなどを設定します。	P下記
ワンタッチコールバック	電子メール通知で通知するワンタッチコールバック発信／再生のURLとポート番号を設定します。	P11-9
音声メールアップロード	音声メールをFTPサーバ (LAN上またはクラウド上) にアップロードするための設定をします。	P11-11



ワンポイント

● レベル設定

再生レベル、録音レベル、PB信号検出閾値について設定変更できます。設定の変更については、工事者にご相談ください。

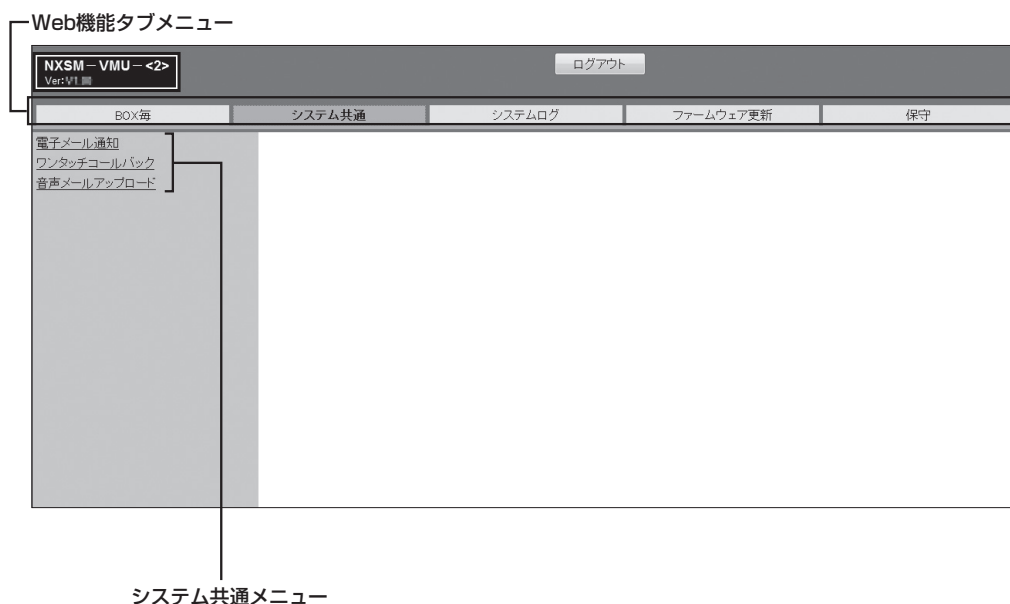
■ 電子メール通知を設定する (システム共通)

システム共通メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン (P10-1) したパソコンからのみ行えます。

1 Web機能タブメニューから【システム共通】タブをクリックする。

システム共通メニューが表示されます。

<システム管理者>



(次ページへつづく)

- 2 システム共通メニューの「電子メール通知」をクリックする。
電子メール通知の設定（システム共通）画面が表示されます。

The screenshot shows the 'NXSM-VMU' web interface. The top navigation bar includes 'ログアウト' and tabs for 'BOX毎', 'システム共通', 'システムログ', 'ファームウェア更新', and '保守'. The left sidebar, titled 'システム共通メニュー', lists '電子メール通知', 'ワンタッチコールバック', and '音声メールアップロード'. The main content area, titled '電子メール通知の設定', contains a form with the following fields:

ユーザID(VMメールアドレス)		最大半角256文字
敬称	様	最大全角8文字(半角16文字)
送信件名	VM通知	最大全角16文字(半角32文字)
SMTPサーバ名		最大半角256文字
SMTPポート番号	25	1~65535
サーバ認証方式	認証なし	
ユーザID		最大半角40文字
パスワード		最大半角40文字
POP3サーバ名		最大半角256文字
POP3ポート番号	110	1~65535
POP認証待ち時間	300	0~10000ms
WEBアドレス帳URL	https://XXX.XXX.XXX.XXX/tebook/m.html	最大半角256文字

A '設定' button is located at the bottom of the form.

システム共通メニュー

電子メール通知の設定
(システム共通) 画面

- 3 「ユーザID (VMメールアドレス)」を入力する。

電子メールの「from:」に使用する送信元（音声メールユニット）のメールアドレスを設定します。

- 入力文字数は最大半角256文字です。
- 入力文字は半角英数字（大文字、小文字）、半角記号（! # \$ % & ' * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { | } ~）です。
- 初期値：（空白）

- 4 「敬称」を入力する。

ネームに付与する敬称を設定します。

- 入力文字数は最大全角8文字（半角16文字）です。
- 入力文字は全角文字、半角英数字（大文字、小文字）、半角記号（! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { | } ~）、半角スペースです。
- 初期値：様

- 5 「送信件名」を入力する。

電子メールの件名に設定する送信件名を設定します。

- 入力文字数は最大全角16文字（半角32文字）です。
- 入力文字は全角文字、半角英数字（大文字、小文字）、半角記号（! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { | } ~）、半角スペースです。
- 初期値：VM通知

- 6 「SMTPサーバ名」を入力する。

電子メール送信に使用するSMTPサーバのドメインまたはIPアドレスを設定します。

- 入力文字数は最大半角256文字です。
- 入力文字は半角英数字（大文字、小文字）、「-」、「.」です。ただし、「-」、「.」は、先頭と末尾以外で使用できます。「.」は2個以上の連続使用はできません。
- 初期値：（空白）

- 7 「SMTPポート番号」を入力する。

電子メール送信に使用するSMTPポート番号を設定します。

- 入力文字は半角数字です。
- 入力範囲は1 ~ 65535です。
- 初期値：25

- 8 「サーバ認証方式」を選択する。

SMTPサーバの認証方式を設定します。

認証方式を「SMTP認証」に設定した場合は、「SMTPポート番号」は各プロバイダの指定に従います。

- 認証方式は、「認証なし」、「POP before SMTP（標準）」、「POP before SMTP（APOP）」、「SMTP認証」です。
- 初期値：認証なし

9 「ユーザID」を入力する

POP、SMTPの認証用ユーザIDを設定します。

- 入力文字数は最大半角40文字です。
- 入力文字は半角英数字(大文字、小文字)、半角記号(! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~)、半角スペースです。
- 初期値：(空白)

10 「パスワード」を入力する。

POP、SMTPの認証用パスワードを設定します。

- 入力文字数は最大半角40文字です。
- 入力文字は半角英数字(大文字、小文字)、半角記号(! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~)、半角スペースです。
- 初期値：(空白)

11 「POP3サーバ名」を入力する。

電子メール受信に使用するPOPサーバのドメインまたはIPアドレスを設定します。

サーバ認証方式で「POP before SMTP (標準)」または「POP before SMTP (APOP)」を選択したときに有効になります。

- 入力文字数は最大半角256文字です。
- 入力文字は半角英数字(大文字、小文字)、「-」、「.」です。ただし、「-」、「.」は、先頭と末尾以外で使用できます。「.」は2個以上の連続使用はできません。
- 初期値：(空白)

12 「POP3ポート番号」を入力する。

電子メール受信に使用するPOPサーバポート番号を設定します。

サーバ認証方式で「POP before SMTP (標準)」または「POP before SMTP (APOP)」を選択したときに有効になります。

- 入力文字は半角数字です。
- 入力範囲は1 ~ 65535です。
- 初期値：110

13 「POP認証待ち時間」を入力する。

POP before SMTP認証待ち時間を設定します。

POP before SMTP認証待ち時間については、接続するメールサーバによって設定値を決めます。

サーバ認証方式が「POP before SMTP (標準)」または「POP before SMTP (APOP)」の場合、電子メールを送信するタイミングで認証を行います。

- 入力文字は半角数字です。
- 入力範囲は0 ~ 10000 [ms] です。
- 初期値：300 [ms]

14 「WEBアドレス帳URL」を入力する。

電子メール通知で通知するWEBアドレス帳のURLを設定します。

- 入力文字数は最大半角256文字です。
- 入力文字は半角英数字(大文字、小文字)、半角記号(! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~)、半角スペースです。
- 初期値：https://XXX.XXX.XXX.XXX/telbook/m.html
- WEBアドレス帳のポート番号が必要な場合は、IPアドレスのあとに「:」とWEBアドレス帳のポート番号を入力します。

<設定例>

https://XXX.XXX.XXX.XXX:###/telbook/m.html

IPアドレス

WEBアドレス帳の
ポート番号

15 [設定] ボタンをクリックする。

「データが設定されました。」と表示されます。

16 [戻る] ボタンをクリックする。

電子メール通知(システム共通)の設定画面に戻ります。



ワンポイント

●データの編集が終了したら

[設定] ボタンをクリックします。この操作を行うことにより、設定内容が音声メールユニットに保存されます。この操作の前に次の操作を行った場合は、編集操作が反映されません。

- ログアウト
- 他のページへ移動
- Webブラウザを終了

●設定操作開始時の状態に戻すには

[設定] ボタンをクリックせず、「ログアウト」ボタンをクリックします。この操作を行うと、編集前の設定状態に戻ります。

●Web設定を終了するには (ログアウト)

Web設定を終了するときは、「ログアウト」ボタンをクリックします。「ログアウト」ボタンをクリックしないでWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間(10分間)が経過するまで、他パソコンからのログインはできません。

●接続タイムアウトとは (➡P10-2)

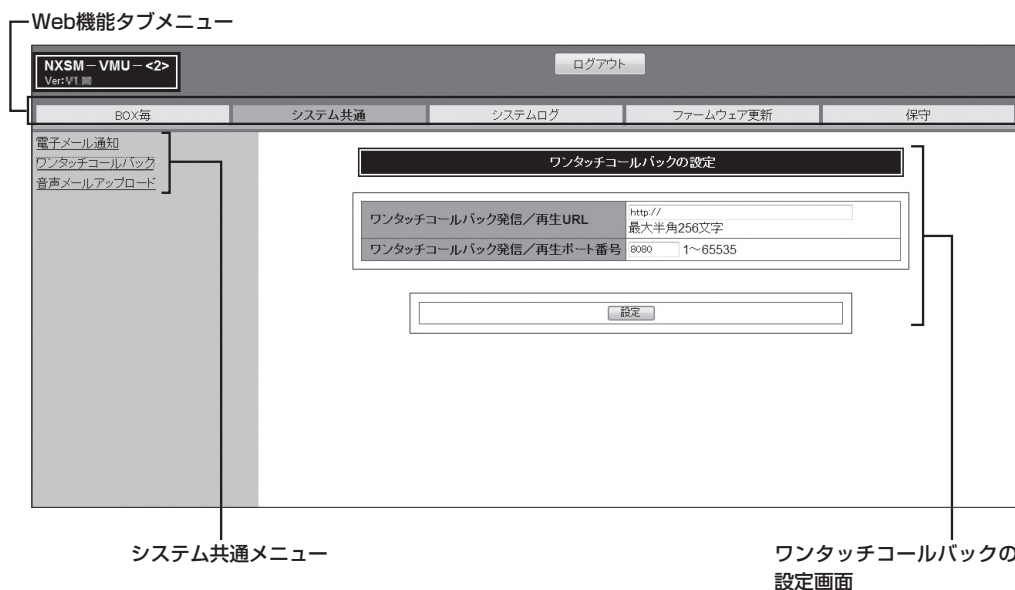
■ワンタッチコールバックを設定する

システム共通メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（P10-1）したパソコンからのみ行えます。

- 1 Web機能タブメニューから「システム共通」タブをクリックする。
システム共通メニューが表示されます。

- 2 システム共通メニューの「ワンタッチコールバック」をクリックする。
ワンタッチコールバックの設定画面が表示されます。

<システム管理者>



- 3 「ワンタッチコールバック発信/再生URL」を入力する。
ワンタッチコールバック用のURLを設定します。
 - 入力文字数は最大半角256文字です。
 - 入力文字は半角英数字(大文字、小文字)、半角記号 (! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~)、半角スペースです。
 - 初期値 : http://
- 4 「ワンタッチコールバック発信/再生ポート番号」を入力する。
ワンタッチコールバック用のポート番号を設定します。
 - 入力文字は半角数字です。
 - 入力範囲は1 ~ 65535です。(80を除く)
 - 初期値 : 8080

- 5 [設定] ボタンをクリックする。
「データが設定されました。」と表示されます。
- 6 [戻る] ボタンをクリックする。
ワンタッチコールバックの設定画面に戻ります。
- 7 Web機能タブメニューから【ファームウェア更新】タブをクリックする。
ファームウェア更新メニューが表示されます。
- 8 ファームウェア更新メニューの「再起動」をクリックする。
再起動画面が表示されます。

<システム管理者>



- 9 [実行] ボタンをクリックする。
- 10 「現在の通信が全て切断されます。再起動しますか？」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックする。



ワンポイント

●データの編集が終了したら

[設定] ボタンをクリックします。この操作を行うことにより、設定内容が音声メールユニットに保存されます。この操作の前に次の操作を行った場合は、編集操作が反映されません。

- ログアウト
- 他のページへ移動
- Webブラウザを終了

●設定操作開始時の状態に戻すには

[設定] ボタンをクリックせず、「ログアウト」ボタンをクリックします。この操作を行うと、編集前の設定状態に戻ります。

●Web設定を終了するには (ログアウト)

Web設定を終了するときは、「ログアウト」ボタンをクリックします。「ログアウト」ボタンをクリックしないでWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間（10分間）が経過するまで、他パソコンからのログインはできません。

●接続タイムアウトとは (P10-2)

■音声メールアップロードを設定する

システム共通メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（●P10-1）したパソコンからのみ行えます。

- 1 Web機能タブメニューから「システム共通」タブをクリックする。
システム共通メニューが表示されます。
- 2 システム共通メニューの「音声メールアップロード」をクリックする。
音声メールアップロードの設定画面が表示されます。

<システム管理者>

Web機能タブメニュー

The screenshot shows the NXSM-VMU web interface. At the top, there's a header with 'NXSM-VMU <2>' and a 'Logout' button. Below the header is a navigation bar with tabs: 'BOX毎', 'システム共通' (selected), 'システムログ', 'ファームウェア更新', and '保守'. On the left, a sidebar menu lists '電子メール通知', 'ワンタッチコールバック', and '音声メールアップロード' (selected). The main content area is titled '音声メールアップロードの設定' (Voice Mail Upload Settings). It contains three sections: 1. 'Upload Settings' with fields for 'Upload Existence' (radio buttons for 'Yes' and 'No'), 'Upload FTP Server Name' (text field, max 256 characters), 'Upload FTP Server Port Number' (text field, 21 to 65535), 'Username' (text field, max 40 characters), 'Password' (text field, max 40 characters), 'Upload Folder Name' (text field, max 40 characters), and 'Upload Day/Time' (checkboxes for days of the week and time slots). 2. 'Voice Mail Server Deletion Settings' with fields for 'Voice Mail Server Deletion Existence' (radio buttons for 'Yes' and 'No') and 'Voice Mail Server Deletion Retention Days' (text field, 90 to 90 days). 3. 'Encryption and Communication Settings' with fields for 'Encryption (Explicit) Existence' (radio buttons for 'Yes' and 'No') and 'Passive (passive) Mode Existence' (radio buttons for 'Yes' and 'No'). At the bottom of the settings area is a '設定' (Settings) button.

システム共通メニュー

音声メールアップロードの
設定画面

- 3 「アップロード有無」を選択する。
FTPサーバ（LAN上またはクラウド上）へ音声メールをアップロードする／しないを設定します。
「する」に設定したあとに録音された音声メールがアップロードされます。
ただし、音声メールが録音されてからアップロードする曜日・時刻までの間に「しない」に設定した場合は、アップロードされません。
• 初期値：しない
- 4 「アップロードFTPサーバ名」を入力する。
アップロードするFTPサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。
• 入力文字数は最大半角256文字です。
• 入力文字は半角英数字（大文字、小文字）、「-」、「.」です。ただし、「-」「.」は、先頭と末尾以外で使用できます。「.」は2個以上の連続使用はできません。
• 初期値：（空白）

5 「アップロードFTPサーバポート番号」を入力する。
アップロードするFTPサーバのポート番号を設定します。

- 入力文字は半角数字です。
- 入力範囲は1 ~ 65535です。
- 初期値：21

6 「ユーザ名」を入力する。
FTPサーバ認証用ユーザ名を設定します。

- 入力文字数は最大半角40文字です。
- 入力文字は半角英数字(大文字、小文字)、半角記号 (! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~)、半角スペースです。
- 初期値：(空白)

7 「パスワード」を入力する。
FTPサーバ認証用パスワードを設定します。

- 入力文字数は最大半角40文字です。
- 入力文字は半角英数字(大文字、小文字)、半角記号 (! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~)、半角スペースです。
- 初期値：(空白)

8 「アップロードフォルダ名」を入力する。
アップロードするアップロードフォルダの名称を設定します。

- 入力文字数は最大半角40文字です。
- 入力文字は半角英数字のみです (記号は入力不可)。
- 初期値：NXVMUDAT

9 「アップロード曜日・時刻」を選択する。
アップロードする曜日にチェックマークを付け、曜日毎のアップロード開始時刻を設定します。

- 曜日：月曜日～日曜日 (複数選択可能)
- 時刻：0 ~ 23 [時] (24時間表記)、初期値：1 [時]

10 「音声メールサーバ削除有無」を選択する。
FTPサーバから音声メールを削除する／しないを設定します。

- 初期値：しない

11 「音声メールサーバ保存日数」を入力する。
FTPサーバから音声メールを削除するための保存日数を設定します。

- 設定範囲は1 ~ 90 [日] です。
- 初期値：90 [日]

12 「暗号化FTPS (Explicit) 有無」を選択する。
アップロードの際に、暗号化する／しないを設定します。

- 「する」を選択した場合、暗号化対応のためにFTPS (Explicitモード) 接続でアップロードします。
- 「しない」を選択した場合、FTP接続でアップロードします。
- 初期値：しない

13 「パッシブ (passive) モード有無」を選択する。
データ転送モードとしてパッシブモードを使用する／しないを設定します。

- クラウド上のサーバをご使用の場合は、「する」に設定してください。
- 「する」を選択した場合、パッシブモードで通信します。
- 「しない」を選択した場合、アクティブモードで通信します。
- 初期値：しない

14 [設定] ボタンをクリックする。
「データが設定されました。」と表示されます。

15 [戻る] ボタンをクリックする。
音声メールアップロードの設定画面に戻ります。



ワンポイント

● 音声メールユニットの暗号化通信 (FTPS) 仕様 (☛P11-20)

● データの編集が終了したら

[設定] ボタンをクリックします。この操作を行うことにより、設定内容が音声メールユニットに保存されます。この操作の前に次の操作を行った場合は、編集操作が反映されません。

- ログアウト
- 他のページへ移動
- Webブラウザを終了

● 設定操作開始時の状態に戻すには

[設定] ボタンをクリックせず、「ログアウト」ボタンをクリックします。この操作を行うと、編集前の設定状態に戻ります。

● Web設定を終了するには (ログアウト)

Web設定を終了するときは、「ログアウト」ボタンをクリックします。「ログアウト」ボタンをクリックしないでWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間 (10分間) が経過するまで、他パソコンからのログインはできません。

● 接続タイムアウトとは (☛P10-2)



お知らせ

● クラウド上のサーバは、FTPS接続 (暗号化する) でのご使用を推奨します。「暗号化FTPS (Explicit) 有無」を「する」に設定してください。

● LAN上のサーバは、FTPS接続 (暗号化する) でご使用の場合、サーバの種類、サーバの設定によってはエラーとなることがあります。

● クラウド上のサーバをご使用の場合、「パッシブ (passive) モード有無」を「しない」に設定したときは、エラーとなることがあります。

保守データ項目を登録・設定する

保守メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（☛P10-1）したパソコンからのみ行えます。

メニュー項目	機能	参照ページ
初期化	Web設定データを初期化します。システムログの履歴情報は初期化されません。	☛P11-21
Web設定データアップロード (PC→VMU)	パソコンに保存されたWeb設定データを音声メールユニットにアップロードします。	☛P11-22
Web設定データダウンロード (VMU→PC)	音声メールユニットのWeb設定データをパソコンにダウンロードします。	☛P11-24
録音可能時間通知	音声メールユニットで録音できる時間が設定時間より少なくなったときにメールで通知することができます。	☛下記

■ 録音可能時間通知を設定する

保守メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（☛P10-1）したパソコンからのみ行えます。

1 Web機能タブメニューから【保守】タブをクリックする。

保守メニューが表示されます。

2 保守メニューの「録音可能時間通知」をクリックする。

録音可能時間通知の設定画面が表示されます。

<システム管理者>

Web機能タブメニュー

The screenshot shows the NXSM-VMU web interface. At the top, there is a header bar with 'NXSM-VMU - <2>' and a 'Logout' button. Below the header, there is a navigation bar with tabs: 'BOX毎', 'システム共通', 'システムログ', 'ファームウェア更新', and '保守'. The '保守' (Maintenance) tab is selected. On the left side, there is a sidebar menu with options: '初期化', 'Web設定データアップロード (PC→VMU)', 'Web設定データダウンロード (VMU→PC)', and '録音可能時間通知'. The '録音可能時間通知' option is selected. The main content area displays the '録音可能時間通知の設定' (Recording Possible Time Notification Settings) screen. This screen contains a table with the following fields: '録音可能通知時間' (Recording Possible Notification Time) with a value of '10' and a range of '1～60分時間'; '管理者メールアドレス1' (Administrator Email Address 1) with a maximum length of '最大半角256文字'; '管理者メールアドレス2' (Administrator Email Address 2) with a maximum length of '最大半角256文字'; and '管理者メールアドレス3' (Administrator Email Address 3) with a maximum length of '最大半角256文字'. Below the table, there are two buttons: '設定' (Settings) and 'テスト通知' (Test Notification). A note below the buttons states: 'テスト通知ボタンをクリックして管理者に電子メールをテスト通知できます。' (Click the Test Notification button to test notify the administrator by email.)

保守メニュー

録音可能時間通知の設定画面

3 「録音可能通知時間」を入力する。

録音可能時間通知の判断基準とする録音時間を設定します。この時間を下回った場合に録音可能時間通知が送信されます。

- 設定範囲は1～60 [時間] です。
- 初期値：10 [時間]

4 「管理者メールアドレス1」、「管理者メールアドレス2」、「管理者メールアドレス3」を入力する。

録音可能時間通知の通知先メールアドレスを設定します。

- 入力文字数は最大半角256文字です。
- 入力文字は半角英数字 (大文字・小文字)、半角記号 (! # \$ % & ' * + - / = ? ^ _ ` { | } ~ @) です。ただし、「」は、先頭と末尾以外で使用できますが、2個以上の連続使用はできません。「@」は、ドメインの区切りとして、1個のみ使用できます。
- 初期値：(空白)

5 [設定] ボタンをクリックする。

「データが設定されました。」と表示されます。

6 [戻る] ボタンをクリックする。

録音可能時間通知の設定画面に戻ります。



ワンポイント

●データの編集が終了したら

[設定] ボタンをクリックします。この操作を行うことにより、設定内容が音声メールユニットに保存されます。この操作の前に次の操作を行った場合は、編集操作が反映されません。

- ログアウト
- 他のページへ移動
- Webブラウザを終了

●設定操作開始時の状態に戻すには

[設定] ボタンをクリックせず、「ログアウト」ボタンをクリックします。この操作を行うと、編集前の設定状態に戻ります。

●Web設定を終了するには (ログアウト)

Web設定を終了するときは、「ログアウト」ボタンをクリックします。「ログアウト」ボタンをクリックしないでWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間 (10分間) が経過するまで、他パソコンからのログインはできません。

●接続タイムアウトとは (P10-2)

●テスト通知するには

- ①管理者メールアドレス1、2、3を設定する
- ②[設定] ボタンをクリックする
- ③[戻る] ボタンをクリックする
- ④[テスト通知] ボタンをクリックする
管理者メールアドレス1～3宛に録音可能時間通知の電子メールがテスト送信されます。

録音内容を管理するには

音声メールユニットの内線ボックスやフリーボックスに保存された、留守番電話のメッセージや通話録音を、パソコンで管理することができます。

- ・ボックスの録音内容の一覧表示
 - ・パソコンへの保存
 - ・パソコンから各ボックスに保存されている留守番電話のメッセージや通話録音の削除
- 操作は、一般ユーザログインIDまたはシステム管理者用ログインIDでログイン（☛P10-1）したパソコンから行えます。

録音内容を一覧表示する

- 1 「BOX毎の設定画面を表示する」（☛P11-2）の手順1～2を行う。
- 2 BOX毎設定メニューから「録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去」をクリックする。
録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去画面が表示されます。
ここでは、システム管理者用ログインIDでログインした場合を例として説明しています。
<システム管理者> (画面は例です)

BOX毎設定メニュー

絞り込み条件

録音内容一覧

録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去画面

- 3 指定する絞り込み条件にチェックマークをつける。
- ☐ 録音日 : 録音日時（年月日）が一致したメッセージを表示します。
 - ☐ 録音時間 : 録音日時（時分）が一致したメッセージを表示します。
 - ☐ 発番号 : メッセージを録音した方の電話番号が部分一致したメッセージを表示します。
 - ☐ ネーム : メッセージを録音した方の名称が部分一致したメッセージを表示します。
- ※複数の条件を指定すると、そのすべてを満たすメッセージを表示します。



ワンポイント

●手順2の画面について

<絞り込み条件>

- ・録音日は、現在の年月日が表示されます。
- ・録音時間は、0時0分～23時59分が表示されます。
- ・発番号、ネームは、空白。

<録音内容一覧>

- ・録音内容一覧は、新しい録音メッセージ順に表示されます。
- ・発番号は、メッセージを録音した方の発番号（電話番号）が表示されます。
- ・ネームは、メッセージを録音した方の名称（主装置の電話帳に登録されている名称、またはネーム・ディスプレイご利用の場合によって通知された会社名や氏名など）が表示されます。

4 絞り込み条件の詳細を指定する。

- 録音日 : 年月日 (古い年月日を指定～新しい年月日を指定)
- 録音時間 : 時分 0時0分～ 23時59分
- 発番号 : 電話番号 最大20桁
- ネーム : 全角、半角合わせて最大12文字

5 【検索】 ボタンをクリックする。

絞り込み条件に一致したメッセージが一覧表示されます。

(画面は例です)

録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去

☒ 録音日 2012 年 3 月 19 日 ～ 2012 年 3 月 19 日

☒ 録音時間 10 時 0 分 ～ 13 時 59 分

☐ 発番号

☐ ネーム

	No	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
☐	0001	2012/03/19 12:20	未	0312345678	鈴木	。
☐	0002	2012/03/19 11:05	既	0312341111	佐藤	
☐	0003	2012/03/19 10:10	既	0312342222	田中	。

一覧には次の項目が表示されます。

	項目	内容
①	No	項番 最新のメッセージを0001とし、新しい順に割り当てた番号 (降順)
②	録音日時	録音された年/月/日、時：分
③	既／未再	再生済みか、未再生かを示す 既：再生済み 未：未再生
④	発番号	メッセージを録音した方の電話番号 ・ 最大20桁
⑤	ネーム	メッセージを録音した方の名称 ・ 最大全角10文字、半角20文字
⑥	コメント	コメント録音の有無 ○ : コメントあり (空白) : コメントなし



ワンポイント

●絞り込み条件をリセットするには

再度、BOX毎設定メニューの「録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去」をクリックする。



お知らせ

- メッセージがない、または絞り込み条件に一致したメッセージがない場合は、一覧表は空欄となります。
- ネームを指定して検索するときは、Shift-JIS以外の文字は入力しないでください。環境依存文字などを使用すると、正常に検索できません。

録音内容を管理するには

録音内容を保存する（録音メッセージダウンロード）

各ボックスに録音された留守番電話のメッセージや通話録音した内容をパソコンに保存することができます。

1 「録音内容を一覧表示する」（●P11-15）の手順1～5を行う。

2 ダウンロードするメッセージにチェックマークをつける。

（画面は例です）

録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去

☒ 録音日 2012 年 3 月 19 日 ～ 2012 年 3 月 19 日
☒ 録音時間 10 時 0 分 ～ 13 時 59 分
☐ 発番号
☐ ネーム

	No	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
☒	0001	2012/03/19 12:20	既	0312345678	鈴木	。
☐	0002	2012/03/19 11:15	既	0312341111	佐藤	
☒	0003	2012/03/19 10:10	既	0312342222	田中	。

3 [ダウンロード] ボタンをクリックする。

4 ファイル保存のメッセージが表示されたら、[保存] ボタンをクリックする。

複数メッセージをダウンロードしたときは、すべてのメッセージがzip形式のファイルに結合されて保存されます。

●1メッセージ

録音ファイル名：YYYYMMDDhhmmWWWBBBBNNNN.wav（RIFF形式のwavファイルμ-Law）

●複数メッセージ

録音ファイル名：vmu_voice_mail.zip（固定）

5 ダウンロード完了画面右上の【×】をクリックして画面を閉じる。

※ファイルを保存する手順は、お使いのパソコンによって異なる場合があります。



ワンポイント

●ダウンロードしたファイルの再生

ダウンロードしたファイル（YYYYMMDDhhmmWWWBBBBNNNN.wav）は、WindowsMediaPlayerなどで再生できます。

●ダウンロードを中止するには

手順4で [キャンセル] ボタンをクリックします。

○ファイルのデータフォーマット

- wavファイル形式（μ-law）
- 録音ファイル名：
 - YYYYMMDDhhmmWWWBBBBNNNN.wav
 - YYYYMMDDhhmm：録音年（西暦4桁）月日時分
 - WWW：曜日[SUN、MON、TUE、WED、THU、FRI、SAT]
 - BBBB：ボックス番号 [10～789]
 - NNNN：管理番号 [0000～5999]
 - ※ 同一日時、同一ボックスのメッセージが複数存在した場合は、管理番号で区別する。
 - wav：拡張子（固定）



お知らせ

- コメント付きのメッセージをダウンロードした場合、コメント部分はメッセージ部分の前に統合され、一つのwavファイルとしてダウンロードされます。
- 一度にダウンロードできるファイルのサイズは256Mbyteまで、メッセージ数は1000件までです。
- 以下の場合「ただいまご利用できません。」と表示され、ダウンロードされません。
 - ・ ファイルのサイズが256Mbyteより大きいとき
 - ・ メッセージ数が1001件以上のとき
- 複数のメッセージをダウンロードしたときの録音ファイルvmu_voice_mail.zipをパソコンで解凍することにより、メッセージごとのwavファイルに分割することができます。
- 分割された個々のファイル名は、YYYYMMDDhhmmWWWBBBBNNNN.wavになります。
- コメントをダウンロードする／しないを選択することはできません。
- 複数のメッセージやコメント付きのメッセージをダウンロードした場合、zipファイルで保存されますが、圧縮はされません。
- zipファイルで保存するかwavファイルで保存するかを、選択することはできません。
- ダウンロード中は他の操作をしないでください。正常にダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードするメッセージ件数が多い場合やファイルのサイズが大きいときは、[ダウンロード] ボタンをクリックしたあと、ファイル保存のメッセージが表示されるまでに時間がかかることがあります。他の操作をしないでお待ちください。

録音内容を消去する

各ボックスに録音された留守番電話のメッセージや通話録音した内容を消去することができます。

1 「録音内容を一覧表示する」(P11-15)の手順1～5を行う。

2 消去するメッセージにチェックマークをつける。

(画面は例です)

録音メッセージダウンロード／録音メッセージ消去

☒ 録音日

2012

▼

年

3

▼

月

19

▼

日

～

2012

▼

年

3

▼

月

19

▼

日

☒ 録音時間

10

▼

時

0

▼

分

～

13

▼

時

59

▼

分

☐ 発番号

☐ ネーム

	No	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
☒	0001	2012/03/19 12:20	既	0312345678	鈴木	。
☒	0002	2012/03/19 11:15	既	0312341111	佐藤	
☐	0003	2012/03/19 10:10	既	0312342222	田中	。

3 [消去] ボタンをクリックする。

お知らせ

- 消去操作をしても、保護されているメッセージは消去されません。
- 以下の場合「ただいまご利用できません。」と表示され、メッセージは消去されません。
 - ・ 再生中のメッセージの消去操作をしたとき
 - ・ 消去操作をしたメッセージと同じボックス内の他のメッセージが再生中のとき
- 音声メールアップロード中(P11-19)は、「ただいまご利用できません。」と表示され、録音内容を消去できません。
- 「システム設定」の自動消去日数設定により、一定日数(1～30日)経過すると録音されたメッセージが自動的に消去されます。ただし、保護されているメッセージは消去されません。

11 Web機能で
管理する

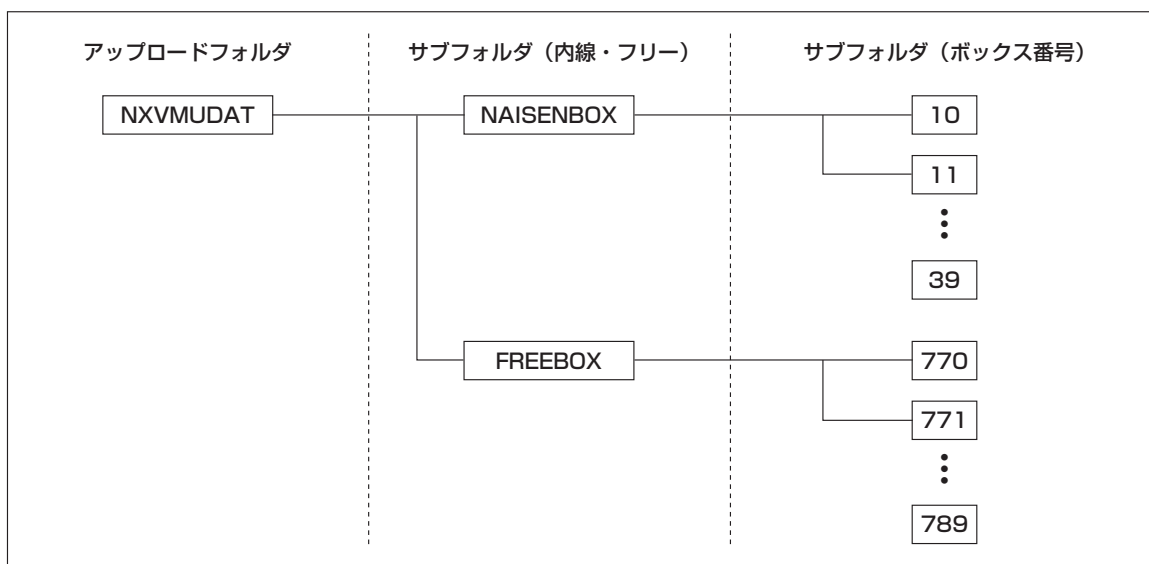
録音内容を管理するには

11-18

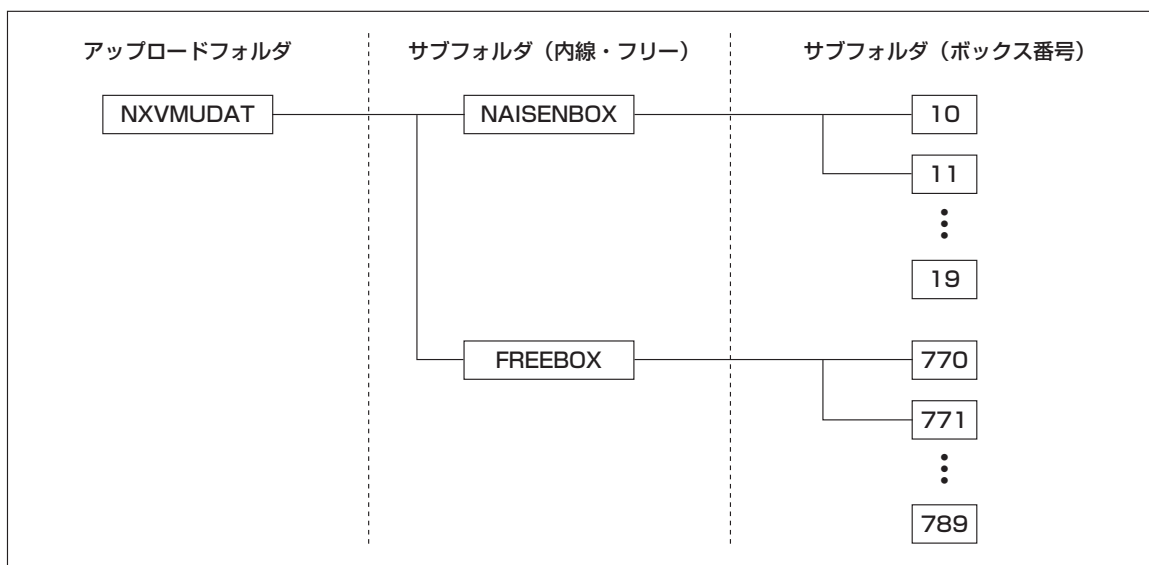
録音内容を一括管理するには (音声メールアップロード)

録音内容を音声ファイル（wav）としてLAN上またはクラウド上のFTPサーバに定期的にアップロードしたり、アップロードした音声ファイルを削除することができます。音声メールアップロードを利用するには、音声メールアップロードの設定（●P11-11）が必要です。音声ファイルのアップロードは、FTPサーバに下記のようなアップロードフォルダとサブフォルダを自動的に作成して保存されます。

<ネットコミュニティシステム αNX typeMに接続の場合>



<ネットコミュニティシステム αNX typeSに接続の場合>





ワンポイント

○アップロードファイルのデータフォーマット

- wavファイル形式（ μ -law）
 - 録音ファイル名：
YYYYMMDDhhmmWWWBBBBNNNN.wav
 - YYYYMMDDhhmm：録音年（西暦4桁）月日時分
 - WWW：曜日 [SUN、MON、TUE、WED、THU、FRI、SAT]
 - BBBB：ボックス番号 [10～789]
 - NNNN：管理番号 [0000～5999]
- ※ 同一日時、同一BOXメッセージが複数存在した場合は、管理番号で区別する。
- wav：拡張子（固定）

●音声メールユニットの暗号化通信（FTPS）仕様

- 暗号化通信方式：SSL3.0 / TLS1.0
- 暗号化アルゴリズム：RC2、RC4、IDEA、DES、3DES、RSA
- 暗号化通信モード：Explicitモード（固定）

●音声メールのアップロードや音声メールの削除に失敗したときは

録音可能時間通知（●P11-13）で設定した「管理者メールアドレス1」、「管理者メールアドレス2」、「管理者メールアドレス3」に電子メールで通知します。



お知らせ

- 応答メッセージは、アップロードの対象外です。
- 音声メールアップロードのプロトコルは、FTP接続とFTPS接続（暗号化通信）から選ぶことができます。（●P11-12）ただし、サーバの種類、サーバの設定によってはご使用に出来ない場合もあります。
- 音声メールアップロードのデータ転送モードは、アクティブモードとパッシブモードから選ぶことができます。（●P11-12）クラウド上のサーバをご使用の場合は、パッシブモードに設定してください。
 - アクティブモード
データ転送のためのコネクションをサーバ側から行う方式です。
 - パッシブモード
データ転送のためのコネクションを音声メールユニット（クライアント）側から行う方式です。
- 音声メールのアップロードには数分かかる場合があります。クラウド上のサーバをご使用の場合は、通信回線の状況によっては、数分以上かかる場合があります。

Web設定データを初期化するには

Web設定で登録・設定された内容を初期化します。

保守メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（☛P10-1）したパソコンからのみ行えます。

1 Web機能タブメニューから【保守】タブをクリックする。

保守メニューが表示されます。

2 保守メニューの「初期化」をクリックする。

システム設定データの初期化画面が表示されます。

<システム管理者>

Web機能タブメニュー



保守メニュー

システム設定データの初期化
画面

3 [実行] ボタンをクリックする。

4 「VMUのWeb設定を初期化します。よろしいですか？」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックする。 「Webデータの初期化を実行しました。」と表示されます。

5 [戻る] ボタンをクリックする。

システム設定データの初期化画面に戻ります。



ワンポイント

- 初期化を中止するには
手順4で [キャンセル] ボタンをクリックします。
- システムログをクリアするには（☛P11-26）



お知らせ

- Web設定データを初期化してもシステムログの履歴情報は初期化されません。

Web設定データを保存するには (Web設定データバックアップ)

Web設定データをアップロードする (PC→VMU)

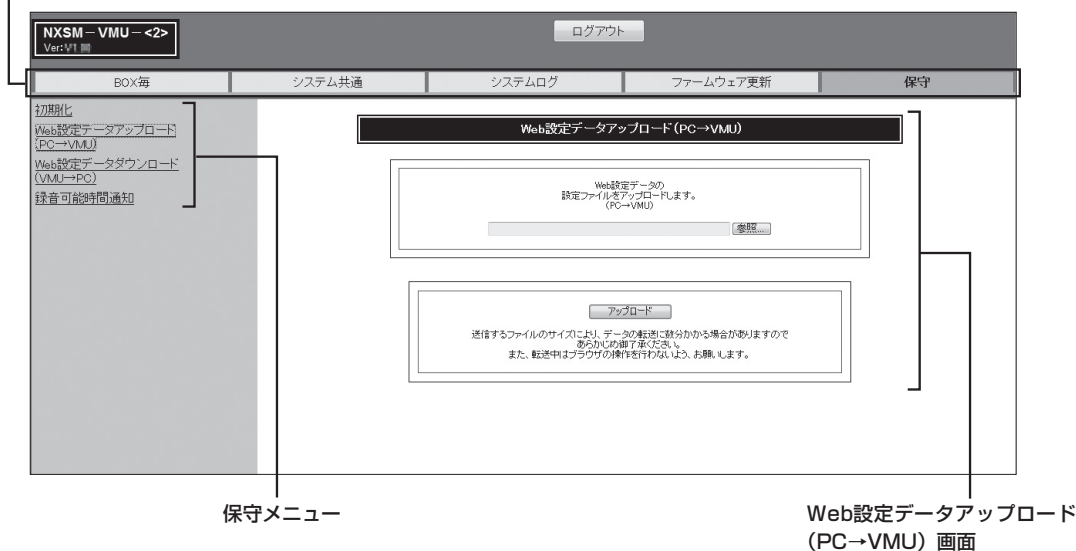
パソコンに保存しているWeb設定データの設定ファイルを音声メールユニットにアップロード（データ転送）します。

保守メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（●P10-1）したパソコンからのみ行えます。

- 1 Web機能タブメニューから【保守】タブをクリックする。
保守メニューが表示されます。
- 2 保守メニューの「Web設定データアップロード（PC→VMU）」をクリックする。
Web設定データアップロード（PC→VMU）画面が表示されます。

<システム管理者>

Web機能タブメニュー



保守メニュー

Web設定データアップロード
(PC→VMU) 画面

Web設定データを保存するには (Web設定データバックアップ)

- 3 [参照] ボタンをクリックする。
- 4 アップロードする設定ファイルにカーソルをあわせてクリックし、[開く] ボタンをクリックする。
- 5 [アップロード] ボタンをクリックする。
- 6 「データの転送を実行します。よろしいですか?」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックする。
データ転送中は、「データを転送しています。少々お待ち下さい。」と表示されます。
データ転送が終了すると、「データ転送が完了しました。」と表示されます。
- 7 [戻る] ボタンをクリックする。



ワンポイント

- アップロードを中止するには
手順6で [キャンセル] ボタンをクリックします。
- データ転送に失敗した場合
「データ転送に失敗しました。ファイルの内容を確認してやり直して下さい。」と表示されます。

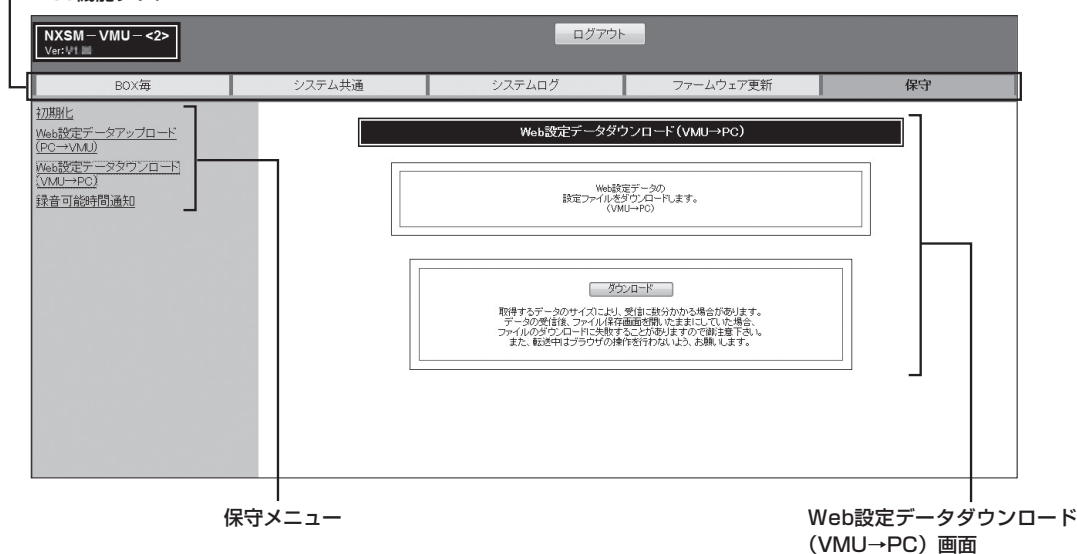
Web設定データをダウンロードする (VMU→PC)

音声メールユニットからWeb設定データの設定ファイルをパソコンへダウンロード（データ取得）します。
保守メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（●P10-1）したパソコンからのみ行えます。

- 1 Web機能タブメニューから【保守】タブをクリックする。
保守メニューが表示されます。
- 2 保守メニューの「Web設定データダウンロード (VMU→PC)」をクリックする。
Web設定データダウンロード (VMU→PC) 画面が表示されます。

<システム管理者>

Web機能タブメニュー



保守メニュー

Web設定データダウンロード (VMU→PC) 画面

- 3 [ダウンロード] ボタンをクリックする。
- 4 「データの転送を実行します。よろしいですか？」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックする。
- 5 ファイル保存のメッセージが表示されたら、[保存] ボタンをクリックする。
- 6 ダウンロード完了画面右上の【×】をクリックして画面を閉じる。
※ファイルを保存する手順は、お使いのパソコンによって異なる場合があります。



ワンポイント

- ダウンロードを中止するには
手順4で [キャンセル] ボタンをクリックします。

(次ページへつづく)

Web設定データを保存するには (Web設定データバックアップ)



お知らせ

- Web設定データはシステム共通とBOX毎を一括してダウンロードし、受信したWeb設定データはすべてパソコンに保存します。
- ファイル名はvmusdata.xmlで保存されますが、パソコンで自由に変更できます。
- ダウンロードには数分かかる場合があります。
- ダウンロード中は、ブラウザの操作を行わないでください。

ログを表示するには

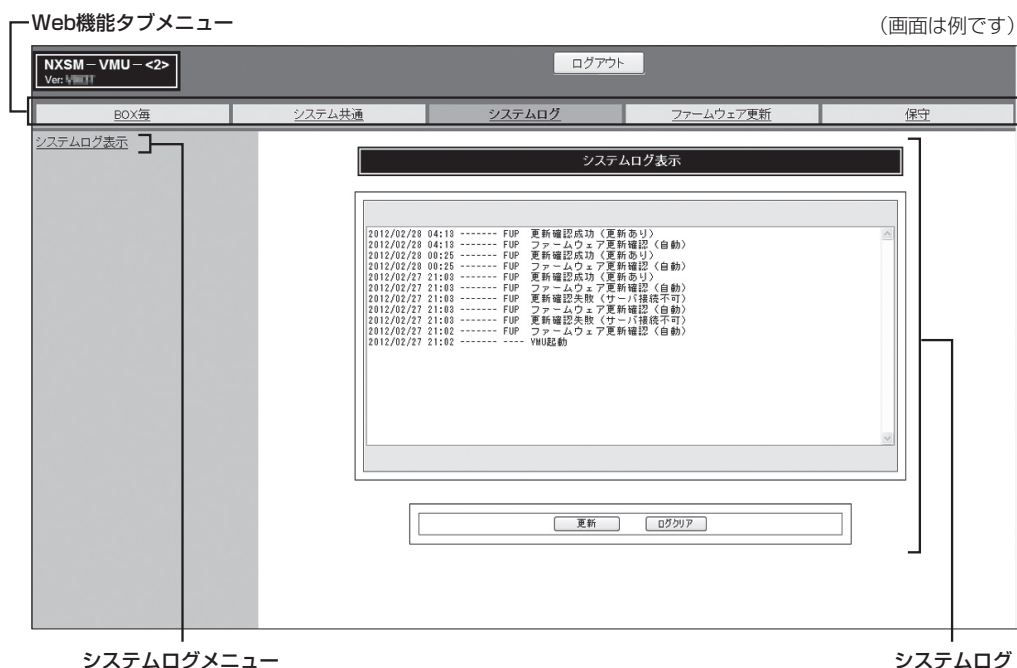
下記の内容がシステムログとして時系列で一括表示されます。

- ①電子メール送信失敗履歴
- ②音声メールアップロード失敗履歴
- ③ローカルファームウェア更新
- ④起動時（主装置電源ONおよび再起動）
- ⑤電子メール送信（録音可能時間通知）
- ⑥手動ファームウェア更新
- ⑦自動ファームウェア更新
- ⑧再起動
- ⑨音声メール削除失敗履歴

操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（●P10-1）したパソコンからのみ行えます。

- 1 Web機能タブメニューから「システムログ」タブをクリックする。
システムログメニューが表示されます。

- 2 システムログメニューの「システムログ表示」をクリックする。
システムログが表示されます。
<システム管理者>



- 3 [更新] ボタンをクリックする。
最新のログが表示されます。



ワンポイント

●ログの履歴をクリアするには

- ①[ログクリア] ボタンをクリックする。
- ②「システムログをクリアします。よろしいですか？」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックする。
- ③[戻る] ボタンをクリックする。

音声メールソフトウェアを更新するには

ネットコミュニティシステムαNX typeS/typeM音声メールユニットのソフトウェアを更新します。

手動ファームウェア更新は、ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックし、必要な場合にはソフトウェアをダウンロードして更新します。

ローカルファームウェア更新は、パソコンに保存しているソフトウェアを音声メールユニットにアップロードして更新します。

このサービスをご利用になるには、システム設定が必要です。

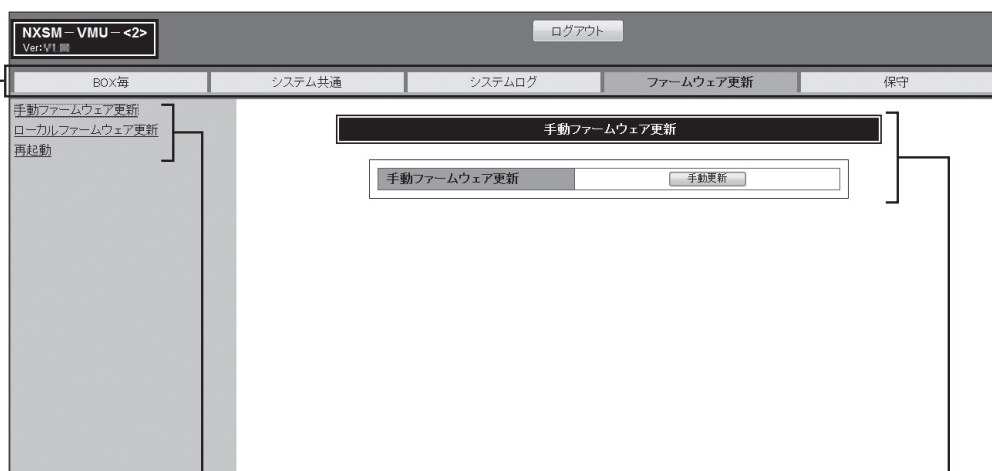
最新ソフトウェアを手動でダウンロードする

ファームウェア更新メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（➡P10-1）したパソコンからのみ行えます。

- 1 Web機能タブメニューから「ファームウェア更新」タブをクリックする。
ファームウェア更新メニューが表示されます。
- 2 ファームウェア更新メニューの「手動ファームウェア更新」をクリックする。
手動ファームウェア更新画面が表示されます。

<システム管理者>

Web機能タブメニュー



ファームウェア更新メニュー

手動ファームウェア更新画面

- 3 「手動更新」ボタンをクリックする。
更新確認中画面が表示され、新しいファームウェアがあると更新中画面、ファームウェア転送完了画面が表示されます。
- 4 「戻る」ボタンをクリックする。
手動ファームウェア更新画面に戻ります。

- 5** ファームウェア更新メニューの「再起動」をクリックする。
再起動画面が表示されます。
<システム管理者>



- 6** [実行] ボタンをクリックする。
7 「現在の通信が全て切断されます。再起動しますか？」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックする。



ワンポイント

●ソフトウェアについて

音声メールユニットのソフトウェアには、次の2種類のソフトウェアがあります。

- 最新ソフトウェア : 機能・性能を向上したソフトウェア
- 重要最新ソフトウェア : 特に重要な機能・性能を向上したソフトウェア

●更新確認に失敗した場合

「更新の確認に失敗しました。」と表示されます。
[戻る] ボタンをクリックします。

●更新に失敗した場合

「ファームウェアの更新に失敗しました。」と表示されます。
[戻る] ボタンをクリックします。



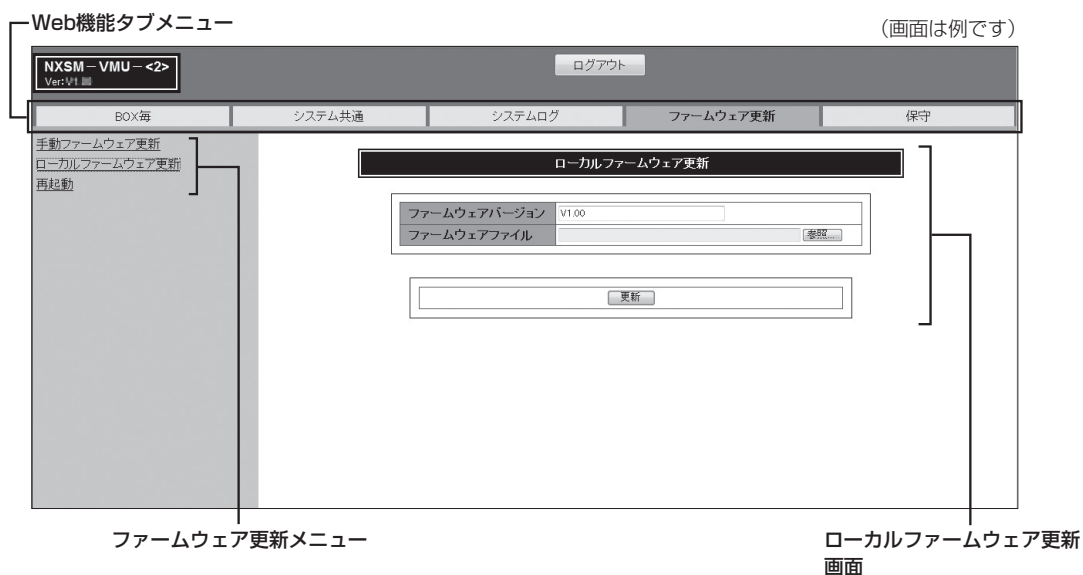
お知らせ

- アップロード中、ワンタッチコールバック使用中は、手動ファームウェア更新はできません。
- 重要最新ソフトウェアの更新を行わないと、本来の機能・性能を発揮できない場合があります。

パソコン上のソフトウェアに更新する

ファームウェア更新メニューの操作は、システム管理者用ログインIDでログイン（➡P10-1）したパソコンからのみ行えます。

- 1 Web機能タブメニューから【ファームウェア更新】タブをクリックする。
ファームウェア更新メニューが表示されます。
- 2 ファームウェア更新メニューの「ローカルファームウェア更新」をクリックする。
ローカルファームウェア更新画面が表示されます。
ファームウェアバージョンとして現在起動中のソフトウェアのバージョンが表示されます。
<システム管理者>

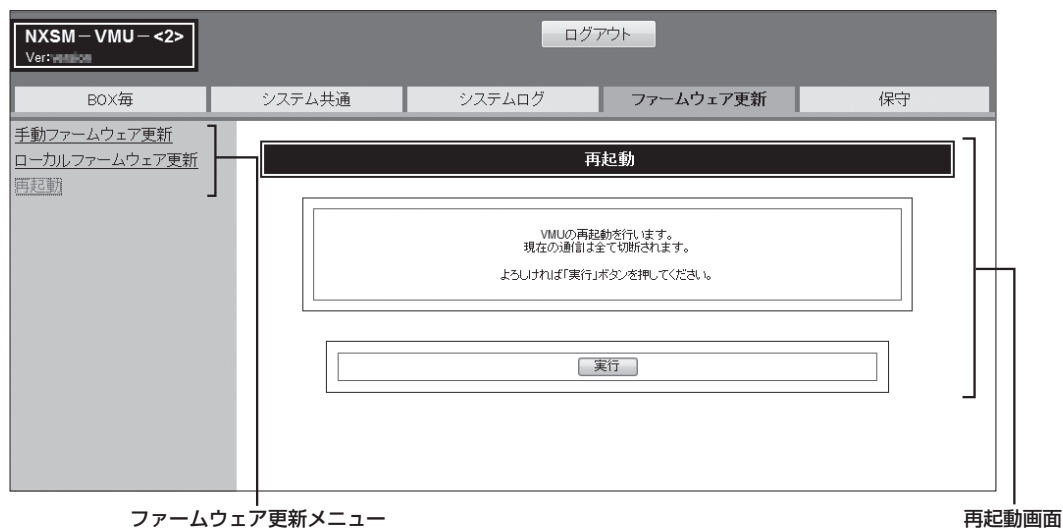


- 3 [参照]ボタンをクリックし、パソコン上のファームウェアファイルを指定する。
ファイル名「NXSM-VMU2_apXXXX」を指定してください。XXXXはファームウェアのバージョンです。
- 4 [更新] ボタンをクリックする。
- 5 「ファームウェアファイルを転送します。よろしいですか？」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックする。
転送中画面が表示され、転送が完了すると転送完了画面が表示されます。
- 6 [戻る] ボタンをクリックする。
ローカルファームウェア更新画面に戻ります。

7 ファームウェア更新メニューの「再起動」をクリックする。

再起動画面が表示されます。

<システム管理者>



8 「実行」ボタンをクリックする。

9 「現在の通信が全て切断されます。再起動しますか？」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックする。



ワンポイント

- ファームウェアの更新を中止するには
手順5で [キャンセル] ボタンをクリックします。
- 転送に失敗した場合
「ファームウェアファイルの転送に失敗しました。」と表示されます。
[戻る] ボタンをクリックします。



お知らせ

- アップロード中、ワンタッチコールバック使用中は、ローカルファームウェア更新はできません。

アルファベット

E-mail連動機能	1-2、2-11
FAX／電話切替メッセージ	7-7
FTP接続	11-12、11-20
FTPS接続	11-12、11-20
Web機能を利用する	
Web設定一覧	11-1
ログインする	10-1
Web設定データ	
アップロードする (PC→VMU)	11-22
初期化	11-21
ダウンロードする (VMU→PC)	11-24

五十音

【ア行】

アップロードファイル	11-20
暗証番号	1-9
居留守応答	2-6
エスケープコード一覧	11-4
応答専用	2-1、2-15
応答専用に設定する	7-13、7-14
応答メッセージ	2-1、2-15
FAX／電話切替メッセージを設定する	7-7
お待たせメッセージを設定する	7-5
システム留守番電話の応答メッセージを 設定する	7-9
留守番電話の応答メッセージを 設定する	7-3
お客様データ一覧	8-7
お待たせボタン	1-3、1-4
お待たせメッセージ	5-1
応答する	5-3
設定する	7-5
お待たせランブ	1-6
音声メールアップロード	
設定する	11-11
パソコンに一括管理する (アップロード)	11-19
音声メール操作サービスボタン	1-3、1-4
設定を変更する	8-9
音声メール操作ボタン	1-3、1-4

【カ行】

外出先からの操作	6-1
外出先から電話をかけて別の外線に 発信する	6-6
内線電話機を直接呼び出す	6-5
リモート設定一覧	6-8
リモート設定を行う	6-7
録音内容を再生する	6-3
ワンタッチコールバック再生する	6-11
ワンタッチコールバック発信する	6-10
外線発信	6-6
外線ランブ	1-6
機能番号	7-1
休憩モード	2-15
休日モード	2-15
故障	
故障かな？と思ったら	8-5
故障の場合	12-5
コールバック (中継発信) とは	6-9
コメントボタン	1-3、1-4
コンソール	1-4

【サ行】

再生	3-1、3-3、7-15、7-16
再生する順序を設定する	7-17
再生中にできる操作	3-2
新規メッセージを優先する／ しないを設定する	7-18
システムモード	2-15
システム留守番電話	2-15
システム留守メッセージ設定	7-9
自動お待たせメッセージ	5-2
自動通話録音	4-1
終了ボタン	1-3、1-4
受信通知	3-1
手動お待たせメッセージ	5-1
手動通話録音	4-3
手動ファームウェア更新	11-27
仕様	12-4
消去	3-5
初期化	8-3
新規メッセージ優先設定	7-18

設定

お買い求め時の設定に戻す	8-3
音声メールアップロード設定	11-11
電子メール通知設定 (BOX毎)	11-3
電子メール通知設定 (システム共通)	11-6
録音可能時間通知設定	11-13
ユーザ設定	7-1
ワンタッチコールバック設定	11-9
ワンタッチコールバック発信設定	11-5

全消去	3-5
-----	-----

【タ行】

ダイヤリングサービス	6-1
ダイヤルイン	6-5
着信通知	2-7
着信通知を設定する	2-10
通知先の電話番号を登録する	2-9

通話録音

再生する	3-1、3-3
自動／手動を切り替える	4-5
自動で通話を録音する	4-1
手動で通話を録音する	4-3
録音内容にコメントを付けて送信する	4-6
録音を一時停止する	4-2、4-4、4-6
録音を終了する	4-2、4-4、4-6

停電になったとき	8-4
転送	3-6
同報グループ	1-7
同報ボックス	1-7
同報メール	3-8
特長	1-1
特番	7-1

【ナ行】

内線ボックス	1-7
内線呼出	6-5

【ハ行】

昼モード	2-15
フリーボックス	1-7
ポーズボタン	1-3、1-4
保守サービス	12-5

ボックス (再生) ボタン	1-3、1-4
ボックス (再生) ランプ	1-6
ボックスの種類	1-7

【マ行】**メッセージ**

消去する (Web機能)	11-18
再生する	3-1
再生する順序を設定する	7-17
再生する対象を設定する	7-18
再生中にできる操作	3-2
消去する	3-5
全消去する	3-5
他の人にメッセージを送信する	3-7
転送する	3-6
パソコンに保存する (Web機能)	11-17
複数の相手に同じメッセージを送信する	3-8
ボックス番号を指定して再生する	3-3
録音内容を一覧表示する (Web機能)	11-15
録音内容を一括管理する (Web機能)	11-19

メッセージ再生順設定	7-17
メニュー設定	7-1

【ヤ行】

ユーザ設定	7-1
呼出取消ボタン	1-3、1-4
夜モード	2-15

【ラ行】

ランプ表示	1-5
リモート設定	6-7
リモート設定一覧	6-8
留守／転送開始タイマ	7-11、7-12
留守番電話	2-1、2-2
相手を確かめてから電話に出る	2-6
応答時間を設定する	7-11
応答メッセージを設定する	7-3
システムモードに応じて自動的に システム留守番電話を利用する	2-15
セット／解除する	2-5

電話をかけてきた相手の声を スピーカで聞く	2-6
メッセージが録音されたことを携帯電話 などに通知する	2-7、2-9、2-10
留守番電話の対象となる回線を設定する	2-4
留守ボタン	1-3、1-4
留守ランプ	1-6
ローカルファームウェア更新	11-29
録音	
FAX / 電話切替メッセージを録音する ..	7-7
お話しを録音する	4-1、4-3
お待たせメッセージを録音する	7-5
システム留守番電話の応答メッセージを 録音する	7-9
他の人にメッセージを送信する	3-7
留守番電話の応答メッセージを録音する	7-3
録音可能時間通知	2-13、11-13
録音取消ボタン	1-3、1-4
録音ボタン	1-3、1-4
録音メッセージダウンロード	
パソコンに保存する (ダウンロード)	11-17
録音モードボタン	1-3、1-4
録音モードランプ	1-6
録音用	2-1、2-15
録音ランプ	1-6
ログインする	10-1
ログ表示	11-26
【ワ行】	
ワンタッチコールバックを利用する	6-9
ワンタッチコールバック再生する	6-11
ワンタッチコールバック再生中に できる操作	6-11
ワンタッチコールバック発信する	6-10

録音・再生回路数	最大4回路
音声記録媒体	SDカード
音声蓄積時間	約60時間
ボックス数	内線ボックス：最大30（ネットコミュニティシステム αNX typeMIに接続の場合） 最大10（ネットコミュニティシステム αNX typeSIに接続の場合） フリーボックス：最大20 同報ボックス：最大6
1メッセージ当たりの録音時間	1分～180分（初期値：18分）
最大録音件数	4000件

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話・PHSからは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。

受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  0120-248995

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。



環境基準ラベル 「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「＜追補版＞通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞

- 弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- 弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- 酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- 焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- 廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- 取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞

- 製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞

- 発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。
- 国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。



本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  **0120-970413**

※携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  **0120-248995**

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2012 NTEAST・NTTWEST



本 3216-2 (2012.7)
NXSM-VMU トリセツ - <2>